

**令和元年度授業改善アンケート  
結果報告書**

令和2年3月

大学教育開発センター委員会



# 目次

---

令和元年度授業改善アンケートの結果概要 .....	1
アンケートの概要と対象者属性 .....	4
回答率 .....	5
アンケート項目 .....	6
授業科目の集計結果 .....	8
授業改善アンケート集計結果の見方 .....	11

## 〔アンケート結果〕

1 授業満足度の時系列比較 .....	17
2 成長実感の時系列比較 .....	24
3 アンケート結果のまとめ .....	30
4 学部別改善ポイント .....	32
5 授業満足度を上げるための改善優先項目 .....	34
6 自学自習時間 .....	46
7 授業満足度と自学自習時間の関係 .....	48
8 一授業あたりの回答学生数 .....	55
9 履修者数の規模別授業満足度 .....	56

## 〔基礎データ(前期)〕

10 時系列比較 .....	57
11 授業評価の基礎データ.....	58
12 学生評価の基礎データ.....	64

## 〔基礎データ(後期)〕

13 時系列比較 .....	71
14 授業評価の基礎データ.....	72
15 学生評価の基礎データ.....	78

# 令和元年度授業改善アンケートの結果概要

## 令和元年度前期 アンケートの結果概要

### ○学生の「授業満足度」71.8% (Page.17)

(アンケート問 13: この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか)

### ○改善優先度の高い項目 (Page.34-35)

高いポイントが示された「改善優先度」の項目については、以下のとおりです。ポイントが高いほど、その項目については改善が求められています。

#### 1. 「理解配慮」35.9 ポイント

(アンケート問 4: この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか)

#### 2. 「工夫」35.6 ポイント

(アンケート問 5: この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか)

#### 3. 「板書」31.3 ポイント

(アンケート問 1: この授業では、板書や資料等は読み取りやすかったと思いますか)

## 令和元年度後期 アンケートの結果概要

### ○学生の「授業満足度」72.6% (Page.18)

(アンケート問 13: この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか)

### ○改善優先度の高い項目 (Page.34-35)

高いポイントが示された「改善優先度」の項目については、以下のとおりです。ポイントが高いほど、その項目については改善が求められています。

#### 1. 「工夫」35.5 ポイント

(アンケート問 5: この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか)

#### 2. 「理解配慮」34.7 ポイント

(アンケート問 4: この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか)

#### 3. 「板書」30.9 ポイント

(アンケート問 1: この授業では、板書や資料等は読み取りやすかったと思いますか)

# 令和元年度授業改善アンケートの結果概要

## 令和元年度 アンケートの結果概要

○「授業満足度（アンケート問 13：この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか）」については、満足計（強くそう思う＋ややそう思う）の回答は前期で 72%、後期で 73%と前期、後期ともほぼ同程度の水準になった。また全体では、前年度から前期、後期ともやや微増だが、平成 28 年度からは約 4%増で、上昇傾向となっている。

学部別では差がみられ、前期ではトップの「薬学部」で 80%、「人間学部」78%、「外国語学部」74%と続き、反対に低いのは「理工学部」で 67%、「経済学部」「法学部」68%、「都市情報学部」69%となっている。また後期では「人間学部」が最も高く 81%、「経済学部」「都市情報学部」「理工学部」「法学部」が 71%と低くなっている。教職課程・学芸員課程では、前期が 79%、後期が 80%とかなり高くなっている。(Page.17-23)

○「成長実感（アンケート問 11：この授業を通じて、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか）」については、前期 71%、後期 71%が「そう思う」と回答し、前期、後期は同程度の水準となった。また全体では、平成 28 年度から前期、後期ともは上昇傾向となっている。この設問も学部別で評価に差がみられ、「人間学部」「外国語学部」でスコアが高く、「都市情報学部」で低いのが特徴となっている。教職課程・学芸員課程では、前期、後期ともに 79%とかなり高くなっている。(Page.24-29)

○本アンケートでは、「授業満足度」と統計的に相関は高いものの、評価の低い項目を、満足度を上げるための改善優先項目として分析している。結果としては「理解配慮（アンケート問 4：この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか）」や、「工夫（アンケート問 5：この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか）」が前期・後期ともに 3 割半ばのスコアで、改善優先項目の上位となっており、これは全学部に通じる傾向でもある。

学部別にみると、「理解配慮」「工夫」ともに「法学部」「経済学部」で 4 割近くのスコアで他学部に比べて高くなっている。(Page.34-45)

○「自学自習時間（アンケート問 9：あなたは、この授業のために 1 週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか）」は前後期とも、回答者全体のうち約 3 割弱が授業外では全く勉強をしていない結果となっている。また学部別でも差があり、「理工学部」「薬学部」「外国語学部」で自学自習時間が他学部に比べてやや高い傾向となっている。(Page.46-47)

「自学自習時間」と「授業満足度」には関連がみられ、勉強時間が長いほど授業満足度は高い傾向となっている。「自学自習時間」と「授業満足度」の関係を授業分布から確認したところ、前後期とも自学自習時間も長く、授業満足度も高いのは「薬学部」と「外国語学部」となった。一方で、「人間学部」のように授業満足度は高いものの、自学自習時間の低い授業も見られ留意が必要かと思われる。(Page.48-54)

# 令和元年度授業改善アンケートの結果概要

## 令和元年度 回答状況について

平成 29 年度から、全学的に前後期とも実施方法は WEB システムによるアンケートとなり、令和元年度は 3 年目となった（但し、薬学部は前年と同じ実施方法、H28 前期は非常勤を紙アンケートで実施）。今回の特徴も平成 30 年度に引き続き、①回答者属性、②評価結果の上昇、③後期の回答率の減少傾向、などの 3 点に留意をする。

### ① 回答者属性

アンケート回答者属性の推移の正確な把握は簡単ではないが、以下参考になるデータをみることができる。

まず、「授業満足度」の時系列スコアに着目すると、前期では、平成 24 年度で 6 割近くの満足であったものが、平成 28 年度以降は 7 割前後と 1 割程度の上昇となっている。平成 28 年度は、いままで紙アンケートを実施していたものを、WEB によるアンケートの導入を開始した時期（平成 28 年度前期は常勤教員授業のみ、後期からは常勤、非常勤ともに）にあたる。

また、「自学自習時間」の授業以外での勉強時間について「していない」の回答を時系列スコアに着目すると、平成 27 年度までは前後期とも 3~4 割程度のスコアであったが、平成 28 年度以降は前後期とも 2 割強で推移しており、令和元年度スコアは、前後期ともに 26%となっている。

平成 27 年度までは全面的紙アンケートで授業中に実施し回答率も 8 割近くとほぼ授業参加者の多くが回答していたが、平成 28 年度以降は、WEB 実施によりアンケート回答率も 3~4 割前後と下降しており、前年度に引き続き、回答者は授業に参加し、熱心に取り組んでいる学生の回答が比較的多くなってきているのが要因と推測される。

### ② 評価結果の上昇

H30 前期との比較では、【授業評価】は多くの項目において、2~3 ポイント程度スコアが高くなっている。一方【学生評価】もほぼ、多くの項目において、令和元年度前期で高くなっている。

この評価結果の上昇は上記①回答者属性にあるように、回答者が授業に熱心な学生が多くなっているのが 1 つの要因ではないかと考えることができる。

### ③ 後期の回答率の減少傾向

回答率の推移は、H29 前期→H30 前期→R1 前期：41%→34%→34%(前年度との差 ±0 ポイント)、H29 後期→H30 後期→R1 後期：33%→28%→29%(前年度との差 +1 ポイント)となっており、今年と前年の比較ではやや下げ止まりの感がある。また本年度をみると、R1 前期→R1 後期：34%→29%(-5 ポイント)と、やはり後期の回答率は減少となっている。但し、「薬学部」では恒常的に授業アンケートが実施され、学生側に回答の動機付けがあるのか、前年と同じく、前期・後期ともに約 7 割で特に高くなっている。しかし全学的には、回答率減少の要因として、授業外実施であるため強制力が弱いことや、後期の授業出席者も熱心な学生の回答が中心になっている可能性、WEB アンケート実施への慣れ（低年次からの実施など）によるアンケート協力意欲の低下などが、前年度に引き続き背景として考えられる。

上記①のように回答者属性の変化が予測されることから、時系列で結果を見る場合は留意が必要である。

また、今後回答率がどのように推移していくかわからないが、今回、回答率についてはやや下げ止まったとはいえ、低下傾向にはあり、結果データの信頼度も考慮しながら引き続き、教員、学生ともにアンケートに回答するモチベーションを向上させる施策を講じていく必要があるようだ。

# アンケートの概要と対象者属性

## 目的

学生の視点から授業改善の手がかりを探り、授業改善及び教育改善につなげることで教育の質を向上させることを目的とします。

## 実施主体

大学教育開発センター委員会

## 実施期間・実施方法・対象授業・回答者属性

	令和元年度前期	元年度後期
<b>実施期間</b>	令和元年6月27日～令和元年7月20日	令和元年12月14日～令和2年1月11日
<b>実施方法</b>	WEBアンケート	WEBアンケート
<b>対象授業</b>	<p>学部の授業を担当する常勤教員と非常勤講師を対象とし、平成30年度前期にアンケートを実施した講義科目において実施しました。なお、平成30年度前期にアンケートを実施していない場合は、担当授業のうち最も履修者が多い講義科目において実施しました。</p> <p>ただし以下のいずれかの項目に該当する授業は対象から除きました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育科目</li> <li>・ リレー方式で開講されている科目</li> <li>・ 実験・実習・演習など講義以外の科目</li> <li>・ 履修登録者数が10名未満の科目</li> </ul>	<p>学部の授業を担当する常勤教員と非常勤講師を対象とし、平成30年度後期にアンケートを実施した講義科目において実施しました。なお、平成30年度後期にアンケートを実施していない場合は、担当授業のうち最も履修者が多い講義科目において実施しました。</p> <p>ただし以下のいずれかの項目に該当する授業は対象から除きました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育科目</li> <li>・ リレー方式で開講されている科目</li> <li>・ 実験・実習・演習など講義以外の科目</li> <li>・ 履修登録者数が10名未満の科目</li> </ul>
<b>回答者属性</b>	<p>○775設定授業中 770授業で実施 実施率99.4%</p> <p>○実施授業の履修登録者数:62,716人 有効回答者数:21,179人(回答率:33.8%)</p> <p>○教員コメント記載件数 353件 (770実施授業中 353件のコメント記載率45.8%)</p>	<p>○771設定授業中 763授業で実施 実施率99.0%</p> <p>○実施授業の履修登録者数:60,734人 有効回答者数:17,741人(回答率:29.2%)</p> <p>○教員コメント記載件数 426件 (763実施授業中 426件のコメント記載率55.8%)</p>

## 開講学部別回答者数

	元年度前期			元年度後期		
	実施 授業数	学生		実施 授業数	学生	
		常勤 授業受講	非常勤 授業受講		常勤 授業受講	非常勤 授業受講
法学部	90	1,081	747	83	834	453
経営学部	64	649	664	75	641	638
経済学部	51	1,007	413	55	782	466
理工学部	289	3,748	2,206	271	2,761	1,606
農学部	58	965	420	70	633	528
薬学部	34	3,272	1,006	33	3,886	569
都市情報学部	71	1,474	873	68	1,316	621
人間学部	40	791	373	42	545	349
外国語学部	48	790	277	38	561	130
教職課程・学芸員課程	25	311	112	28	179	243
計	770	14,088	7,091	763	12,138	5,603

# 回答率

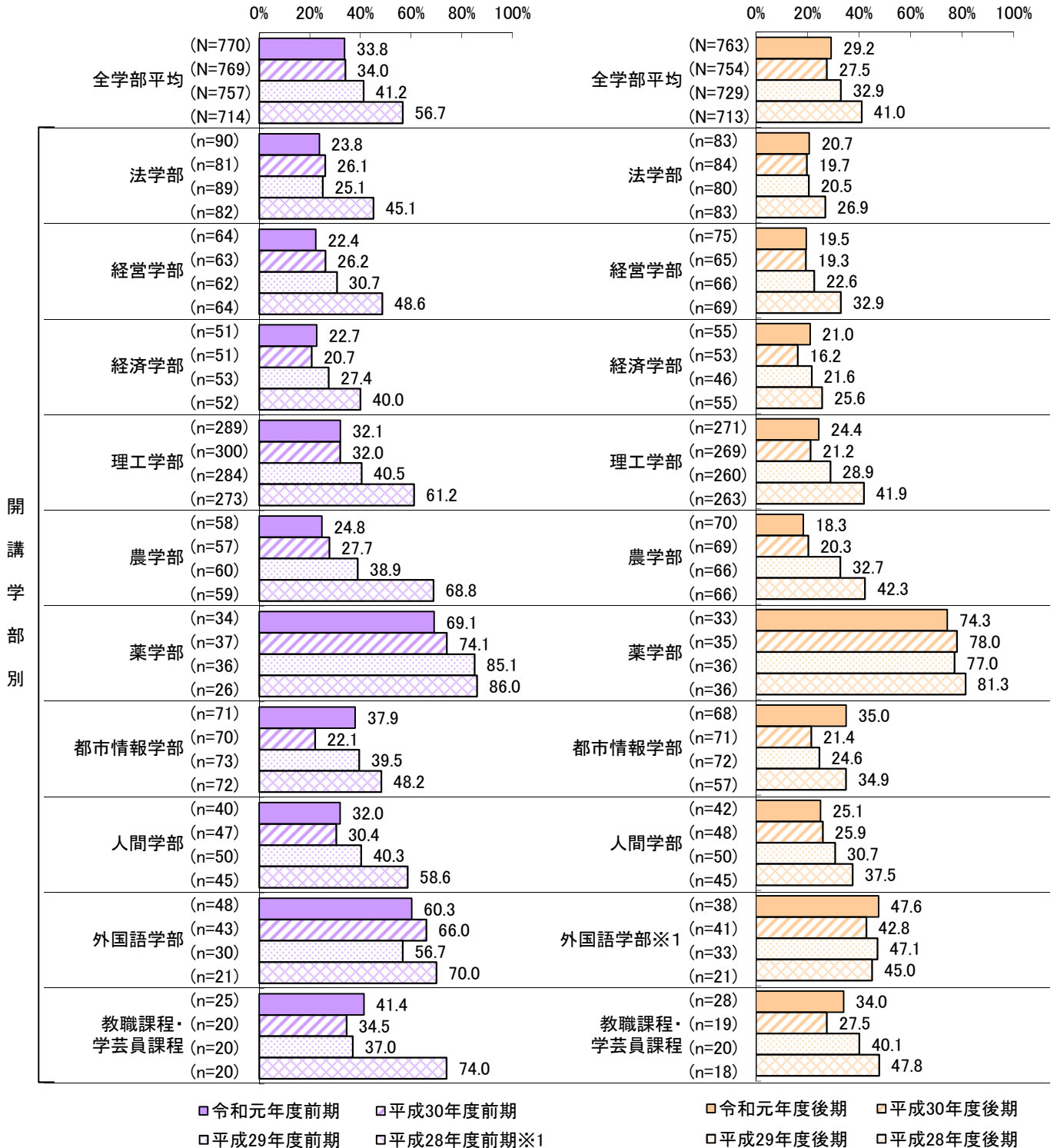
各授業の受講学生(登録学生)数と本アンケートの回答者数をもとに回答率を計算した。

$$\text{回答率} = \frac{\text{本アンケート回答者数(各授業における)}}{\text{履修登録者数}}$$

<回答率>

【元年度前期】

【元年度後期】



(※1)非常勤は紙アンケートで実施



# アンケート項目

## 令和元年度前期・後期授業改善アンケート

大学教育開発センター委員会

このアンケートは、学生の皆さんの視点から授業改善の手がかりを探り、授業改善及び教育改善につなげることを目的として実施するものです。ご回答いただいた内容は、個人が特定されない形で授業改善のため教員へフィードバック及び教育改善につなげるための情報公開に使用します。成績評価等には一切影響しませんので承諾いただいたうえで率直に回答してください。

- この授業では、板書や資料等は読み取りやすかったと思いますか。  
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない
- この授業では、教員の話し方は聞き取りやすかったと思いますか。  
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない
- この授業では、教員は私語に対し、きちんと対応していましたか。  
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない
- この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか。  
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない
- この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか。  
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない

(5-1)設問5. について、積極的に授業に取り組めるような工夫はどのようなものでしたか。

以下から選択してください。(複数回答可)

- 授業外での課題 (例: 宿題)
- 理解度の確認 (例: 小テスト、リアクションペーパー等)
- グループワーク
- ディスカッション
- プレゼンテーション
- フィールドワーク
- PBL (Problem-Based Learning、Project-Based Learning)
- その他

(5-2)「8. その他」を選択した場合、行われていた工夫について、具体的に記入してください。

--

- この授業では、教員は熱意や意欲をもって授業に取り組んでくれたと思いますか。  
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない
- あなたは、シラバスや履修系統図を参考に、この授業の目標やねらいを十分に理解したうえで受講したと思いますか。  
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない

# アンケート項目

8. あなたは、この授業に対して、欠席や遅刻をすることなく、過度なアルバイトや寝不足などによる体調不良がない状態で臨むことができたと思いますか。

1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない

9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。

1.週3時間以上 2.週1時間・3時間未満 3.週30分・1時間未満 4.週30分未満 5.していない

10. あなたは、この授業に意欲的・積極的に取り組むことができたと思いますか。

1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない

(10-1)その理由について、簡単にお答えください。(任意)

11. この授業を通じて、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか。

1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない

12. この授業を通じて、あなたは学問や研究への興味や意欲を膨らませることができたと思いますか。

1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない

13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。

1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない

14. この授業について、あなたが良いと思った点や、改善したほうが良いと思った点について、建設的なご意見を記述してください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

# 授業科目の集計結果

<各教員へのフィードバック様式見本>

## 【名城大学FD】 令和元年度前期・後期授業改善アンケート 集計結果

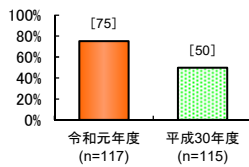
●●学部	科目名: ●●●●	時間割: ●曜日●限
履修登録者数: ●●	回答者数: ●●	回答率: ●%
平成30年度実施科目名: ●●●●		教員名: ●●●●

### ■主要項目の評価

#### 【成長実感(%)】

この授業を通じて、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いませんか

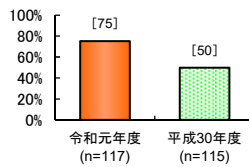
(強く+ややそう思うのスコア)



#### 【授業満足(%)】

この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか

(強く+ややそう思うのスコア)



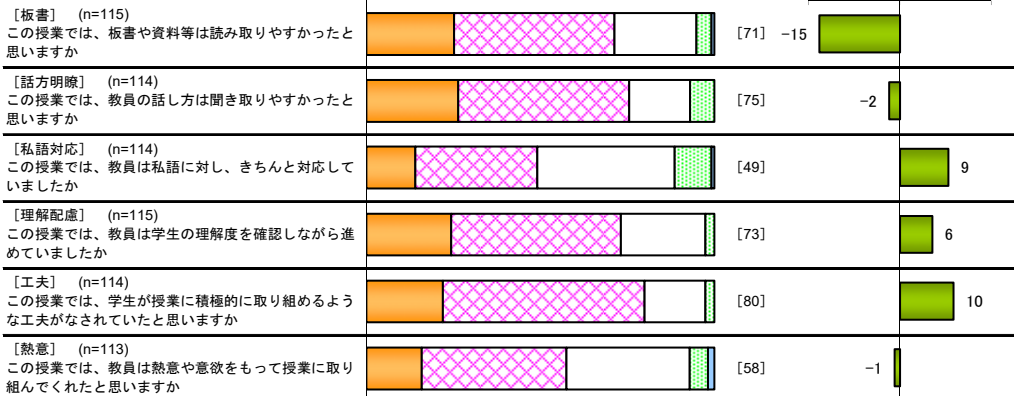
#### 【自学自習時間(%)】

あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか

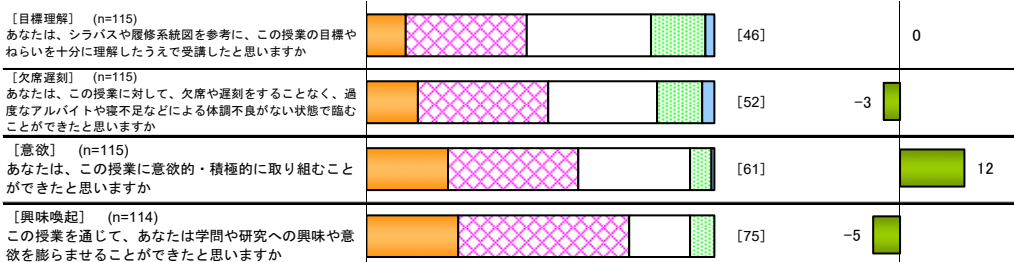
	週3時間以上	週1時間-3時間未満	週30分-1時間未満	週30分未満	勉強していません	無回答
令和元年度 (N=117)	2	7	14	18	58	1
平成30年度 (N=115)	4	11	13	27	45	0

### ■主要項目以外の項目の評価

#### 【授業に関する評価】



#### 【学生自身に関する評価】



コメント

# 授業科目の集計結果

<各教員へのフィードバック様式見本>

ID : ●●●● ●● ●● 先生

授業科目名 : ●●●● ●曜日 ●限

5-1. 設問5. について、積極的に授業に取り組めるような工夫はどのようなものでしたか。

以下から選択してください。(複数回答可)

5-2. 「8. その他」を選択した場合、行われていた工夫について、具体的に記入してください。

	授業外での課題 (例:宿題)	理解度の確認 (例:小テスト、リアクションペーパー等)	グループワーク	ディスカッション	プレゼンテーション	フィールドワーク	PBL (Problem-Based Learning、Project-Based Learning)	その他
令和元年度 (n= 50 )	20	60	8	14	4	6	0	12 (%)

● 発見学習

● 体験学習

# 授業改善アンケート集計結果

ID : ●●●● ●● ●● 先生

授業科目名 : ●●●● ●曜日 ●限

10. あなたは、この授業に意欲的・積極的に取り組むことができたと思いますか。  
10-1. その理由について、簡単にお答えください。(任意)

## 1. 強くそう思う

- 資料と照らし合わせて進めていたのでとても分かりやすかったです。
- 声聞き取りやすく、話に興味を持てた
- 要点が分かりやすくまとまったプリントで、復習しやすかった。

## 2. ややそう思う

- 余談が面白かった。
- まとめの確認がよかった。

## 3. どちらともいえない

- もう少し私語への注意をしてほしい。

## 4. あまりそう思わない

- 難しい内容はもう少し詳しく解説してほしい。

## 5. 全くそう思わない

- 内容が難しかったため、あまり理解できなかった。

# 授業改善アンケート集計結果の見方

## 授業改善アンケート集計結果の見方

【名城大学FD】令和元年度 授業改善アンケート集計結果

●学部 科目名: ●●●●●●●●●● 時間割: ●曜日●限

履修登録者数: ●●●●● 回答者数: ●●●●● 回答率: ●●% 教員名: ●●●●●

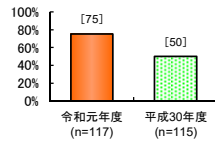
平成30年度実施科目名: ●●●●●

### ■主要項目の評価

#### 【成長実感(%)】

この授業を通じて、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いませんか

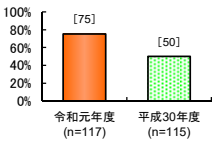
(強く+やややそう思うのスコア)



#### 【授業満足(%)】

この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか

(強く+やややそう思うのスコア)



#### 【自学自習時間(%)】

あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でのどのくらい勉強をしましたか

	週3時間以上	週1時間-3時間未満	週30分-1時間未満	週30分未満	勉強していない	無回答
令和元年度 (N=117)	2	7	14	18	58	1
平成30年度 (N=115)	4	11	13	27	45	0

### ■主要項目以外の項目の評価

#### 【授業に関する評価】

項目	スコア	差
【板書】 (n=115) この授業では、板書や資料等は読み取りやすかったと思いませんか	[71]	-15
【話方明瞭】 (n=114) この授業では、教員の話し方は聞き取りやすかったと思いませんか	[75]	-2
【私語対応】 (n=114) この授業では、教員は私語に対し、きちんと対応していましたか	[49]	9
【理解配慮】 (n=115) この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか	[73]	6
【工夫】 (n=114) この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いませんか	[80]	10
【熱意】 (n=113) この授業では、教員は熱意や意欲をもって授業に取り組んでくれたと思いませんか	[58]	-1

#### 【学生自身に関する評価】

項目	スコア	差
【目標理解】 (n=115) あなたは、シラバスや履修系統図を参考に、この授業の目標やねらいを十分に理解したうえで受講したと思いませんか	[46]	0
【出席遅刻】 (n=115) あなたは、この授業に対して、欠席や遅刻をすることなく、適度なアルバイトや寝不足などによる体調不良がない状態で臨むことができたと思いませんか	[52]	-3
【意欲】 (n=115) あなたは、この授業に意欲的・積極的に取り組むことができたと思いませんか	[61]	12
【興味喚起】 (n=114) この授業を通じて、あなたは学問や研究への興味や意欲を膨らませることができたと思いませんか	[75]	-5

コメント欄

P.12【4】参照

P.12【5】参照

P.12【6】参照

# 授業改善アンケート集計結果の見方

## 授業改善アンケートの各評価の解説（番号は P.11 と対応しています）

### 【1】回答者数・回答率

- ・回答者数が 25 人未満の場合は、少人数で算出した値であることにご注意ください。
- ・「この授業科目の履修登録者数」と「この授業科目の回答者数」をもとに回答率を算出しました。回答率は以下の式で表されます。回答率が低い場合は、少人数で算出した値であることにご注意ください。

$$\text{回答率} = \frac{\text{この授業科目の回答者数}}{\text{この授業科目の履修登録者数}}$$

### 【2】主要項目の評価「成長実感」「授業満足」

学生自身に関する評価「成長実感」「授業満足」の集計結果（回答した割合）です。「強く思う」「やや思う」の合計値を表示しています。各項目、無回答を除いた回答者で集計しており、「n」で表しています。平成 30 年度と実施科目が異なる場合も値を掲載しております。結果の比較にご確認ください。

### 【3】主要項目の評価「自学自習時間」

学生自身に関する評価「自学自習時間（授業時間を除いた学習時間）」の集計結果（回答した割合）です。無回答を含んだ全回答者で集計しており、「N」は全回答者数を表しています。平成 30 年度と実施科目が異なる場合も値を掲載しております。結果の比較にご確認ください。

### 【4】授業に関する評価

授業に関する評価「板書」「話方明瞭」「私語対応」「理解配慮」「工夫」「熱意」の集計結果（回答した割合）です。各項目、無回答を除いた回答者で集計しており、「n」で表しています。「強く思う」～「全くそう思わない」の 5 段階評価をグラフで示しました。

### 【5】学生自身に関する評価

学生自身に関する評価「目標理解」「欠席遅刻」「意欲」「興味喚起」の集計結果（回答した割合）です。各項目、無回答を除いた回答者で集計しており、「n」で表しています。「強く思う」～「全くそう思わない」の 5 段階評価をグラフで示しました。

### 【6】平成 30 年度科目との比較

各項目、平成 30 年度科目と比較した結果です（但し、平成 30 年度と実施科目が異なる場合は比較しておりません）。『令和元年度の「強く思う」「やや思う」の合計値』から『平成 30 年度の「強く思う」「やや思う」の合計値』を引いた結果を表示しています。値が大きいほど、平成 30 年度より改善した結果になっているといえます。

# 授業改善アンケート集計結果の見方

ID : ●●● ●● ●● 先生

授業科目名 : ●●● ●曜日 ●限

5-1. 設問5. について、積極的に授業に取り組めるような工夫はどのようなものでしたか。

以下から選択してください。(複数回答可)

5-2. 「8. その他」を選択した場合、行われていた工夫について、具体的に記入してください。

P.14【7】参照

	授業外での課題 (例:宿題)	理解度の確認 (例:小テスト、リアクションペーパー等)	グループワーク	ディスカッション	プレゼンテーション	フィールドワーク	PBL (Problem-Based Learning、Project-Based Learning)	その他	
令和元年度 (n= 50 )	20	60	8	14	4	6	0	12	(%)

● 発見学習

● 体験学習

P.14【8】参照



# 授業改善アンケート集計結果の見方

---

授業改善アンケートの各評価の解説（番号は P.13 と対応しています）

**【7】「積極的に授業に取り組めるような工夫」の評価**

設問5（この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか）について、「積極的に授業に取り組めるような工夫がどのようなものだったか」を集計した結果（回答した割合）です。無回答を除いた回答者で集計しており、「n」で表しています。

**【8】「その他」の具体的な記述**

設問5-1で「8. その他」を選択した場合、行われていた工夫についての回答です。

# 授業改善アンケート集計結果の見方

ID : ●●● ●● ●● 先生

授業科目名 : ●●● ●曜日 ●限

P.16【9】参照

10. あなたは、この授業に意欲的・積極的に取り組むことができましたか。

10-1. その理由について、簡単にお答えください。(任意)

## 1. 強く思う

- 資料と照らし合わせて進めていたのでとても分かりやすかったです。
- 声が聞き取りやすく、話に興味を持てた
- 要点が分かりやすくまとまったプリントで、復習しやすかった。

## 2. やや思う

- 余談が面白かった。
- まとめの確認がよかった。

## 3. どちらともいえない

- もう少し私語への注意をしてほしい。

## 4. あまりそう思わない

- 難しい内容はもう少し詳しく解説してほしい。

## 5. 全く思わない

- 内容が難しかったため、あまり理解できなかった。

## 授業改善アンケート集計結果の見方

---

授業改善アンケートの各評価の解説（番号は P.15 と対応しています）

### 【9】「意欲的・積極的に授業に取り組んだ」理由

設問 10（あなたは、この授業に意欲的・積極的に取り組むことができましたか）について、回答のあった理由です。

設問 10 の「1. 強くそう思う」～「5. 全くそう思わない」の回答別に理由を記載しています。



# アンケート結果



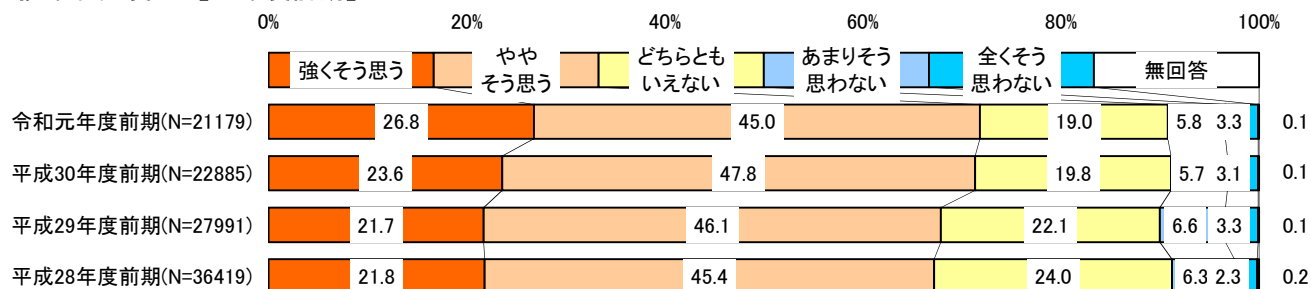
# 1 授業満足度の時系列比較 (1) 元年度前期

[学生]

学生の授業満足度を時系列でみると、元年度前期全体では「強く思う」+「やや思う」の割合は7割強で、平成30年度前期からほぼ横ばい。学部・学科別では、経営学部、教職課程・学芸員課程で5ポイント以上の低下。経営学部は経営学科、国際経営学科とも5ポイント以上低下した。

Q13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。

## <授業満足度> 【元年度前期】



## <学部・学科別 授業満足度の時系列比較>

学部別	回答者数	令和元年度前期	回答者数	平成30年度前期	回答者数	平成29年度前期	回答者数	平成28年度前期
全学部平均	21179	71.8	22885	71.3	27991	67.9	36419	67.2
法学部	1828	67.8	2081	64.8	2288	65.2	4264	67.5
経営学部	1313	<u>70.2</u>	1575	76.1	1728	70.0	2898	72.8
経済学部	1420	67.5	1359	64.8	1832	62.4	2654	65.6
理工学部	5954	67.4	6366	67.5	7864	62.2	11167	61.8
農学部	1385	72.6	1575	69.3	2359	67.8	4005	67.1
薬学部	4278	79.9	5715	77.1	6278	73.9	4004	66.3
都市情報学部	2347	69.4	1443	67.3	2692	69.4	3562	72.5
人間学部	1164	78.4	1292	79.0	1765	72.9	2171	77.3
外国語学部	1067	73.8	1114	71.4	775	70.1	730	67.0
教職課程・学芸員課程	423	<u>78.7</u>	365	85.2	410	78.0	964	77.8

学科別	回答者数	令和元年度前期	回答者数	平成30年度前期	回答者数	平成29年度前期	回答者数	平成28年度前期
全学部平均	21179	71.8	22885	71.3	27991	67.9	36419	67.2
法学科	1828	67.8	2081	64.8	2266	64.9	4233	67.3
経営学科	1144	<u>70.4</u>	1292	76.3	1386	71.3	2461	73.5
国際経営学科	169	<u>69.2</u>	283	75.3	342	64.6	437	68.9
経済学科	1016	64.6	932	64.3	1343	60.9	1915	64.1
産業社会学科	404	74.8	427	66.0	489	66.7	739	69.6
数学科	482	64.1	445	68.3	475	65.3	962	62.0
情報工学科	1098	60.7	1137	64.7	1474	57.4	1593	52.9
電気電子工学科	547	61.6	679	65.1	959	62.4	1325	64.5
材料機能工学科	328	64.9	398	58.3	368	<u>56.8</u>	530	65.7
応用化学科	306	68.3	189	63.5	333	<u>57.7</u>	336	64.6
機械工学科	350	66.9	385	68.8	636	62.6	1027	62.7
交通機械工学科	562	76.2	340	70.3	547	62.0	962	63.0
メカトロニクス工学科	463	<u>56.6</u>	610	61.8	770	63.8	1011	60.0
社会基盤デザイン工学科	813	79.3	580	80.5	764	73.6	932	63.8
環境創造学科	547	70.7	793	71.5	725	<u>59.6</u>	1345	66.8
建築学科	458	70.1	810	67.9	813	63.5	1144	60.6
生物資源学科	559	71.7	466	74.0	963	62.5	2014	67.2
応用生物化学科	492	72.2	764	67.7	888	70.6	1276	65.9
生物環境科学科	334	74.6	345	<u>66.7</u>	508	73.0	715	68.8
薬学科	4278	79.9	5715	77.1	6278	73.9	4004	66.3
都市情報学科	2347	69.4	1443	67.3	2692	69.4	3562	72.5
人間学科	1164	78.4	1292	79.0	1765	72.9	2171	77.3
国際英語学科	1067	73.8	1114	71.4	775	70.1	730	67.0

\* 「強く」+「やや思う」のスコア (%)

\* 前年度より5ポイント以上上昇したものは網掛け、5ポイント以上低下したものは斜体+下線

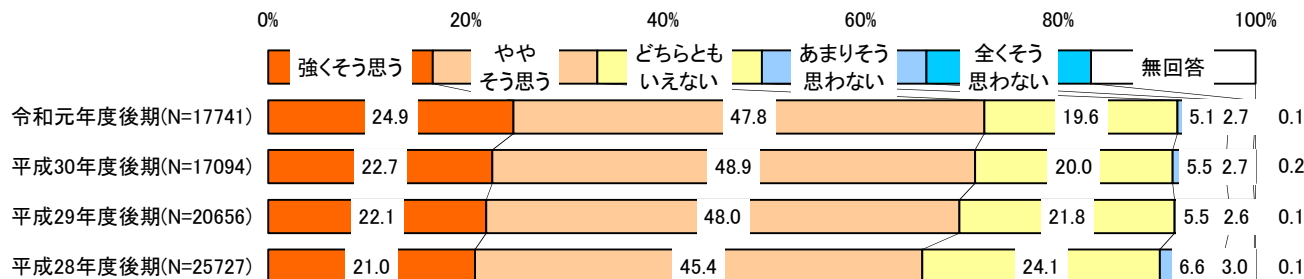
# 1 授業満足度の時系列比較 (2) 元年度後期

[学生]

学生の授業満足度を時系列でみると、元年度後期全体では「強く思う」+「やや思う」の割合は7割強で、平成30年度後期からほぼ横ばい。学部・学科別では、法学部、人間学部、外国語学部で5ポイント以上上昇し、人間学部の満足度は8割を超える。

Q13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。

## <授業満足度> 【元年度後期】



## <学部・学科別 授業満足度の時系列比較>

学部別	回答者数	令和元年度後期	回答者数	平成30年度後期	回答者数	平成29年度後期	回答者数	平成28年度後期
全学部平均	17741	72.6	17094	71.7	20656	70.1	25727	66.3
法学部	1287	71.4	1253	63.2	1548	66.9	2208	62.5
経営学部	1279	72.3	1087	72.0	1197	72.8	1900	72.3
経済学部	1248	70.6	1052	68.8	1370	66.1	1685	66.9
理工学部	4367	70.9	3711	70.3	4912	65.6	7417	60.5
農学部	1161	74.8	1245	70.0	1979	71.3	2585	66.3
薬学部	4455	72.1	5233	74.1	5715	72.9	5684	67.8
都市情報学部	1937	70.8	1392	70.5	1671	70.3	2083	72.4
人間学部	894	80.9	1089	75.4	1267	69.5	1485	72.4
外国語学部	691	79.0	767	73.8	535	83.6	270	80.4
教職課程・学芸員課程	422	80.6	265	85.3	462	77.9	410	80.7

学科別	回答者数	令和元年度後期	回答者数	平成30年度後期	回答者数	平成29年度後期	回答者数	平成28年度後期
全学部平均	17741	72.6	17094	71.7	20656	70.1	25727	66.3
法学科	1287	71.4	1253	63.2	1530	66.5	2178	62.2
経営学科	1027	71.9	884	71.8	933	71.8	1486	71.5
国際経営学科	252	74.2	203	72.9	264	76.1	414	75.1
経済学科	855	71.9	682	71.4	930	66.7	1386	65.4
産業社会学科	393	67.7	370	64.1	440	65.0	299	73.9
数学科	338	71.6	279	65.9	260	66.9	580	59.5
情報工学科	703	70.6	504	68.7	784	64.3	1212	54.3
電気電子工学科	366	65.0	338	72.8	627	66.7	865	64.2
材料機能工学科	193	65.3	184	64.1	209	64.6	349	58.2
応用化学科	231	75.8	117	59.8	299	62.9	259	53.7
機械工学科	260	71.5	263	66.9	452	59.7	775	63.6
交通機械工学科	475	63.8	437	67.0	446	58.5	527	62.2
メカトロニクス工学科	273	71.8	251	61.4	390	66.4	635	59.4
社会基盤デザイン工学科	703	77.0	613	77.8	854	70.7	905	62.5
環境創造学科	274	78.1	261	80.1	279	71.0	681	59.5
建築学科	551	68.8	464	72.0	312	67.3	629	66.0
生物資源学科	426	79.8	424	67.9	672	72.8	989	65.3
応用生物化学科	375	73.9	548	72.1	804	73.4	894	69.6
生物環境科学科	360	70.0	273	69.2	503	66.0	702	63.5
薬学科	4455	72.1	5233	74.1	5715	72.9	5684	67.8
都市情報学科	1937	70.8	1392	70.5	1671	70.3	2083	72.4
人間学科	894	80.9	1089	75.4	1267	69.5	1485	72.4
国際英語学科	691	79.0	767	73.8	535	83.6	270	80.4

\* 「強く」+「やや思う」のスコア (%)

\* 前年度より5ポイント以上上昇したものは網掛け、5ポイント以上低下したものは斜体+下線



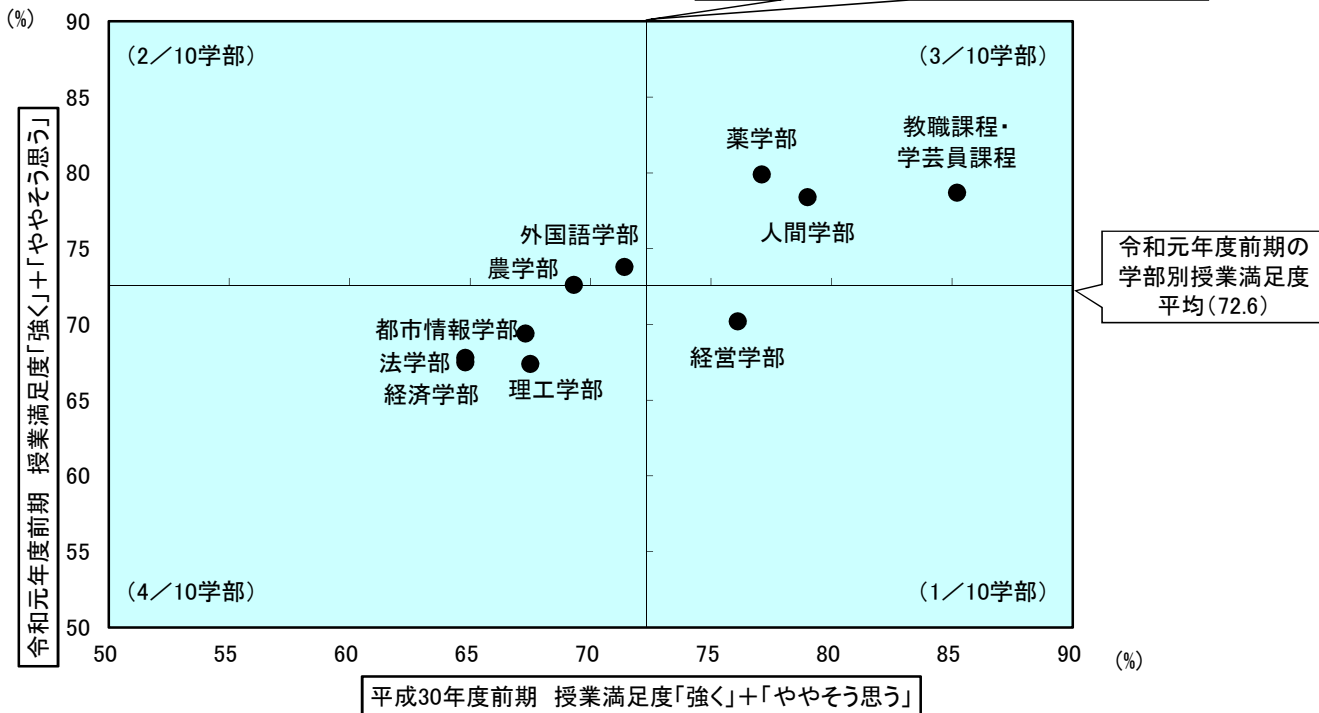
# 1 授業満足度の時系列比較 (3) 元年度前期

[学生]

平成30年度前期・令和元年度前期ともに授業満足度が高いのは教職課程・学芸員過程、人間学部、薬学部。一方、平成30年度前期・令和元年度前期ともに授業満足度が低いのは法学部、経済学部、理工学部、都市情報学部。外国語学部は、ほぼ平均に位置している。

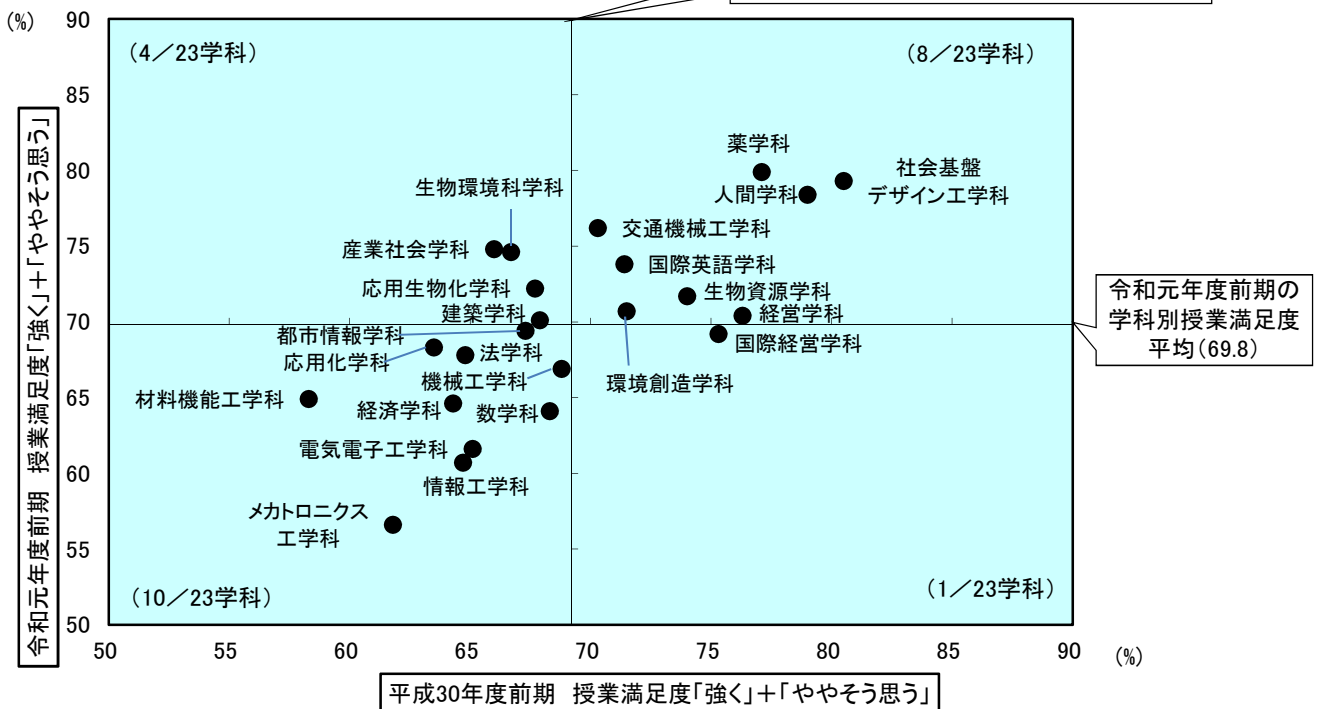
<学部別授業満足度 平成30・令和元年度前期比較>

平成30年度前期の学部別授業満足度平均(72.3)



<学科別授業満足度 平成30・令和元年度前期比較>

平成30年度前期の学科別授業満足度平均(69.2)

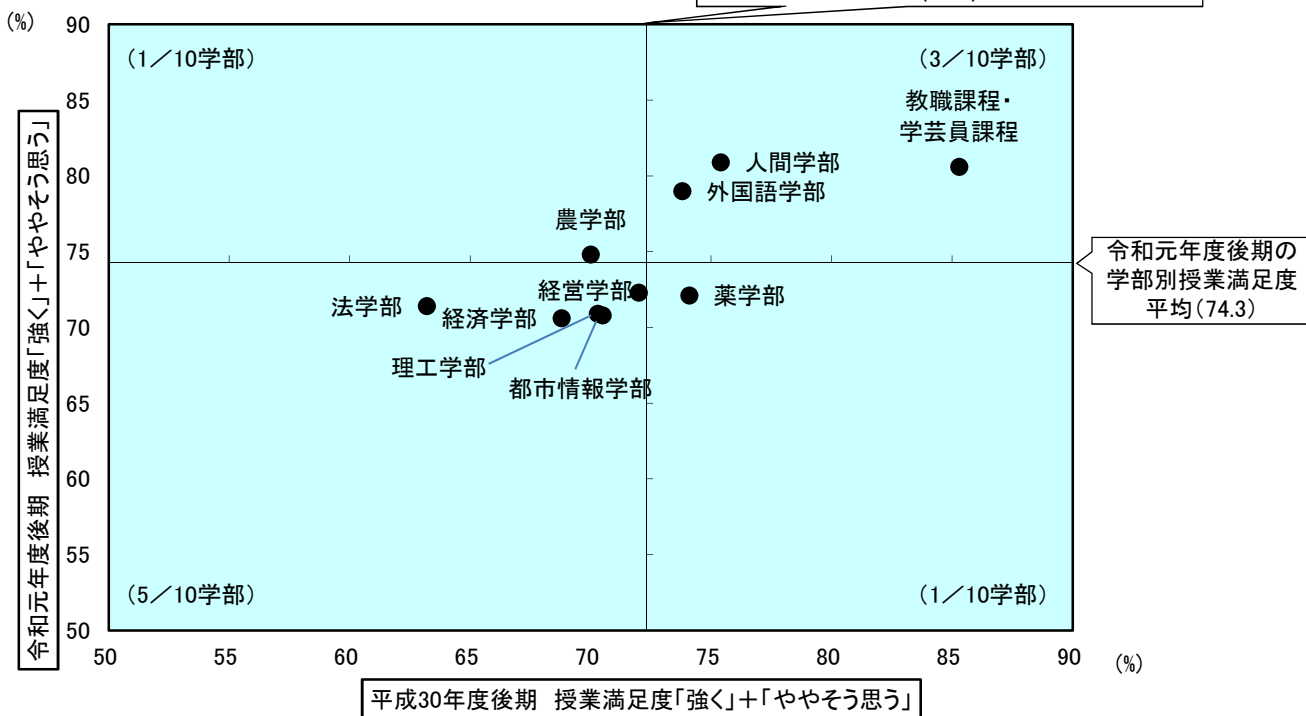


# 1 授業満足度の時系列比較（4） 元年度後期

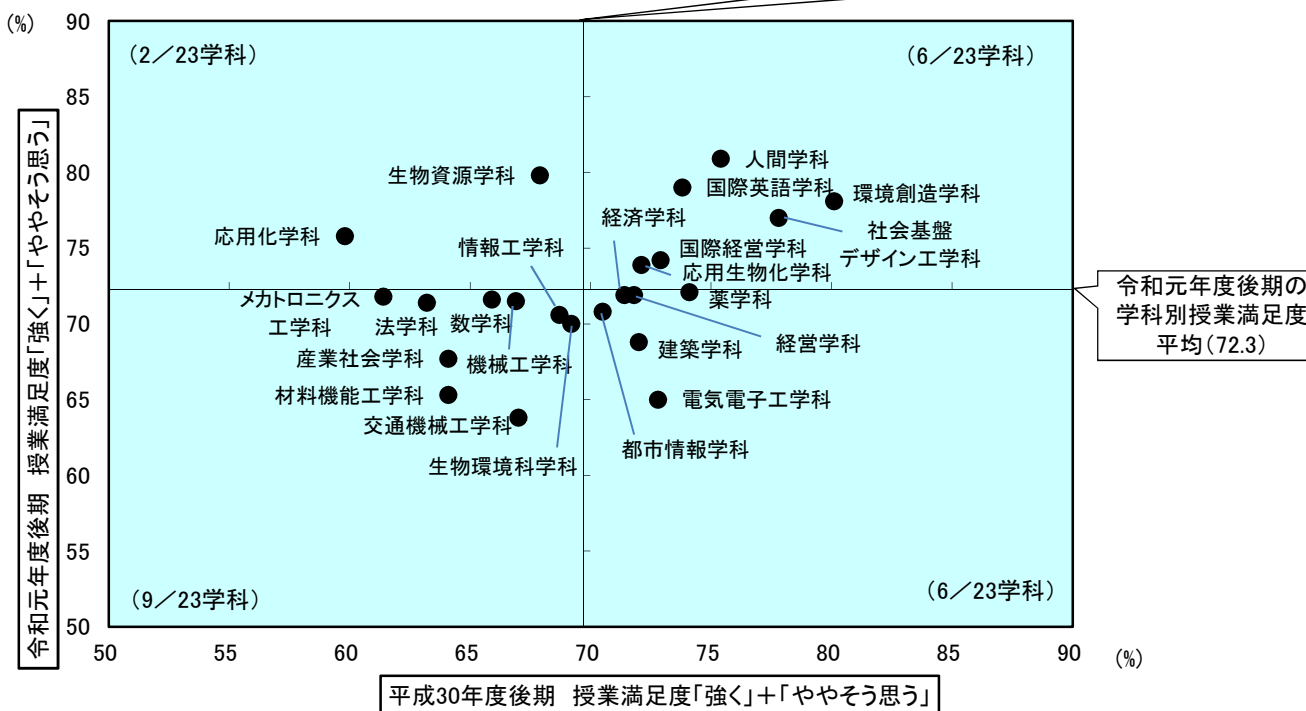
[学生]

平成30年度後期・令和元年度後期ともに授業満足度が高いのは教職課程・学芸員過程、人間学部、外国語学部。一方、平成30年度後期・令和元年度後期ともに授業満足度が低いのは法学部、経済学部、理工学部、都市情報学部。経営学部、農学部は、いずれもほぼ平均に位置している。

<学部別授業満足度 平成30・令和元年度後期比較>



<学科別授業満足度 平成30・令和元年度後期比較>



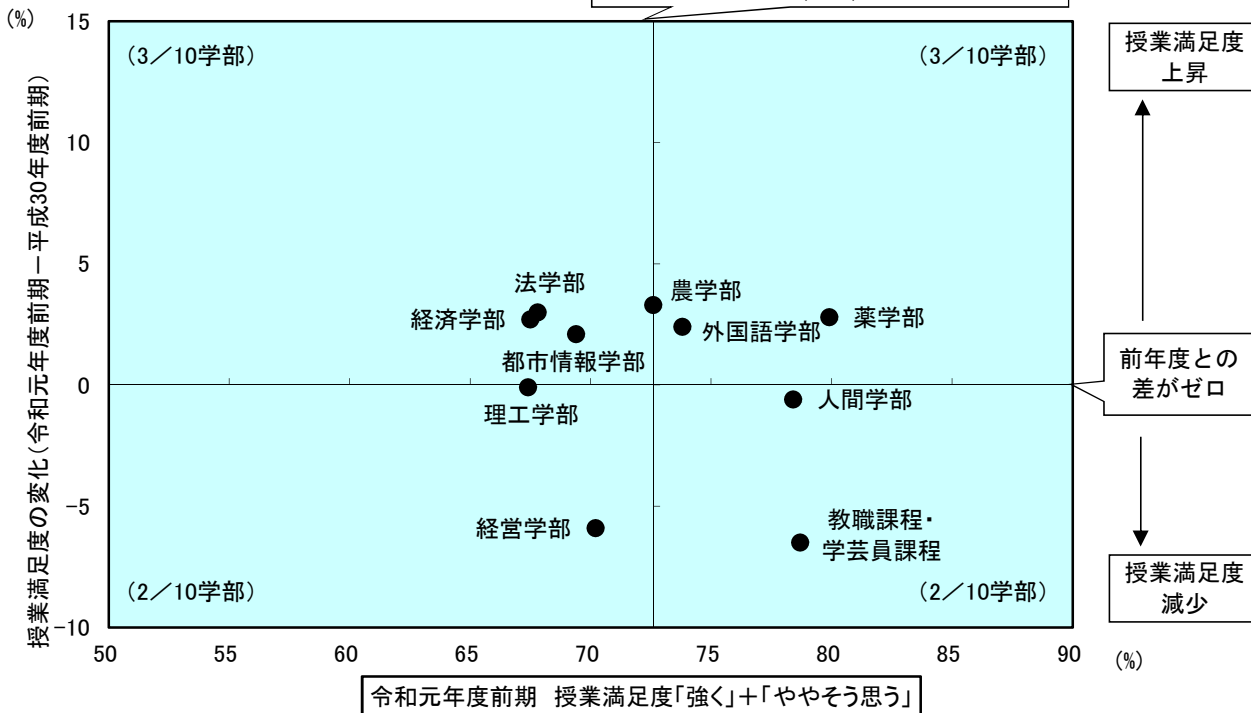
# 1 授業満足度の時系列比較（5） 元年度前期

[学生]

学部別、学科別に授業満足度の変化の度合いを比較した。  
平成30年度前期から授業満足度が上昇したのは農学部、法学部、薬学部、経済学部、外国語学部、都市情報学部。一方、教職課程・学芸員課程、経営学部は大きく低下した。

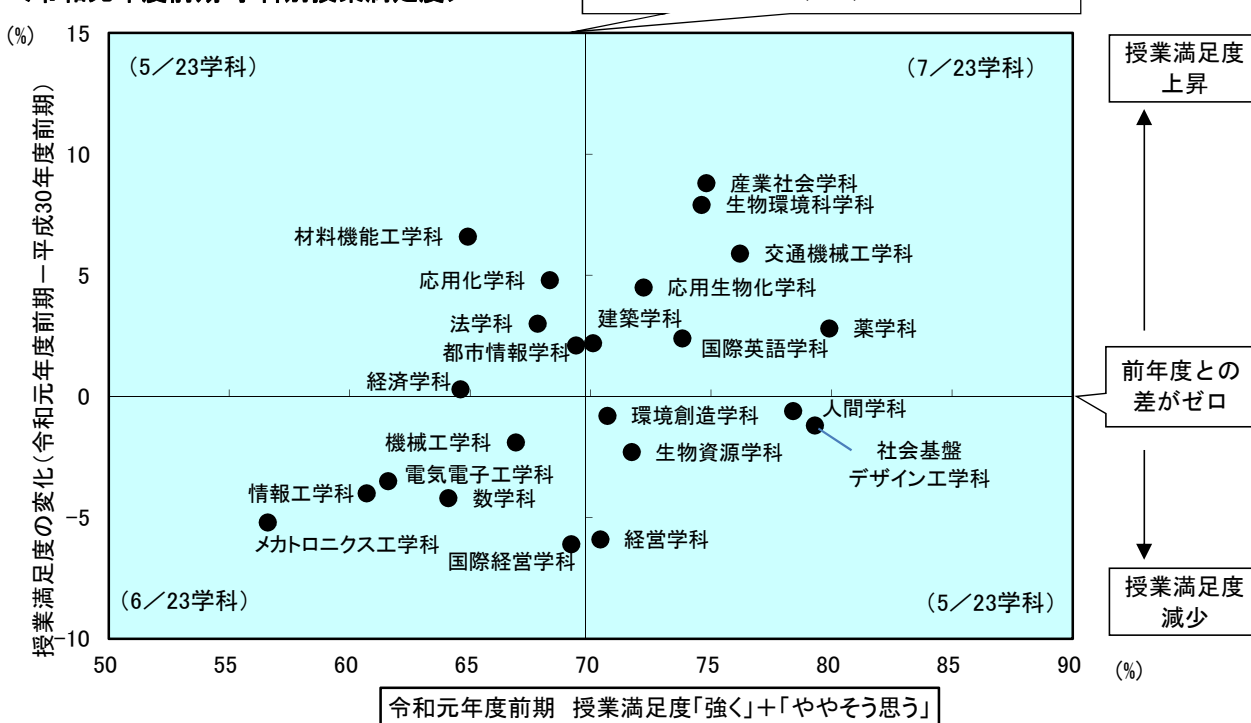
<令和元年度前期 学部別授業満足度>

令和元年度前期の学部別授業満足度平均 (72.6)



<令和元年度前期 学科別授業満足度>

令和元年度前期の学科別授業満足度平均 (69.8)



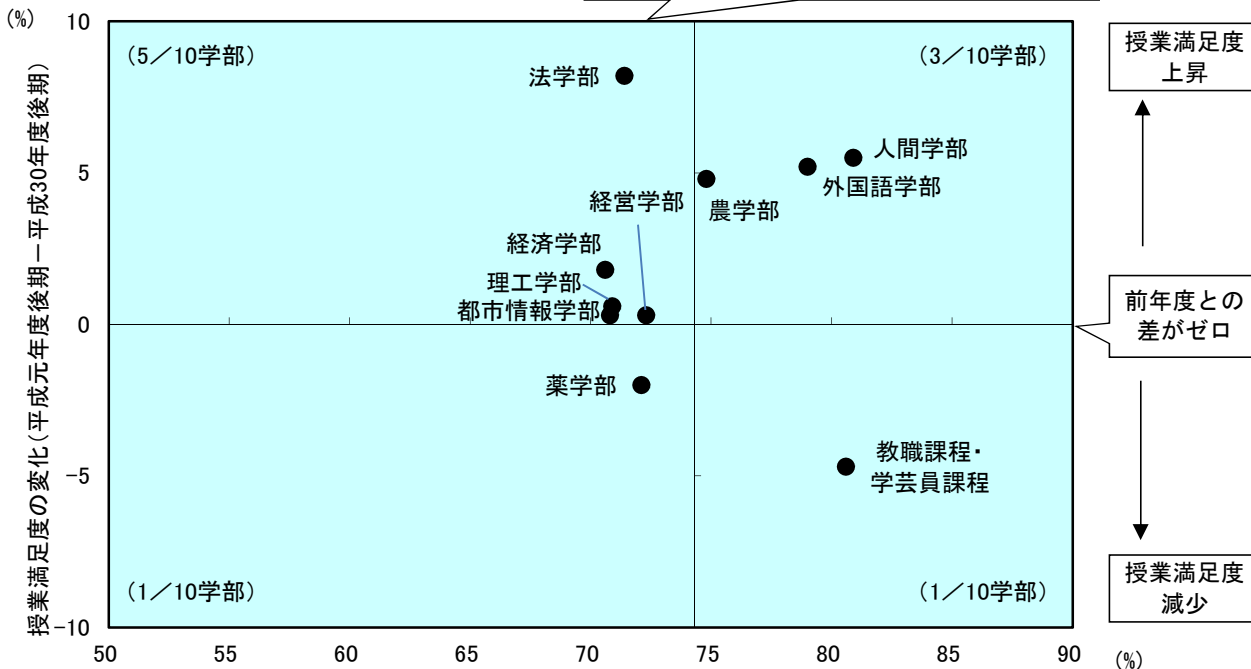
# 1 授業満足度の時系列比較（6） 元年度後期

[学生]

学部別、学科別に授業満足度の変化の度合いを比較した。  
平成30年度後期から授業満足度が上昇したのは法学部、人間学部、外国語学部、農学部など。  
一方、教職課程・学芸員課程は低下した。

＜令和元年度後期 学部別授業満足度＞

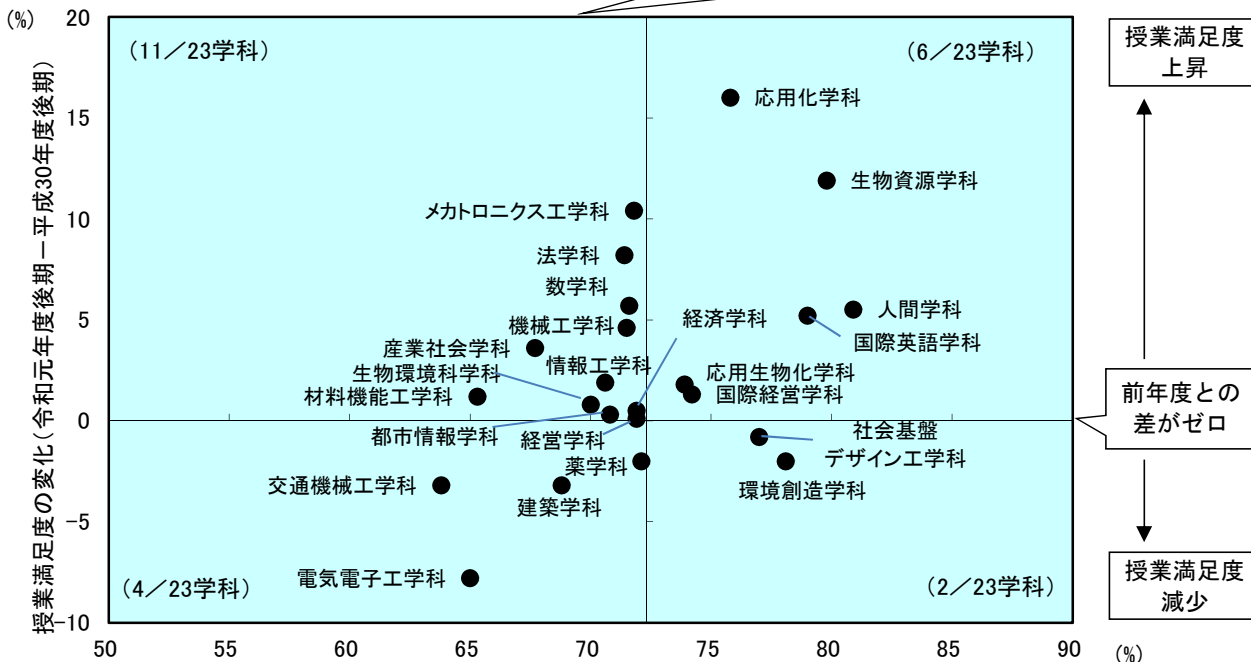
令和元年度後期の学部別授業満足度平均(74.3)



令和元年度後期 授業満足度「強く」+「ややそう思う」

＜令和元年度後期 学科別授業満足度＞

令和元年度後期の学科別授業満足度平均(72.3)



令和元年度後期 授業満足度「強く」+「ややそう思う」

# 1 授業満足度の時系列比較（7）

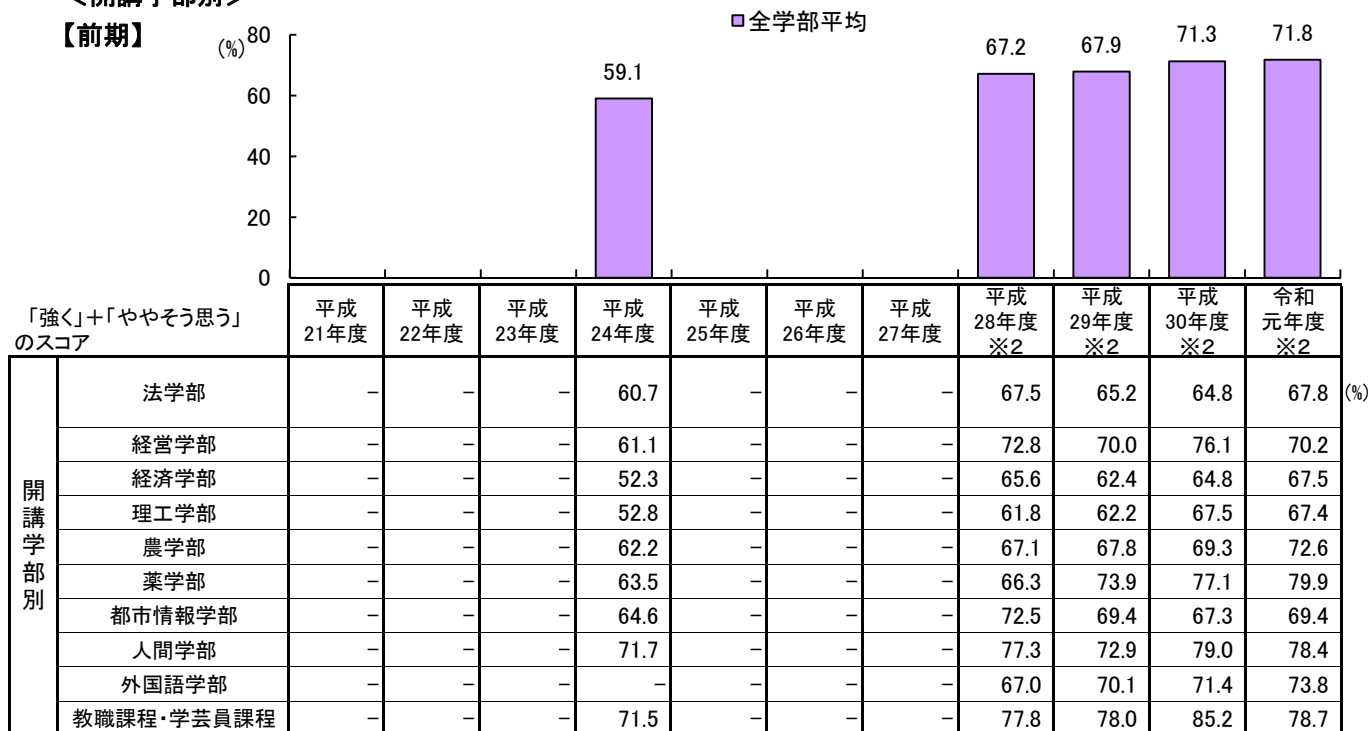
授業満足度を各学部別に時系列で確認した。

前期は上昇傾向から横ばいに転じたが、後期は上昇傾向にある（但し、平成21年度は「この授業は総合的に見て満足のいくものである。」、平成22～24年度は「この授業は満足のいくものである。」で測定）。

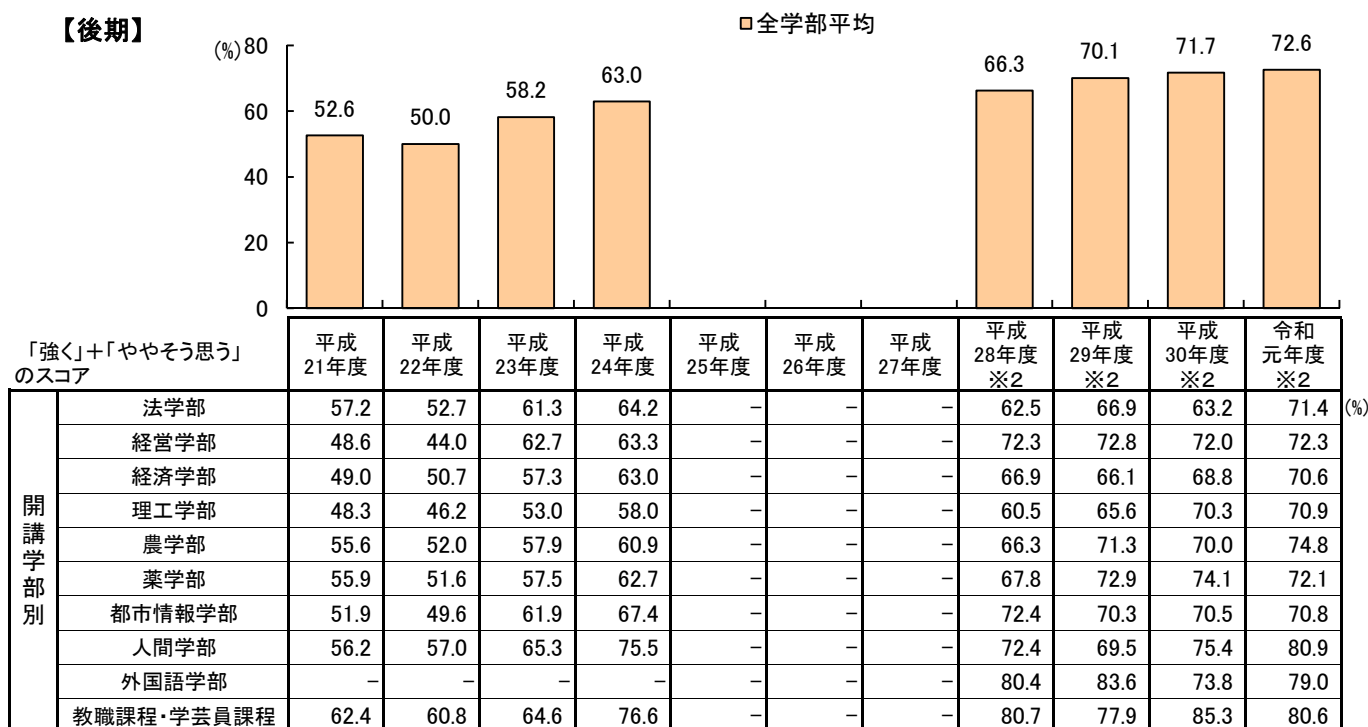
Q13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。※1

## <開講学部別>

### 【前期】



### 【後期】



(※1)平成21年度は「この授業は総合的に見て満足のいくものである。」、平成22～24年度は「この授業は満足のいくものである。」で測定

(※2)平成28年度前期は常勤WEBアンケート、非常勤紙アンケート、

平成28年度後期、平成29年度前期・後期、平成30年度前期・後期、令和元年度前期・後期は常勤・非常勤 WEBアンケートで実施

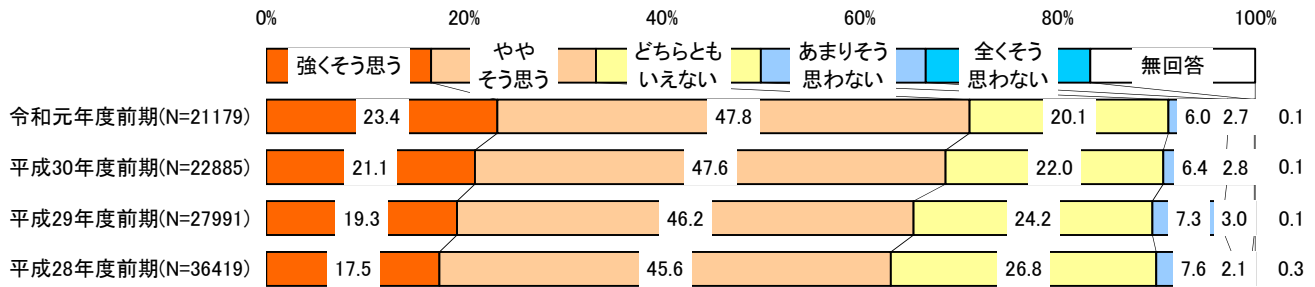
## 2 成長実感の時系列比較 (1) 元年度前期

[学生]

学生の成長実感を時系列でみると、元年度前期全体では「強くそう思う」+「ややそう思う」の割合は7割強に上昇。学部・学科別では、経済学部、農学部、都市情報学部で上昇がみられる。

Q11. この授業を通じて、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか。

<成長実感> 【元年度前期】



<学部・学科別 成長実感の時系列比較>

学部別	回答者数	令和元年度前期	回答者数	平成30年度前期	回答者数	平成29年度前期	回答者数	平成28年度前期
全学部平均	21179	71.2	22885	68.7	27991	65.5	36419	63.2
法学部	1828	67.3	2081	63.0	2288	63.0	4264	61.1
経営学部	1313	68.1	1575	71.0	1728	68.2	2898	66.3
経済学部	1420	67.2	1359	60.9	1832	59.7	2654	60.6
理工学部	5954	69.0	6366	66.6	7864	63.1	11167	60.5
農学部	1385	71.2	1575	66.2	2359	66.2	4005	62.0
薬学部	4278	75.9	5715	72.6	6278	67.6	4004	61.1
都市情報学部	2347	68.7	1443	62.6	2692	64.4	3562	66.8
人間学部	1164	78.3	1292	80.5	1765	70.0	2171	71.9
外国語学部	1067	75.3	1114	70.7	775	72.8	730	68.2
教職課程・学芸員課程	423	79.0	365	82.7	410	77.8	964	78.1

学科別	回答者数	令和元年度前期	回答者数	平成30年度前期	回答者数	平成29年度前期	回答者数	平成28年度前期
全学部平均	21179	71.2	22885	68.7	27991	65.5	36419	63.2
法学科	1828	67.3	2081	63.0	2266	62.8	4233	61.0
経営学科	1144	67.5	1292	71.2	1386	69.3	2461	67.0
国際経営学科	169	72.2	283	70.0	342	63.7	437	62.0
経済学科	1016	63.0	932	60.5	1343	58.7	1915	58.7
産業社会学科	404	77.7	427	61.6	489	62.2	739	65.2
数学科	482	67.0	445	67.2	475	62.1	962	56.8
情報工学科	1098	64.2	1137	65.1	1474	57.4	1593	52.7
電気電子工学科	547	64.0	679	64.1	959	62.6	1325	59.8
材料機能工学科	328	64.3	398	59.8	368	59.2	530	60.2
応用化学科	306	72.2	189	56.6	333	63.1	336	66.1
機械工学科	350	70.3	385	68.6	636	66.5	1027	63.6
交通機械工学科	562	73.8	340	68.5	547	62.9	962	64.6
メカトロニクス工学科	463	61.3	610	61.8	770	64.7	1011	59.8
社会基盤デザイン工学科	813	78.4	580	78.8	764	71.6	932	64.2
環境創造学科	547	72.6	793	68.7	725	63.2	1345	63.5
建築学科	458	69.2	810	67.0	813	64.5	1144	61.3
生物資源学科	559	69.2	466	67.0	963	61.4	2014	60.3
応用生物化学科	492	71.5	764	64.9	888	68.9	1276	63.8
生物環境科学科	334	74.0	345	68.1	508	70.7	715	63.8
薬学科	4278	75.9	5715	72.6	6278	67.6	4004	61.1
都市情報学科	2347	68.7	1443	62.6	2692	64.4	3562	66.8
人間学科	1164	78.3	1292	80.5	1765	70.0	2171	71.9
国際英語学科	1067	75.3	1114	70.7	775	72.8	730	68.2

\* 「強く」+「ややそう思う」のスコア (%)

\* 前年度より5ポイント以上上昇したものは網掛け、5ポイント以上低下したものは斜体+下線

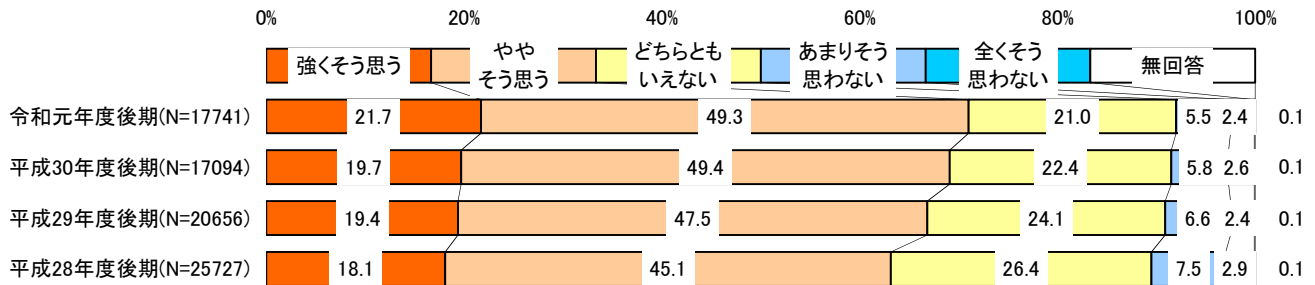
## 2 成長実感の時系列比較 (2) 元年度後期

[学生]

学生の成長実感を時系列でみると、元年度後期全体では「強くそう思う」+「ややそう思う」の割合は7割強に上昇。学部・学科別では、法学部、経済学部で上昇したが、教職課程・学芸員課程は低下傾向。

Q11. この授業を通じて、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか。

<成長実感> 【元年度後期】



<学部・学科別 成長実感の時系列比較>

学部別	回答者数	令和元年度後期	回答者数	平成30年度後期	回答者数	平成29年度後期	回答者数	平成28年度後期
全学部平均	17741	71.0	17094	69.1	20656	66.9	25727	63.1
法学部	1287	71.6	1253	61.7	1548	64.3	2208	58.5
経営学部	1279	71.5	1087	71.1	1197	69.6	1900	68.4
経済学部	1248	70.5	1052	65.0	1370	63.6	1685	63.6
理工学部	4367	71.9	3711	70.0	4912	64.6	7417	58.6
農学部	1161	71.7	1245	68.0	1979	67.3	2585	64.3
薬学部	4455	67.3	5233	68.6	5715	66.8	5684	62.3
都市情報学部	1937	68.8	1392	67.6	1671	67.0	2083	69.3
人間学部	894	78.1	1089	73.3	1267	70.2	1485	70.6
外国語学部	691	79.5	767	75.2	535	79.1	270	80.4
教職課程・学芸員課程	422	79.4	265	86.0	462	78.1	410	77.1

学科別	回答者数	令和元年度後期	回答者数	平成30年度後期	回答者数	平成29年度後期	回答者数	平成28年度後期
全学部平均	17741	71.0	17094	69.1	20656	66.9	25727	63.1
法学科	1287	71.6	1253	61.7	1530	64.0	2178	58.2
経営学科	1027	70.7	884	70.4	933	68.4	1486	68.2
国際経営学科	252	75.0	203	74.4	264	73.9	414	69.3
経済学科	855	72.0	682	67.3	930	62.8	1386	61.6
産業社会学科	393	67.2	370	60.8	440	65.2	299	72.9
数学科	338	70.1	279	65.6	260	65.0	580	55.5
情報工学科	703	71.0	504	70.6	784	62.6	1212	54.0
電気電子工学科	366	65.0	338	73.4	627	61.9	865	65.1
材料機能工学科	193	64.2	184	57.1	209	67.0	349	49.6
応用化学科	231	77.1	117	66.7	299	62.2	259	59.1
機械工学科	260	73.5	263	70.0	452	60.2	775	61.8
交通機械工学科	475	65.5	437	65.2	446	59.4	527	56.9
メカトロニクス工学科	273	72.9	251	60.6	390	64.9	635	58.3
社会基盤デザイン工学科	703	81.1	613	77.3	854	69.3	905	57.8
環境創造学科	274	81.4	261	73.9	279	70.6	681	58.4
建築学科	551	67.5	464	73.3	312	70.2	629	65.8
生物資源学科	426	73.7	424	66.3	672	69.2	989	65.2
応用生物化学科	375	71.2	548	67.5	804	69.8	894	67.2
生物環境科学科	360	69.7	273	71.8	503	60.8	702	59.1
薬学科	4455	67.3	5233	68.6	5715	66.8	5684	62.3
都市情報学科	1937	68.8	1392	67.6	1671	67.0	2083	69.3
人間学科	894	78.1	1089	73.3	1267	70.2	1485	70.6
国際英語学科	691	79.5	767	75.2	535	79.1	270	80.4

\* 「強く」+「ややそう思う」のスコア (%)

\* 前年度より5ポイント以上上昇したものは網掛け、5ポイント以上低下したものは斜体+下線

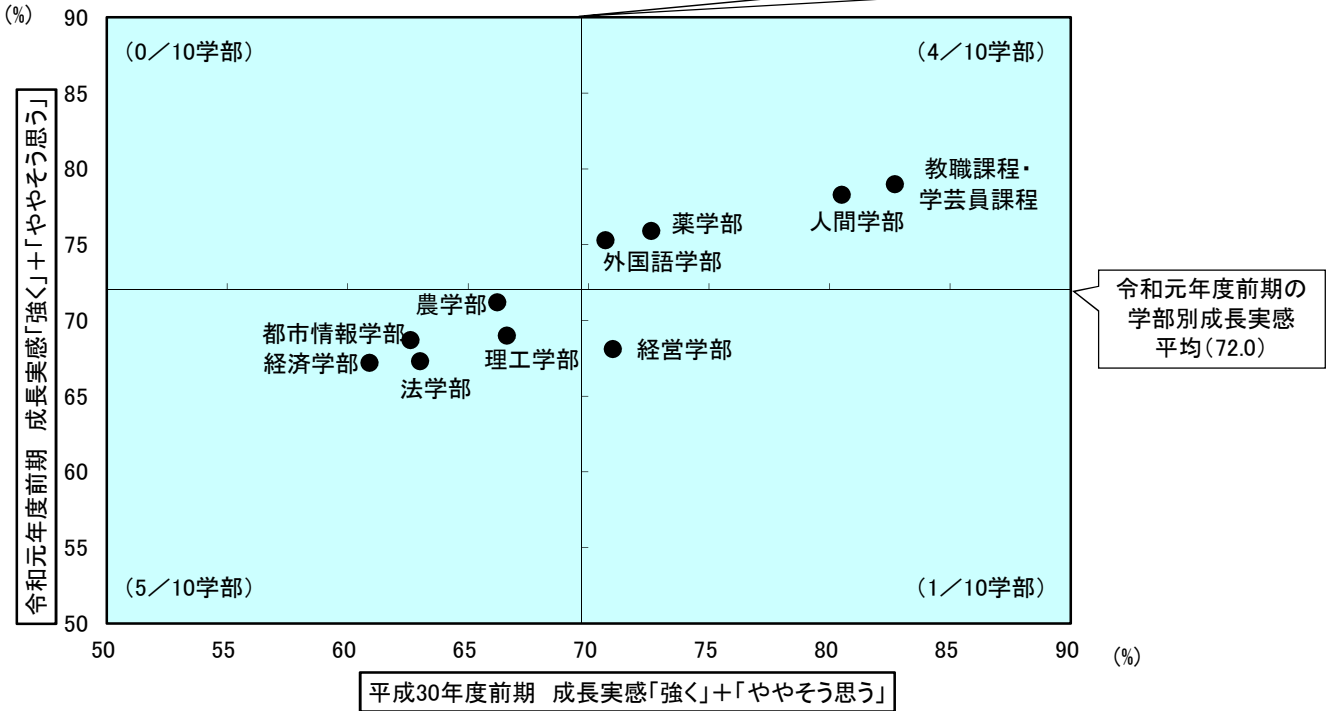
## 2 成長実感の時系列比較 (3) 元年度前期

[学生]

平成30年度前期・令和元年度前期ともに成長実感が高いのは教職課程・学芸員過程、人間学部、薬学部、外国語学部。一方、平成30年度前期・令和元年度前期ともに成長実感が低いのは経済学部、法学部、都市情報学部、理工学部。

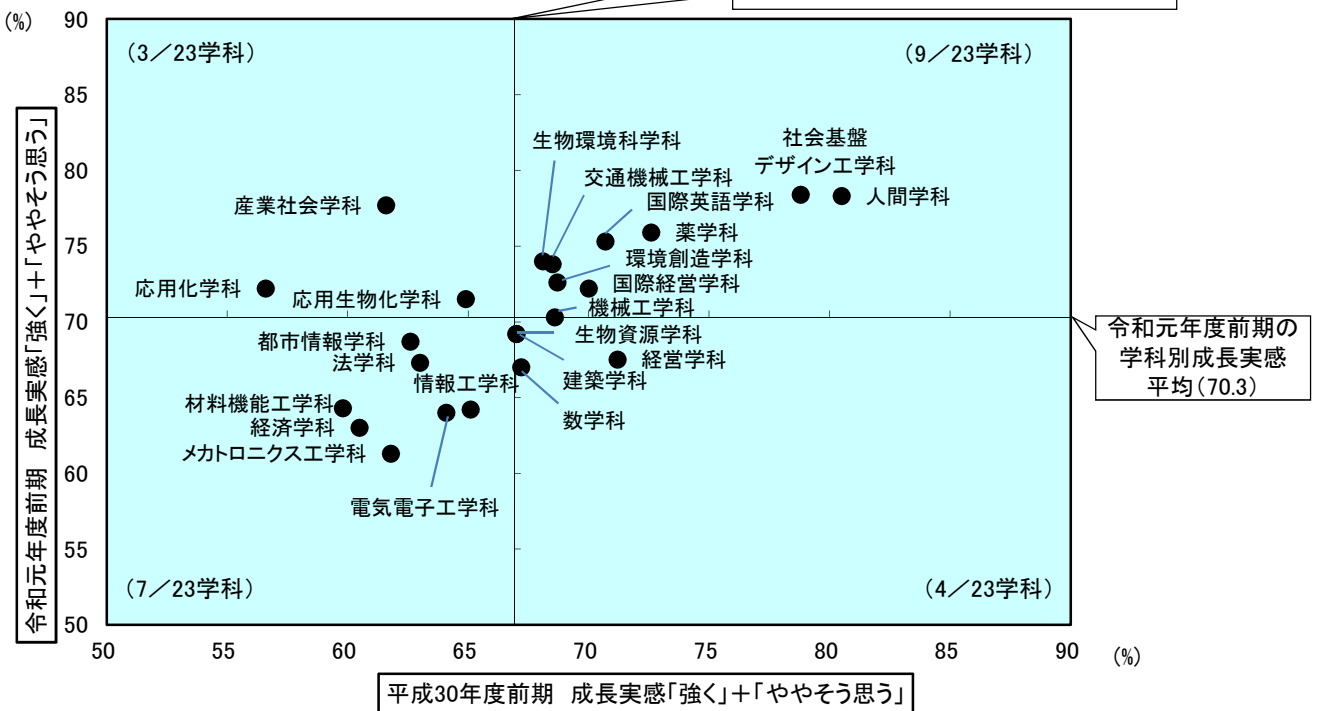
＜学部別成長実感 平成30・令和元年度前期比較＞

平成30年度前期の学部別成長実感平均(69.7)



＜学科別成長実感 平成30・令和元年度前期比較＞

平成30年度前期の学科別成長実感平均(66.9)





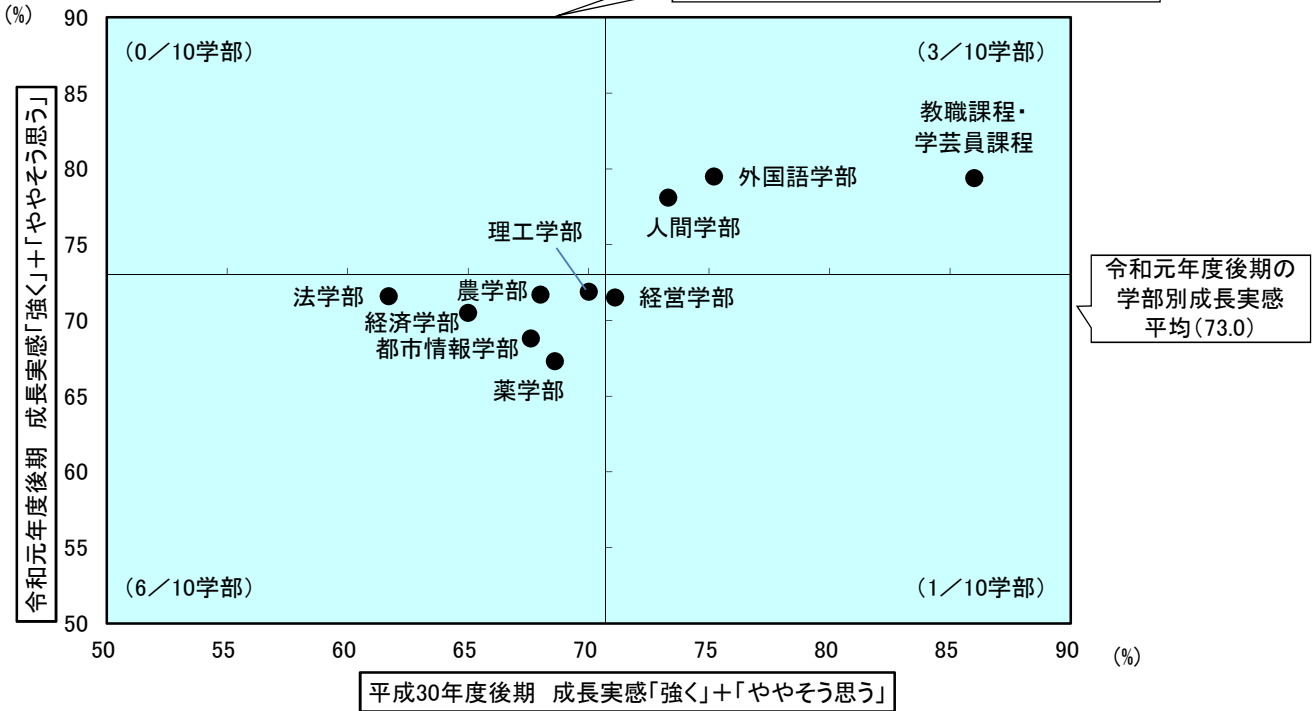
## 2 成長実感の時系列比較（4） 元年度後期

[学生]

平成30年度後期・令和元年度後期ともに成長実感が高いのは教職課程・学芸員過程、外国語学部、人間学部。一方、平成30年度後期・令和元年度後期ともに成長実感が低いのは、薬学部、都市情報学部。理工学部、経営学部は、いずれもほぼ平均に位置している。

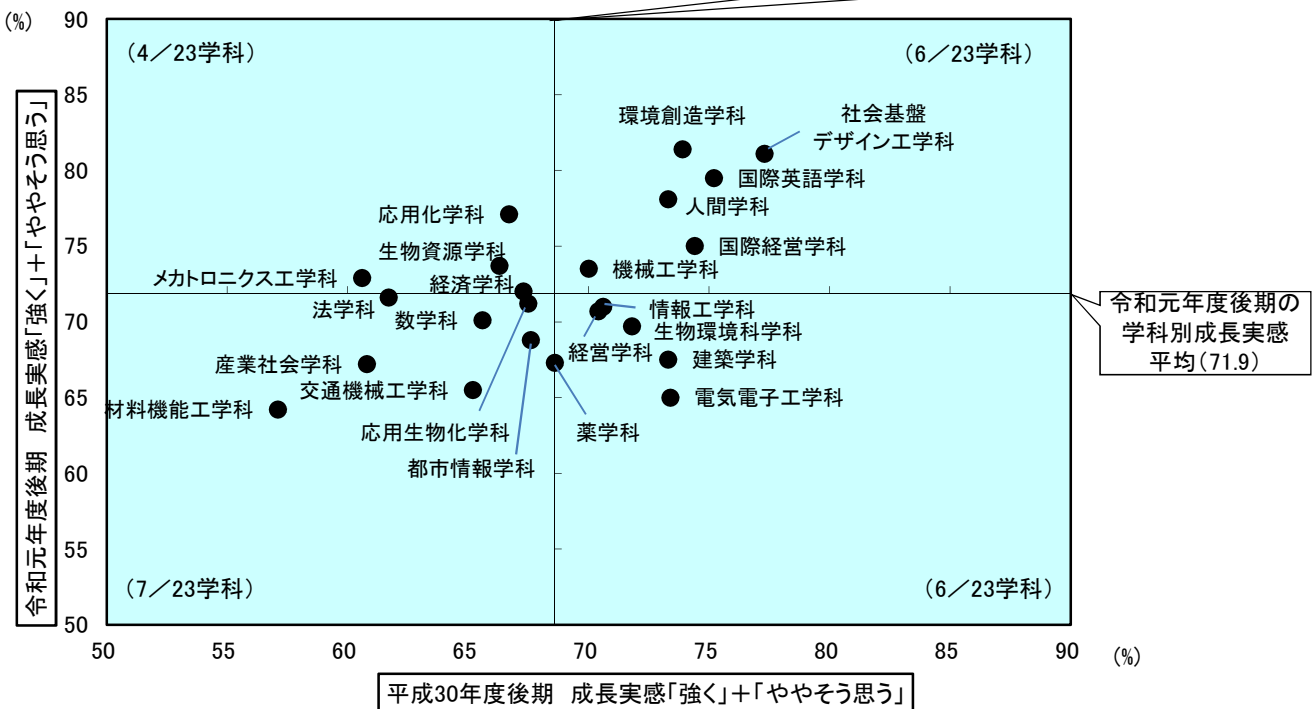
<学部別成長実感 平成30・令和元年度後期比較>

平成30年度後期の学部別成長実感平均(70.7)



<学科別成長実感 平成30・令和元年度後期比較>

平成30年度後期の学科別成長実感平均(68.6)



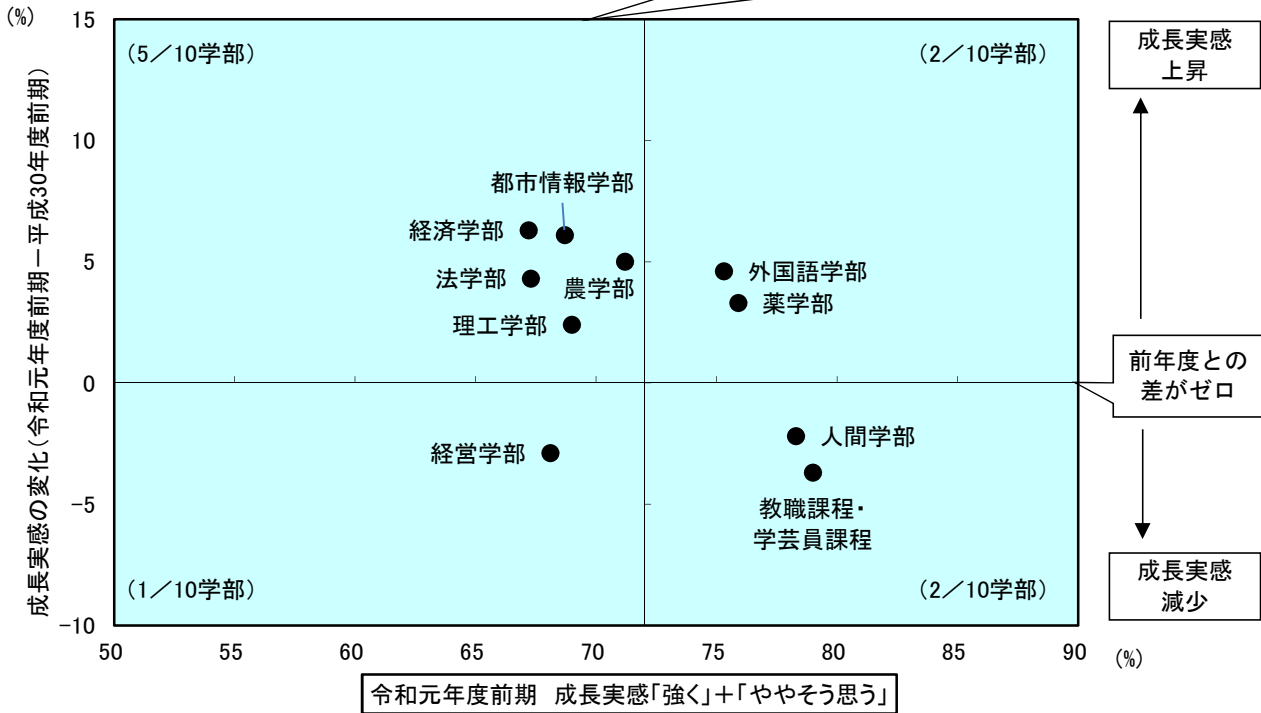
## 2 成長実感の時系列比較（5） 元年度前期

[学生]

学部別、学科別に成長実感の変化の度合いを比較した。  
平成30年度前期から成長実感が上昇したのは経済学部、都市情報学部、農学部、外国語学部、法学部など。一方、教職課程・学芸員課程、経営学部、人間学部は低下した。

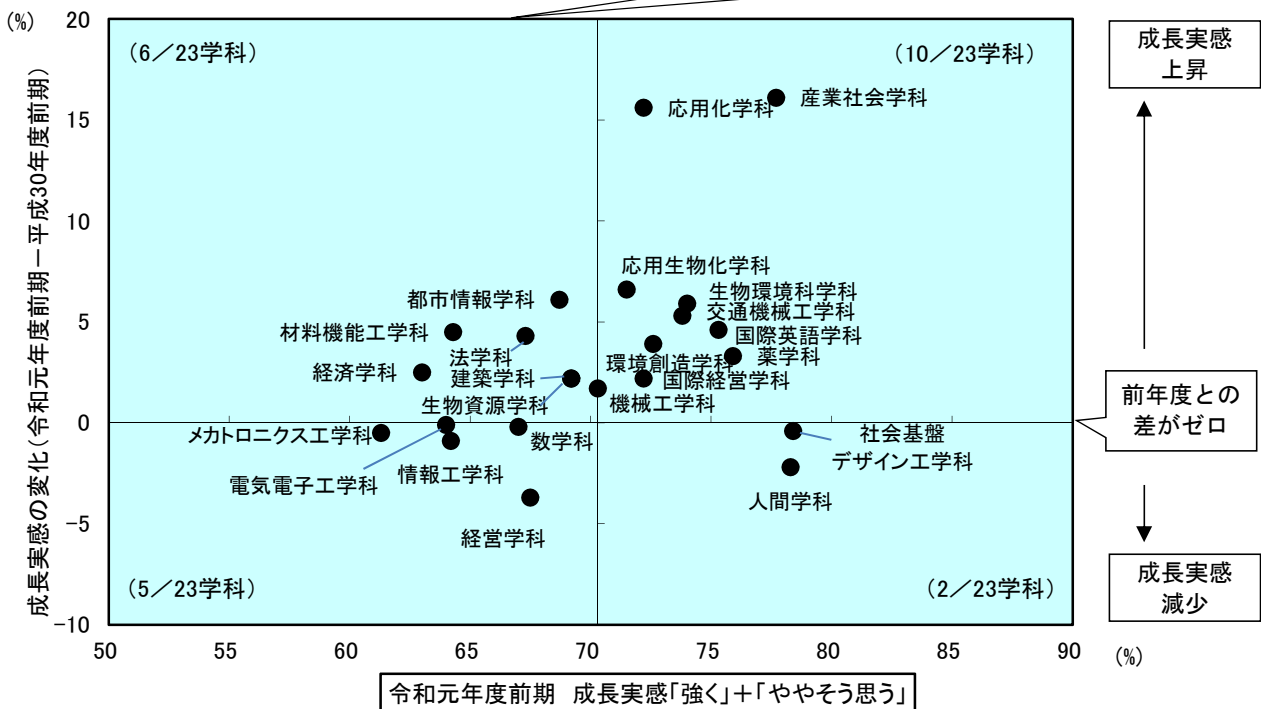
＜令和元年度前期 学部別成長実感＞

令和元年度前期の学部別成長実感平均(72.0)



＜令和元年度前期 学科別成長実感＞

令和元年度前期の学科別成長実感平均(70.3)



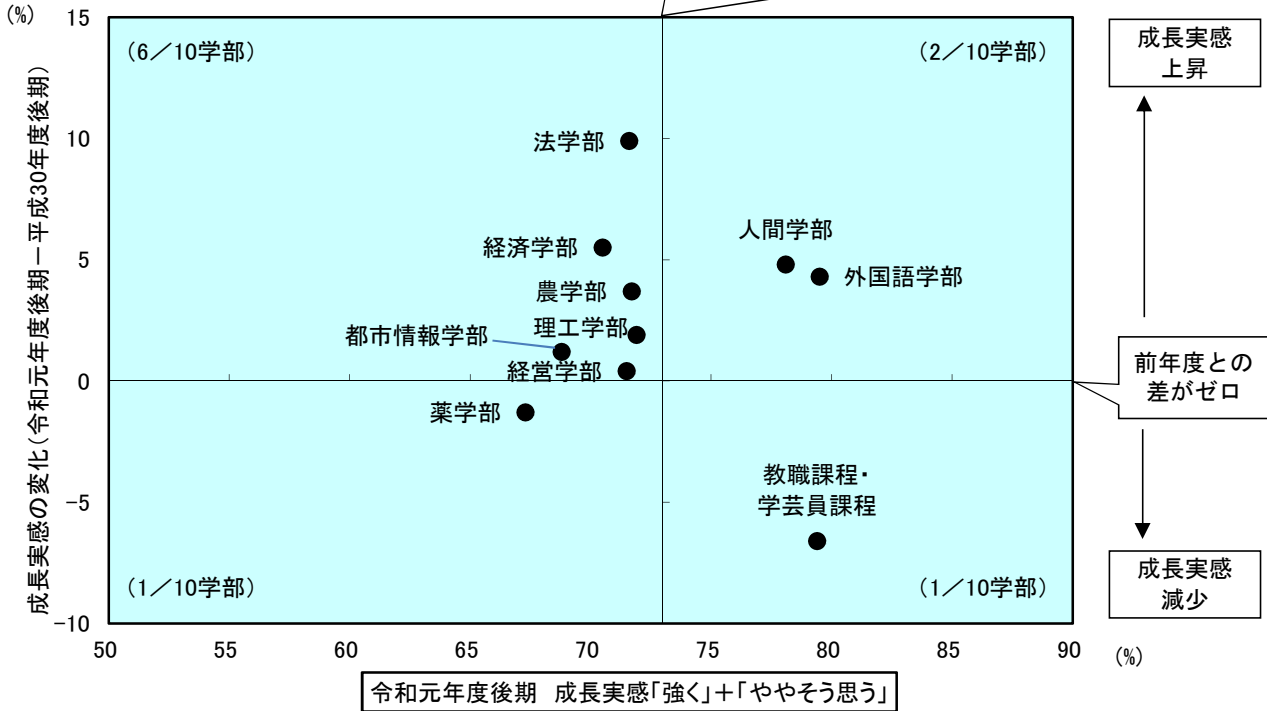
## 2 成長実感の時系列比較（6） 元年度後期

[学生]

学部別、学科別に成長実感の変化の度合いを比較した。  
平成30年度後期から成長実感が大きく上昇したのは法学部、経済学部、人間学部など。一方、教職課程・学芸員課程は低下した。

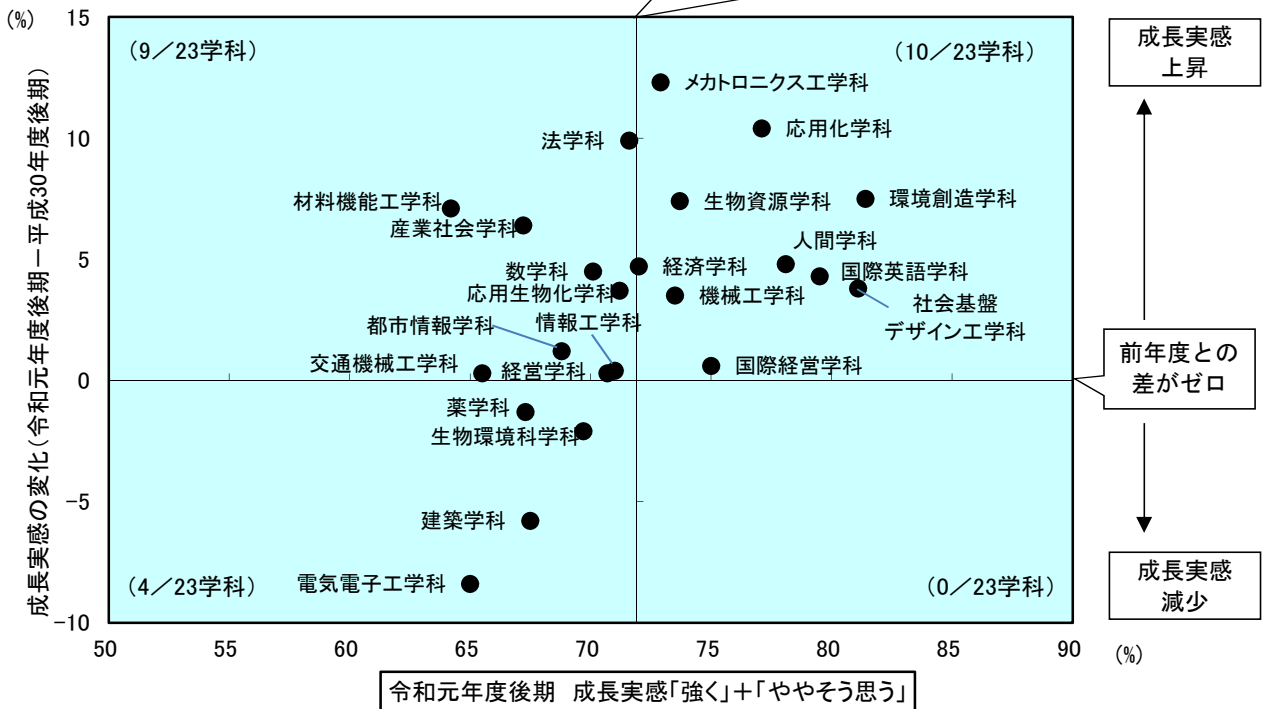
＜令和元年度後期 学部別成長実感＞

令和元年度後期の学部別成長実感平均(73.0)



＜令和元年度後期 学科別成長実感＞

令和元年度後期の学科別成長実感平均(71.9)



### 3 アンケート結果のまとめ 元年度前期

[学生]

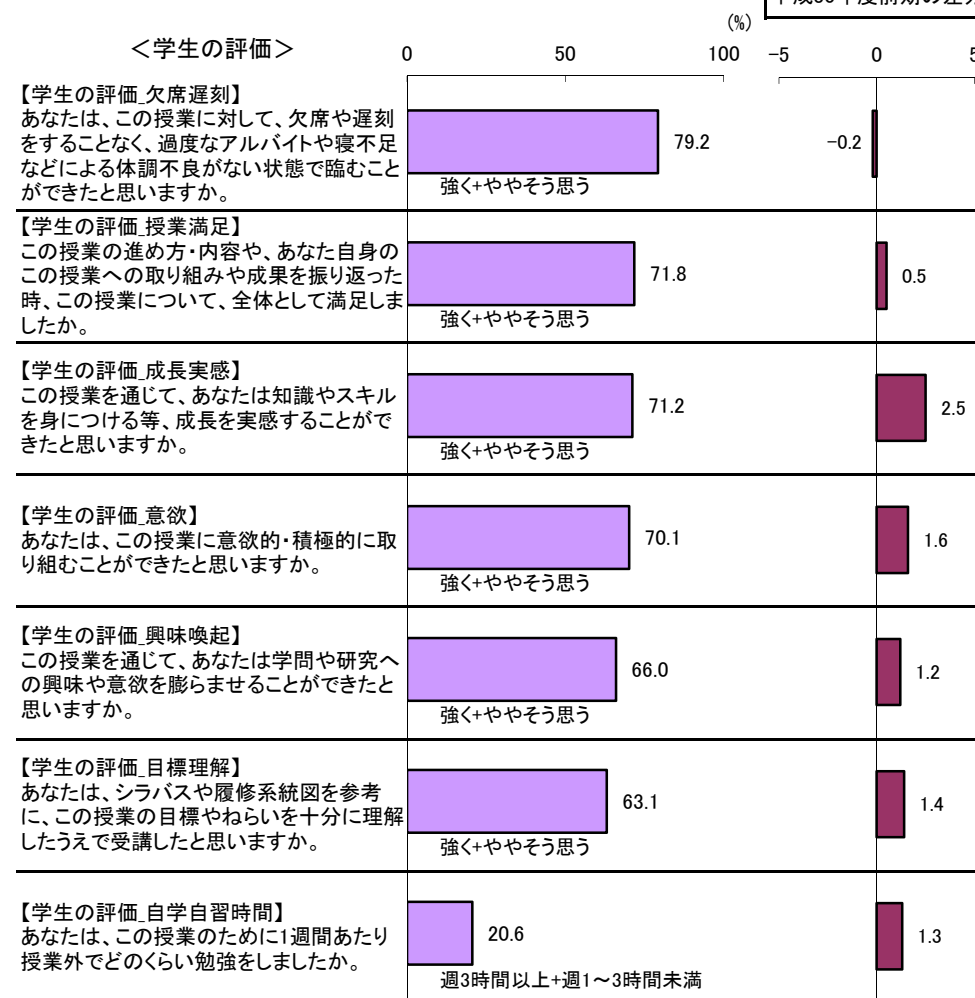
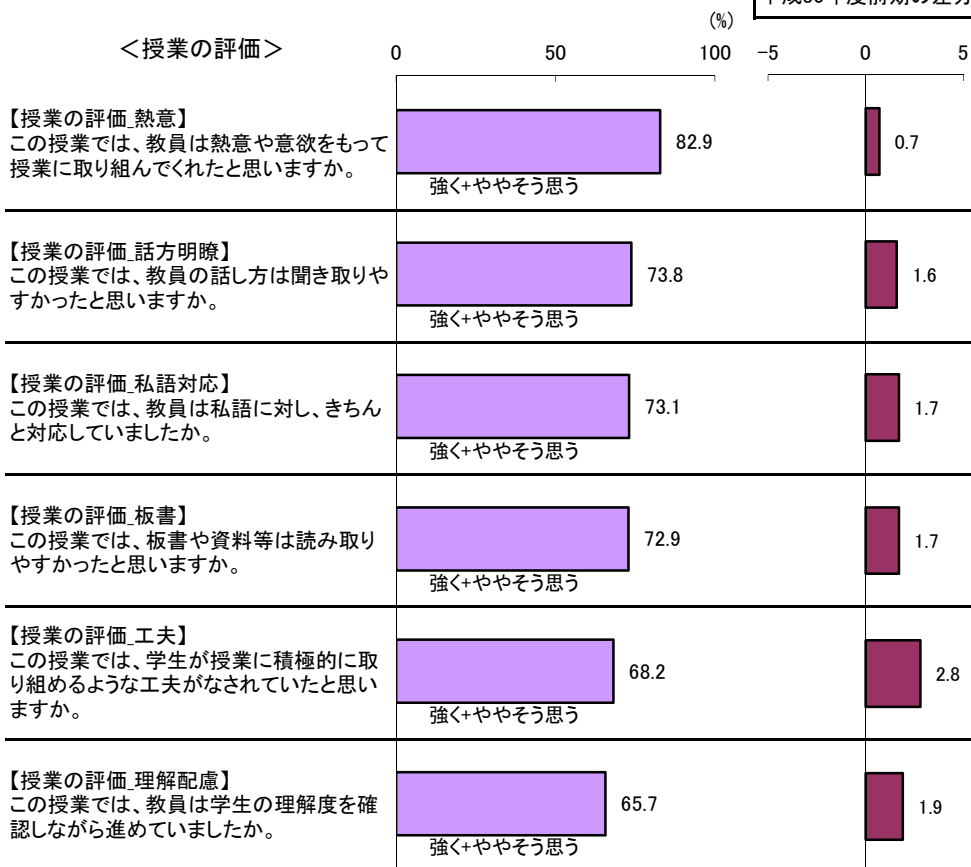
元年度前期の授業に対する評価は、「熱意」で最も高く、8割強。「話方明瞭」や「私語対応」「板書」についても7割以上で比較的评价が高い。また平成30年度前期に比べていずれも評価の上昇がみられる。学生自身の評価としては「欠席遅刻」が高いが、「自学自習時間」が「週3時間以上」+「週1～3時間未満」の割合は2割にとどまる。

【元年度前期】 令和元年度前期(N=21179)／平成30年度前期(N=22885)

令和元年度前期と  
平成30年度前期の差分

\* 横棒グラフは各設問上位2選択肢の合計割合(%)

令和元年度前期と  
平成30年度前期の差分



### 3 アンケート結果のまとめ 元年度後期

[学生]

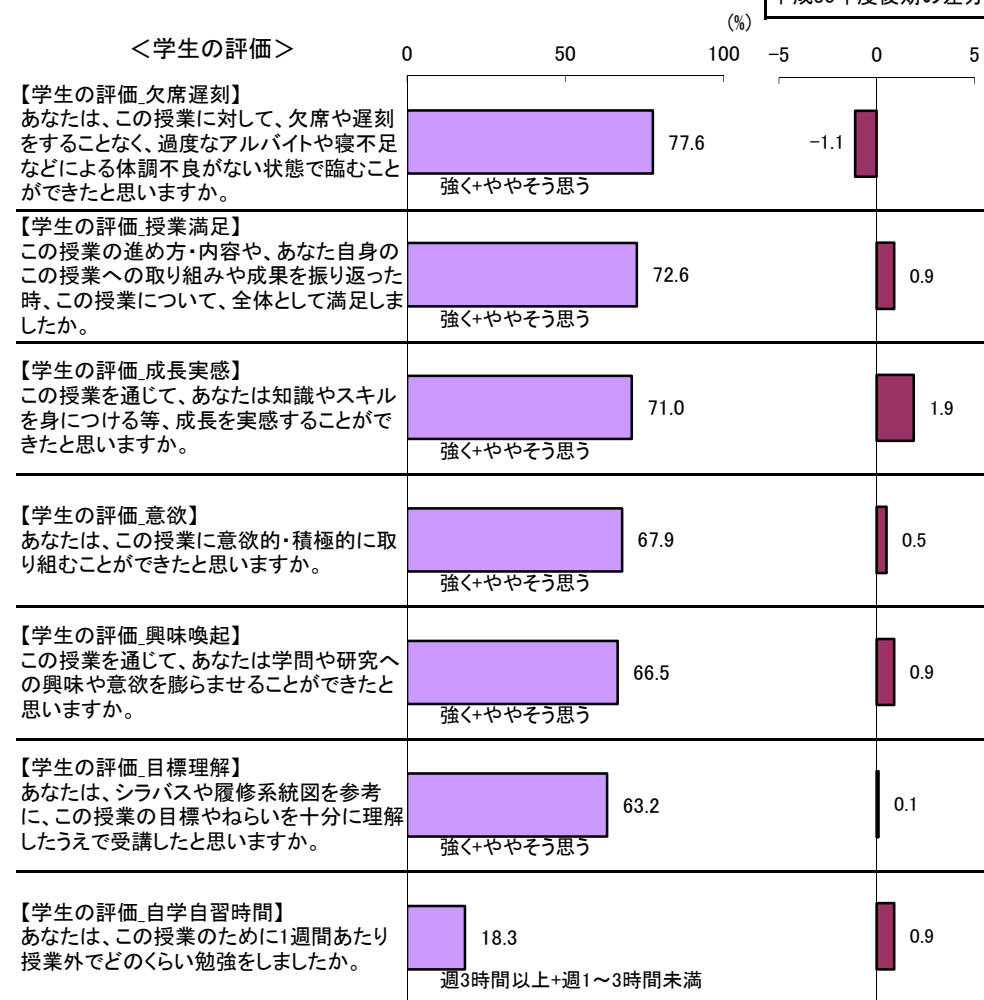
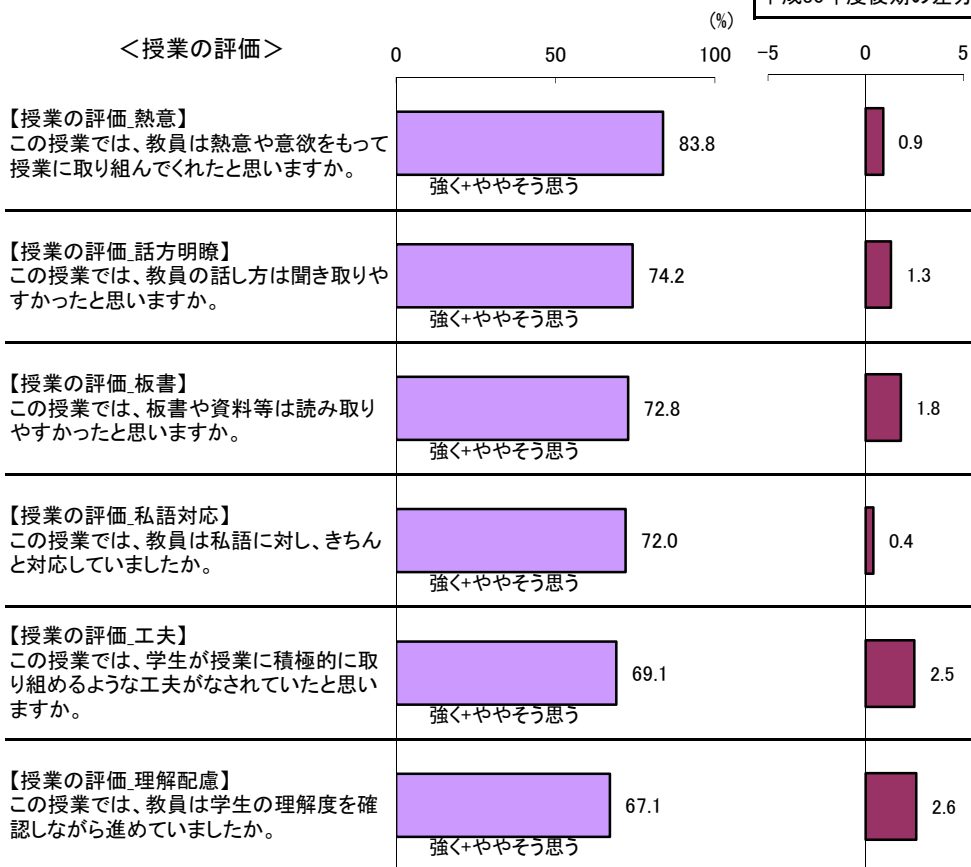
元年度後期の授業に対する評価は、「熱意」のほか、「話方明瞭」「板書」「私語対応」で7割以上と高い。学生自身の評価としては「欠席遅刻」が高いが、「自学自習時間」が「週3時間以上」+「週1～3時間未満」の割合は2割を下回る。

【元年度後期】 令和元年度後期(N=17741)／平成30年度後期(N=17094)

令和元年度後期と  
平成30年度後期の差分

\* 横棒グラフは各設問上位2選択肢の合計割合(%)

令和元年度後期と  
平成30年度後期の差分

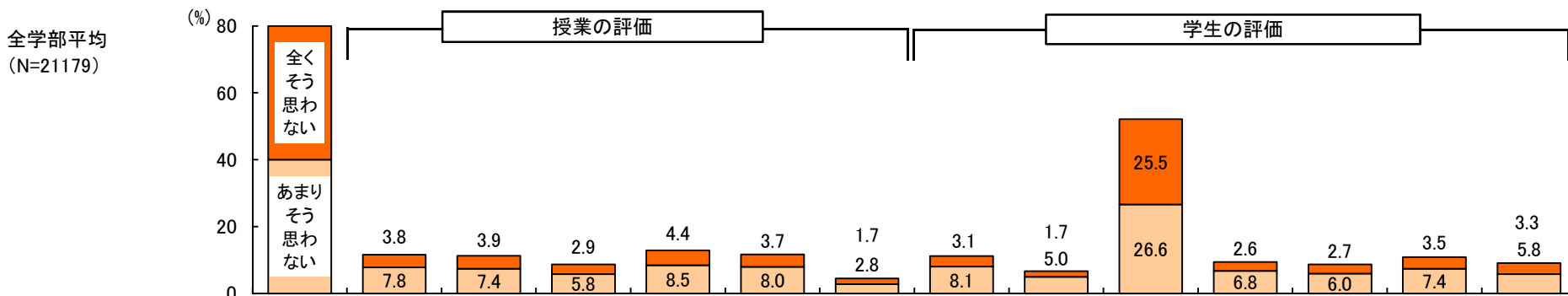


# 4 学部別改善ポイント 元年度前期

[学生]

「あまりそう思わない」「全くそう思わない」のスコアを表すことで改善すべきポイントを明確にした。  
元年度前期の全学部平均では、自学自習を「週30分未満」+「していない」の学生が5割強にのぼり、最も高い人間学部では7割強となっている。

【元年度前期】



開講学部別	学部	人数	評価項目													
			板書	話方明瞭	私語対応	理解配慮	工夫	熱意	目標理解	欠席遅刻	自学自習時間※1	意欲	成長実感	興味喚起	授業満足	
	法学部	(n=1828)	15.6	13.0	9.1	15.0	17.0	5.4	12.0	10.1	56.2	12.9	11.6	14.3	11.7	
	経営学部	(n=1313)	13.7	10.7	9.1	13.6	13.5	3.7	12.0	5.4	61.0	8.9	10.6	11.7	10.4	
	経済学部	(n=1420)	13.0	14.1	6.5	15.7	14.7	4.3	10.6	10.3	57.2	10.6	10.3	12.7	10.3	
	理工学部	(n=5954)	14.7	15.3	11.3	16.5	14.6	7.1	13.7	7.9	42.7	11.3	10.7	13.6	12.4	
	農学部	(n=1385)	13.8	11.4	8.7	12.9	10.8	4.3	12.4	6.9	61.0	11.6	9.0	11.0	9.5	
	薬学部	(n=4278)	4.5	5.0	5.3	5.9	4.5	1.5	7.6	3.7	46.2	5.4	3.7	4.7	2.9	
	都市情報学部	(n=2347)	11.7	10.7	7.2	12.9	11.6	4.6	9.9	7.7	61.9	9.9	9.7	11.9	9.1	
	人間学部	(n=1164)	11.2	9.9	9.3	12.3	10.1	2.6	9.4	5.7	73.4	8.8	7.6	8.2	6.9	
	外国語学部	(n=1067)	11.6	13.6	11.2	15.7	11.9	3.8	14.3	4.1	40.7	6.4	7.1	11.5	10.2	
	教職課程・学芸員課程	(n=423)	8.3	7.6	11.6	8.3	9.0	3.1	10.9	4.7	68.1	8.5	6.9	8.0	7.6	

\*「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」のスコア

※1 「自学自習時間」のスコアは「週30分未満」+「していない」

\* 網かけは、より改善が必要な項目(全体より5ポイント以上)

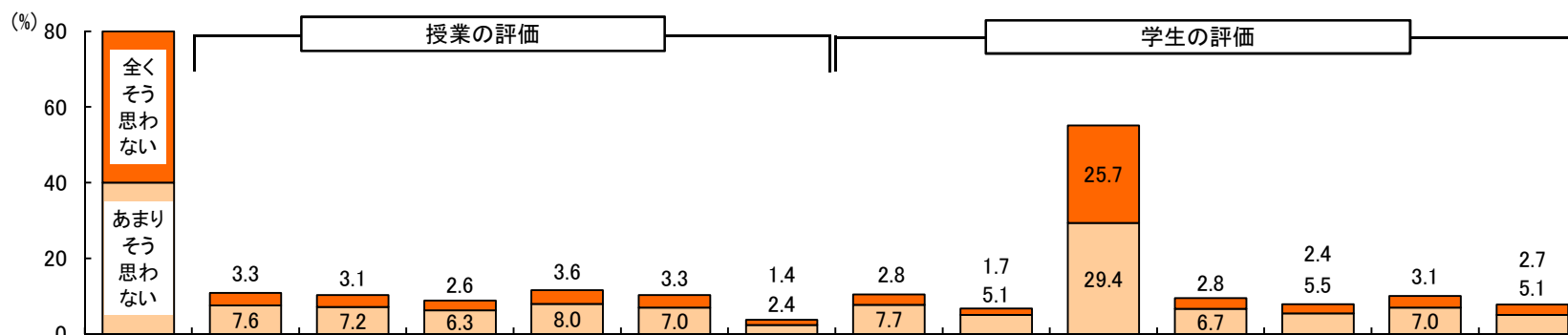
# 4 学部別改善ポイント 元年度後期

[学生]

元年度後期でも、全学部平均で「自学自習時間(「週30分未満」+「していない」)の高さが目立ち、人間学部は8割を超える。

【元年度後期】

全学部平均  
(N=17741)



開講学部別	人数	評価項目													
		板書	話方明瞭	私語対応	理解配慮	工夫	熱意	目標理解	欠席遅刻	自学自習時間※1	意欲	成長実感	興味喚起	授業満足	
法学部	(n=1287)	13.2	11.6	9.6	14.1	12.3	5.0	10.3	11.3	61.5	12.0	9.4	12.4	9.7	
経営学部	(n=1279)	11.9	12.2	9.3	12.6	12.4	3.8	8.9	6.9	64.0	9.1	8.1	11.3	8.3	
経済学部	(n=1248)	12.5	12.9	8.9	14.3	13.2	3.4	10.0	9.5	60.0	10.7	10.0	12.2	9.5	
理工学部	(n=4367)	12.5	12.1	11.4	14.0	11.8	5.4	12.3	6.9	49.2	9.9	9.3	12.4	10.4	
農学部	(n=1161)	12.1	9.8	8.4	14.0	12.1	3.9	12.1	8.5	63.8	11.5	8.9	10.9	9.9	
薬学部	(n=4455)	8.1	8.2	5.8	7.2	6.5	2.2	9.7	4.1	46.0	7.9	5.0	6.1	3.3	
都市情報学部	(n=1937)	12.3	10.7	8.2	13.2	12.0	4.6	9.4	7.9	61.0	10.5	10.2	12.3	9.6	
人間学部	(n=894)	7.2	7.3	8.8	9.3	7.5	2.3	11.5	6.8	80.1	7.3	6.6	7.0	4.7	
外国語学部	(n=691)	9.7	7.2	13.6	10.4	8.8	2.5	8.8	6.4	52.4	6.4	5.9	6.7	6.5	
教職課程・学芸員課程	(n=422)	8.1	7.1	11.8	10.2	7.6	3.3	10.2	3.3	52.6	8.5	4.7	9.5	7.1	

\*「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」のスコア

※1 「自学自習時間」のスコアは「週30分未満」+「していない」

\* 網かけは、より改善が必要な項目(全体より5ポイント以上)

## 5 授業満足度を上げるための改善優先項目

[学生]

学生への設問の中で、授業満足度を上げるために教員自身が改善できると考えられる6項目について、授業満足度との関連度合いと不満度から改善優先度を算出した。結果、前期、後期ともに「この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていた」「この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていた」に関して改善優先度が高いことがわかった。

### 授業満足度との関連度合い

「授業満足度との関連度合い」とは、**学生の授業満足度への影響の強さ**を数値で表したものです。学生アンケート設問項目と各質問項目の連関係数です。もう少し正確に表現しますと、各評価項目に対する評価と「授業満足度」の評価との関係の強さを数値で表したものとすることになります。値は大きいほど関係が強く、最大で1.0、最小で0.0の値をとりますが、1.0に近い値をとることはほとんどなく、経験的には0.4程度の値でかなりの関係があると言えます。なお、サンプル数が少ない授業もあるため、授業ごとに計算したものでなく、全サンプルで算出しています。

### 不満度

「不満度」とは、各設問項目において、**学生の不満感の大きさ**を数値で表したもので、値が大きいほど不満が強く、最大で「1」、最小で「0」の値をとります。回答者全員が「強く思う」と回答した場合は「0」、「全くそう思わない」と回答した場合は「1」となります。

### 改善優先度

改善優先度とは、各設問の評価「授業満足度との関連度合い」と「不満度」を利用して、それぞれの項目に対する改善が求められる度合いを数値化したものです。以下の式で表されます。改善優先度は、値が高いほど改善が求められています。

$$\text{改善優先度} = \frac{\text{「授業満足度との関連度合い」} \times \text{「不満度」}}{\text{「授業満足度との関連度合い」の最大値}} \times 100$$

「改善優先度」は、全サンプルで算出した「授業満足度との関連度合い」の最大値で除してあり、最大値が100、最小値が0になるように規格化しています。

	令和元年度前期			平成30年度前期			平成29年度前期			平成28年度前期		
	授業満足度との関連度合い	不満度	改善優先度	授業満足度との関連度合い	不満度	改善優先度	授業満足度との関連度合い	不満度	改善優先度	授業満足度との関連度合い	不満度	改善優先度
1.この授業では、板書や資料等は読み取りやすかったと思いますか。	0.45	0.33	31.3	0.43	0.35	33.0	0.42	0.36	31.4	0.39	0.34	28.4
2.この授業では、教員の話し方は聞き取りやすかったと思いますか。	0.45	0.32	30.6	0.43	0.33	31.8	0.43	0.34	30.9	0.40	0.32	27.3
3.この授業では、教員は私語に対し、きちんと対応していましたか。	0.29	0.31	18.6	0.29	0.33	21.0	0.28	0.33	19.6	0.25	0.32	17.0
4.この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか。	0.46	0.37	35.9	0.44	0.39	37.2	0.44	0.39	35.8	0.42	0.38	34.3
5.この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか。	0.47	0.36	35.6	0.46	0.37	37.4	0.48	0.38	37.7	0.47	0.36	36.4
6.この授業では、教員は熱意や意欲をもって授業に取り組んでくれたと思いますか。	0.45	0.26	24.1	0.43	0.27	25.3	0.43	0.28	25.5	0.39	0.27	22.4
授業満足度との関連度合いの最大値	0.47			0.46			0.48			0.47		

	令和元年度後期			平成30年度後期			平成29年度後期			平成28年度後期		
	授業満足度との関連度合い	不満度	改善優先度	授業満足度との関連度合い	不満度	改善優先度	授業満足度との関連度合い	不満度	改善優先度	授業満足度との関連度合い	不満度	改善優先度
1.この授業では、板書や資料等は読み取りやすかったと思いますか。	0.44	0.34	30.9	0.42	0.35	31.9	0.43	0.35	31.5	0.40	0.35	29.6
2.この授業では、教員の話し方は聞き取りやすかったと思いますか。	0.44	0.32	29.5	0.43	0.33	30.6	0.44	0.33	30.1	0.40	0.34	29.2
3.この授業では、教員は私語に対し、きちんと対応していましたか。	0.28	0.32	19.1	0.29	0.32	20.2	0.31	0.32	20.6	0.30	0.32	20.5
4.この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか。	0.45	0.37	34.7	0.43	0.38	35.9	0.45	0.38	35.4	0.43	0.39	35.7
5.この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか。	0.47	0.35	35.5	0.46	0.37	36.7	0.48	0.36	36.4	0.47	0.38	37.6
6.この授業では、教員は熱意や意欲をもって授業に取り組んでくれたと思いますか。	0.44	0.26	23.7	0.42	0.26	23.6	0.44	0.27	25.0	0.41	0.28	24.2
授業満足度との関連度合いの最大値	0.47			0.46			0.48			0.47		



## 5 授業満足度を上げるための改善優先項目（全学部） [学生]

全学部平均では、改善優先度は「理解配慮」「工夫」「板書」「話方明瞭」で高い。一方、「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。  
元年度後期も元年度前期と概ね同様の傾向を示している。

### <改善優先度>

#### 【全学部平均】

令和元年度前期全体 (N=21179)

平成30年度前期全体 (N=22885)

平成29年度前期全体 (N=27991)

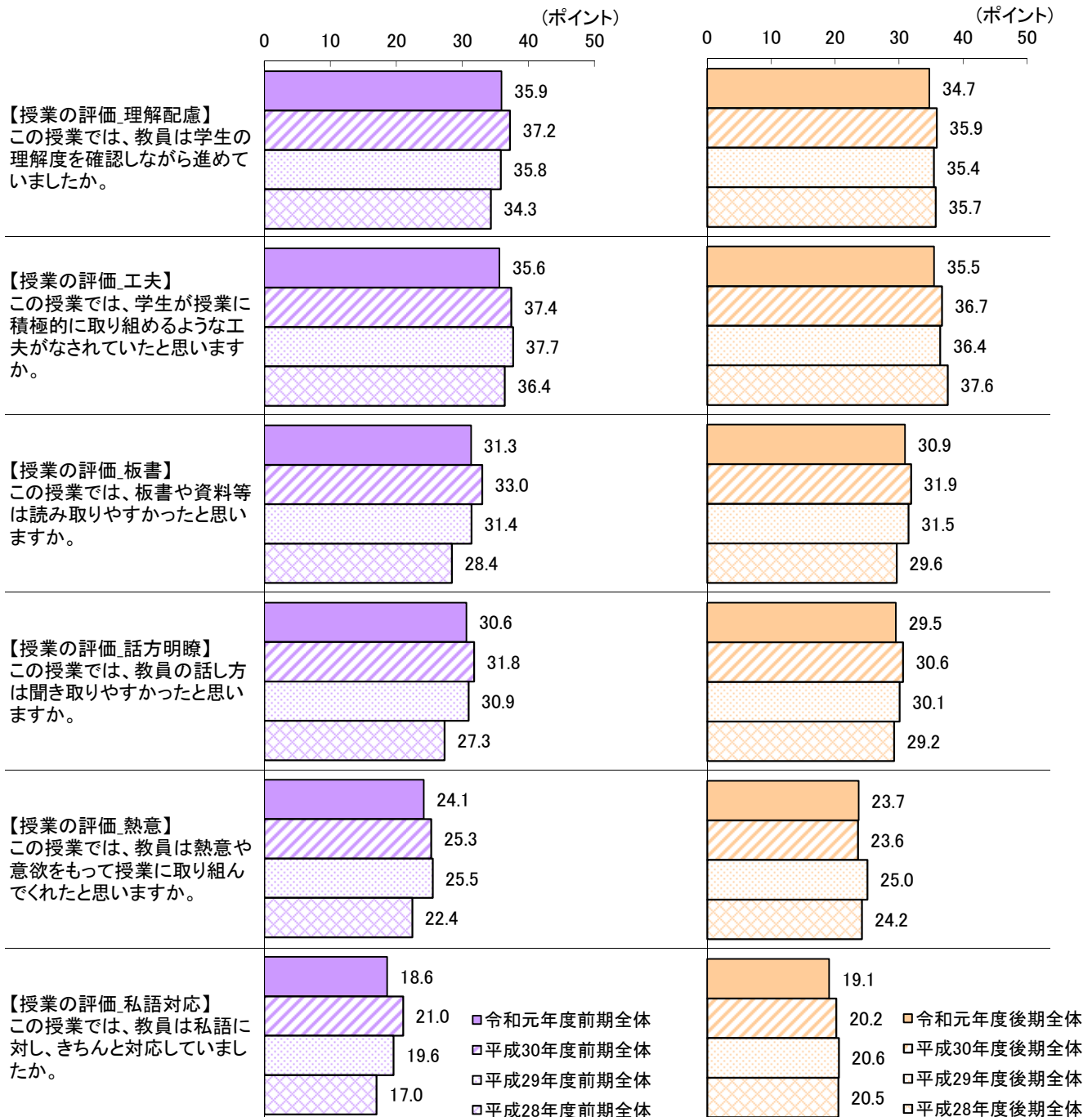
平成28年度前期全体 (N=36419)

令和元年度後期全体 (N=17741)

平成30年度後期全体 (N=17094)

平成29年度後期全体 (N=20656)

平成28年度後期全体 (N=25727)



## 5 授業満足度を上げるための改善優先項目（法学部） [学生]

法学部では、改善優先度は「工夫」「理解配慮」で高い。一方で「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。いずれの項目も平成30年度前期に比べて低下している。元年度後期も前期と同様、「工夫」「理解配慮」で改善優先度が高い。

### <改善優先度>

#### 【法学部】

令和元年度前期 (N=1828)

平成30年度前期 (N=2081)

平成29年度前期 (N=2288)

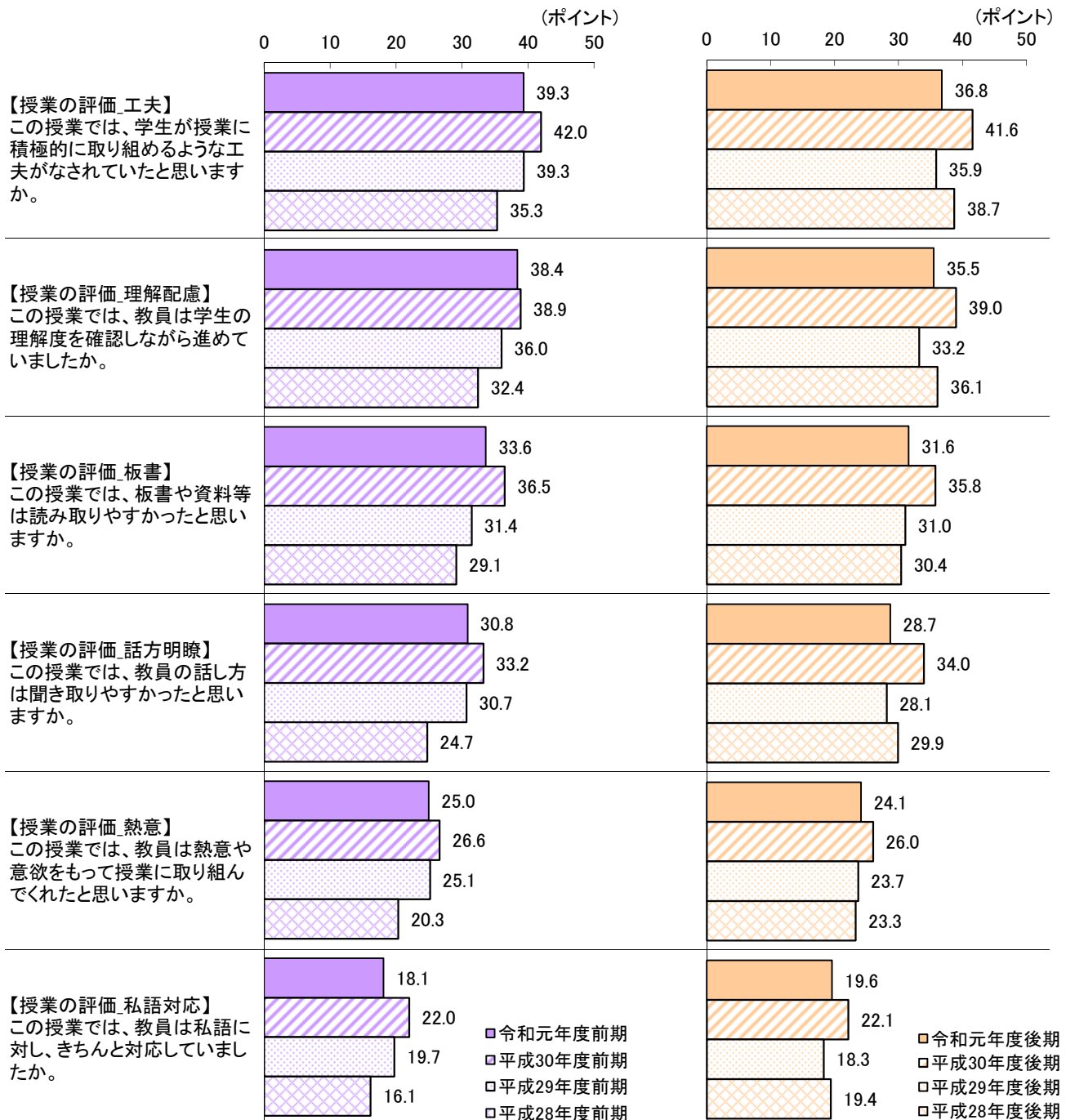
平成28年度前期 (N=4264)

令和元年度後期 (N=1287)

平成30年度後期 (N=1253)

平成29年度後期 (N=1548)

平成28年度後期 (N=2208)



## 5 授業満足度を上げるための改善優先項目（経営学部）[学生]

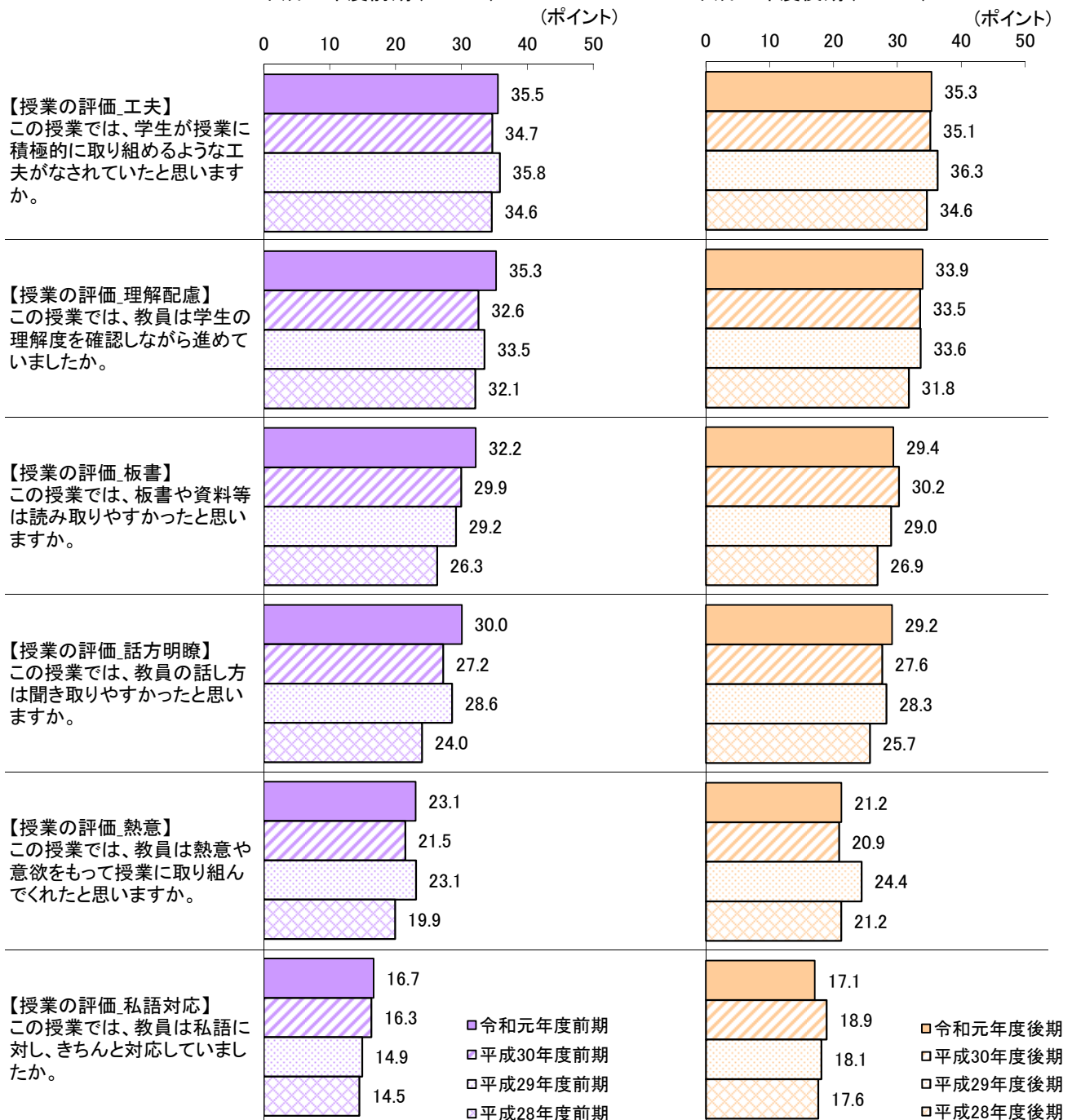
経営学部では、改善優先度は「工夫」「理解配慮」で高い。一方で「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。  
元年度後期も前期と同様、「工夫」「理解配慮」で改善優先度が高い。

### <改善優先度>

#### 【経営学部】

令和元年度前期 (N=1313)  
平成30年度前期 (N=1575)  
平成29年度前期 (N=1728)  
平成28年度前期 (N=2898)

令和元年度後期 (N=1279)  
平成30年度後期 (N=1087)  
平成29年度後期 (N=1197)  
平成28年度後期 (N=1900)



## 5 授業満足度を上げるための改善優先項目（経済学部）[学生]

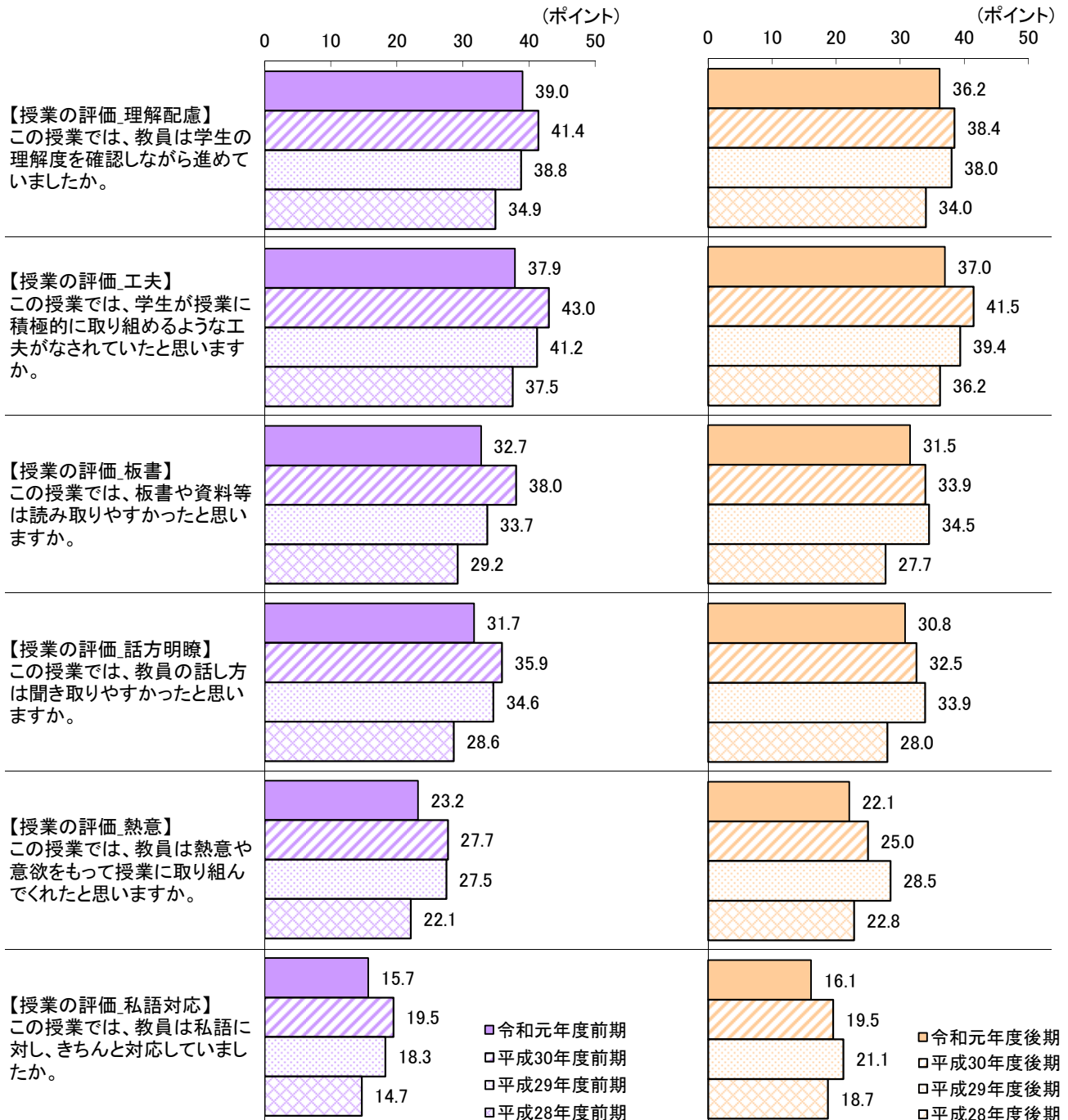
経済学部では、改善優先度は「理解配慮」「工夫」で高い。一方で「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。平成30年度前期と比較して、「工夫」「板書」をはじめ、いずれの項目も低下している。元年度後期も元年度前期と概ね同様の傾向を示している。

### <改善優先度>

#### 【経済学部】

令和元年度前期 (N=1420)  
平成30年度前期 (N=1359)  
平成29年度前期 (N=1832)  
平成28年度前期 (N=2654)

令和元年度後期 (N=1248)  
平成30年度後期 (N=1052)  
平成29年度後期 (N=1370)  
平成28年度後期 (N=1685)



## 5 授業満足度を上げるための改善優先項目（理工学部）[学生]

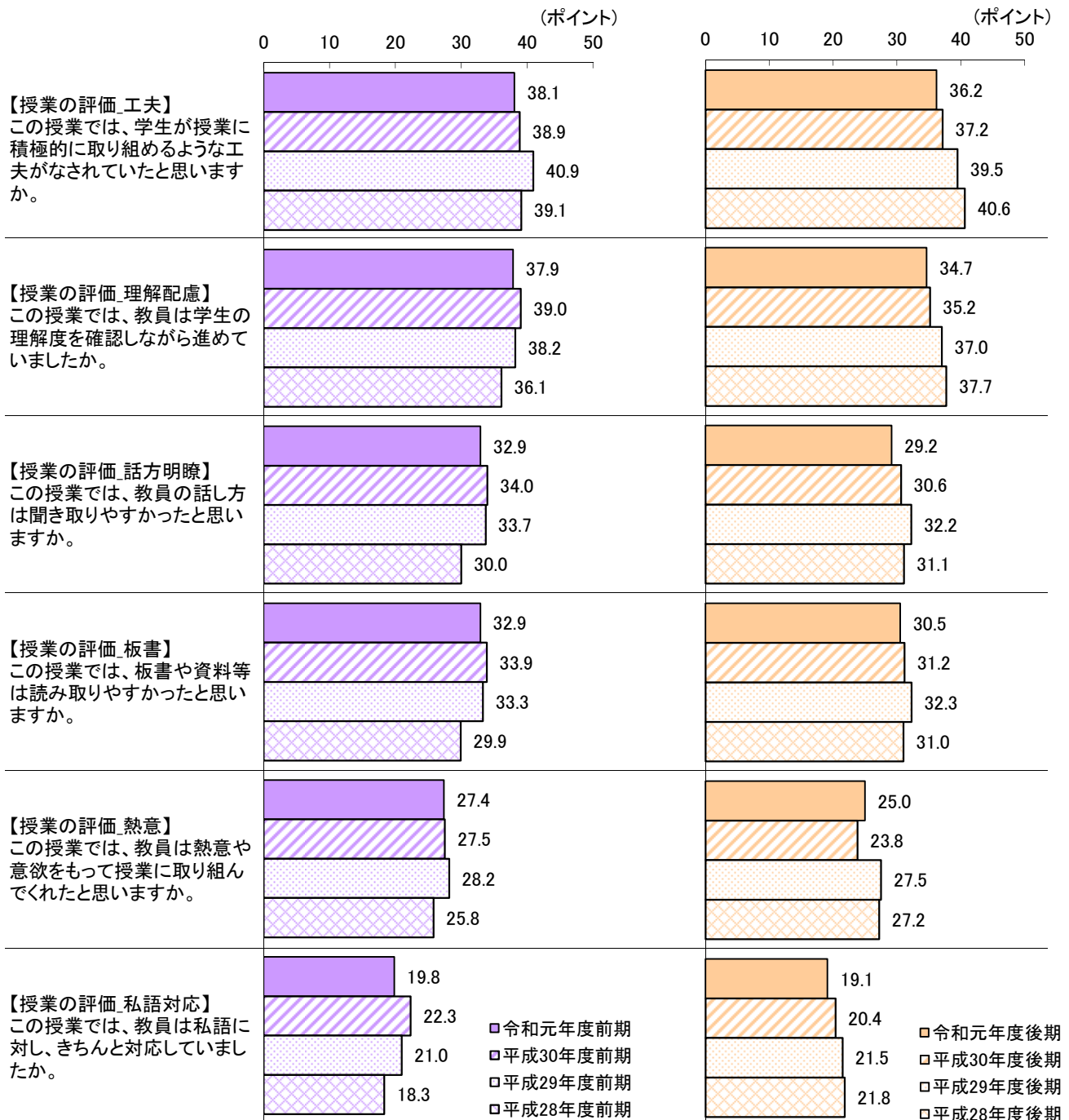
理工学部では、改善優先度は「工夫」「理解配慮」が高い。一方で「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。  
元年度後期も前期と同様、「工夫」「理解配慮」で改善優先度が高い。

### <改善優先度>

#### 【理工学部】

令和元年度前期 (N=5954)  
平成30年度前期 (N=6366)  
平成29年度前期 (N=7864)  
平成28年度前期 (N=11167)

令和元年度後期 (N=4367)  
平成30年度後期 (N=3711)  
平成29年度後期 (N=4912)  
平成28年度後期 (N=7417)



## 5 授業満足度を上げるための改善優先項目（農学部） [学生]

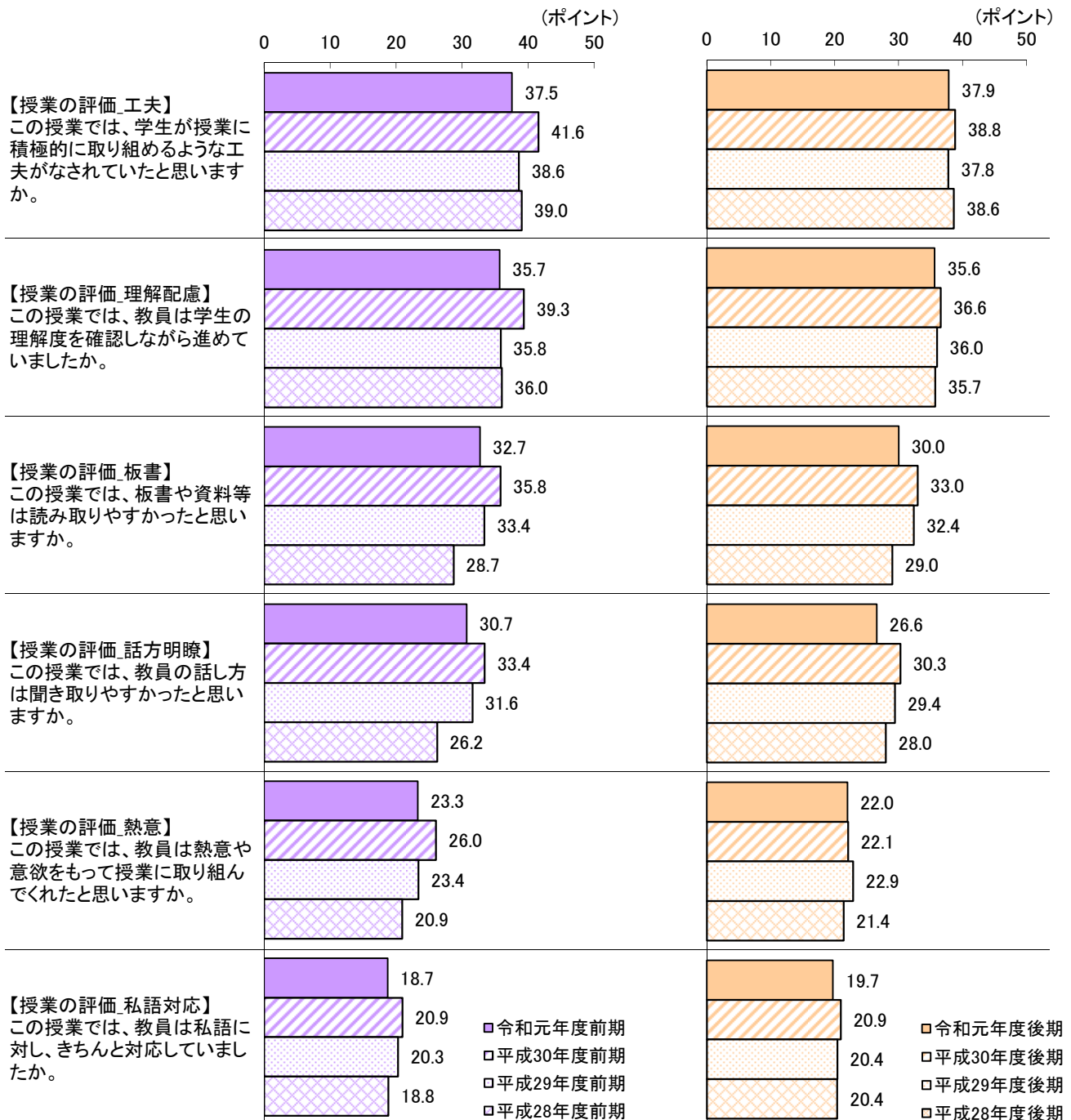
農学部では、改善優先度は「工夫」「理解配慮」で高い。一方、「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。いずれの項目も平成30年度前期と比較して低下している。元年度後期も前期と同様、「工夫」「理解配慮」で改善優先度が高い。

### <改善優先度>

#### 【農学部】

令和元年度前期 (N=1385)  
平成30年度前期 (N=1575)  
平成29年度前期 (N=2359)  
平成28年度前期 (N=4005)

令和元年度後期 (N=1161)  
平成30年度後期 (N=1245)  
平成29年度後期 (N=1979)  
平成28年度後期 (N=2585)



## 5 授業満足度を上げるための改善優先項目（薬学部） [学生]

薬学部では、改善優先度は「理解配慮」「工夫」で高い。一方、「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。いずれの項目も平成30年度前期に比べて低下している。元年度後期も元年度前期と概ね同様の傾向だが、いずれの項目も元年度前期を上回る。

### <改善優先度>

#### 【薬学部】

令和元年度前期 (N=4278)

平成30年度前期 (N=5715)

平成29年度前期 (N=6278)

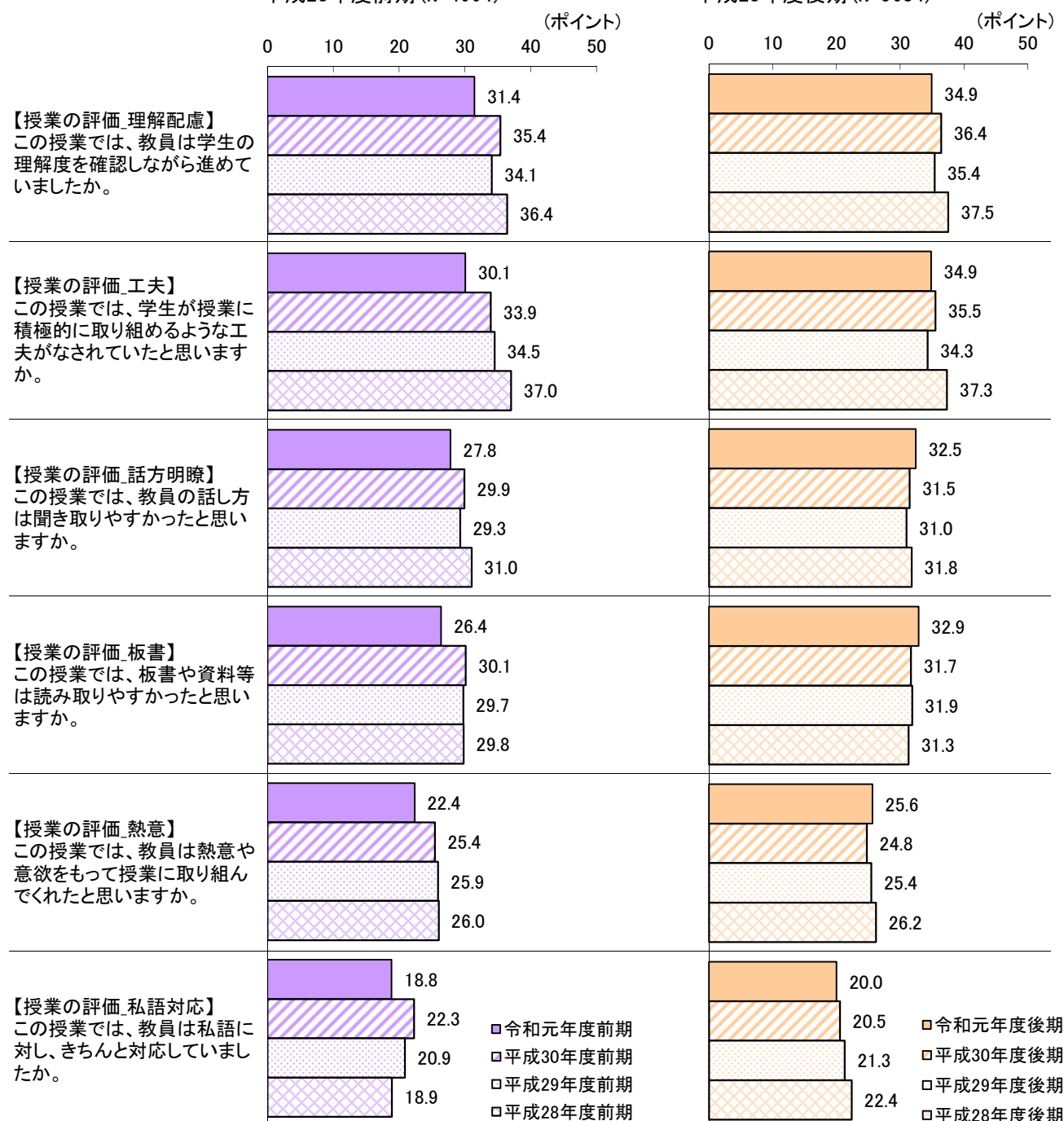
平成28年度前期 (N=4004)

令和元年度後期 (N=4455)

平成30年度後期 (N=5233)

平成29年度後期 (N=5715)

平成28年度後期 (N=5684)



## 5 授業満足度を上げるための改善優先項目（都市情報学部）〔学生〕

都市情報学部では、改善優先度は「理解配慮」「工夫」で高い。一方、「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。  
元年度後期も元年度前期と概ね同様の傾向を示している。

### <改善優先度>

#### 【都市情報学部】

令和元年度前期 (N=2347)

平成30年度前期 (N=1443)

平成29年度前期 (N=2692)

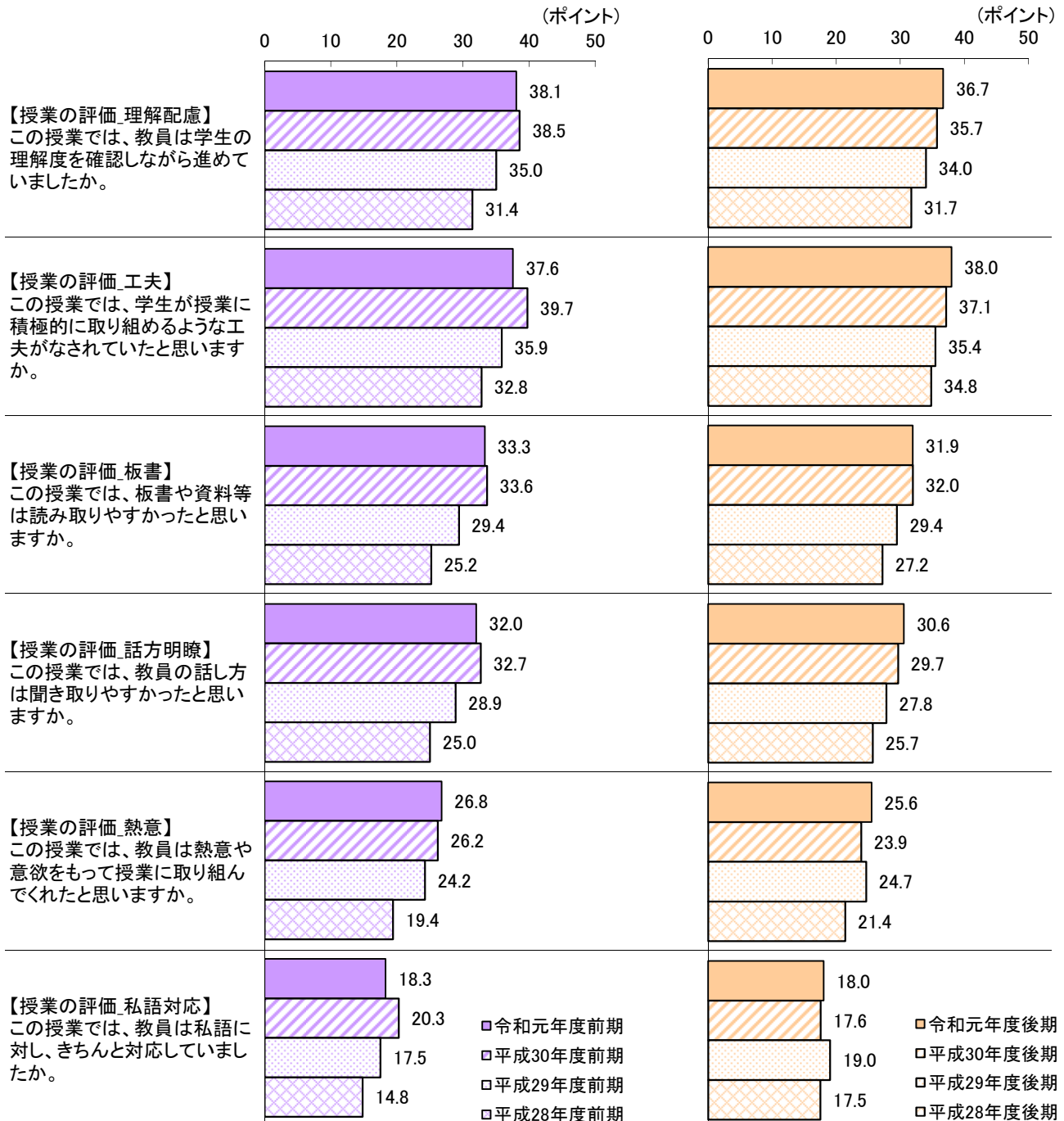
平成28年度前期 (N=3562)

令和元年度後期 (N=1937)

平成30年度後期 (N=1392)

平成29年度後期 (N=1671)

平成28年度後期 (N=2083)





## 5 授業満足度を上げるための改善優先項目（人間学部）[学生]

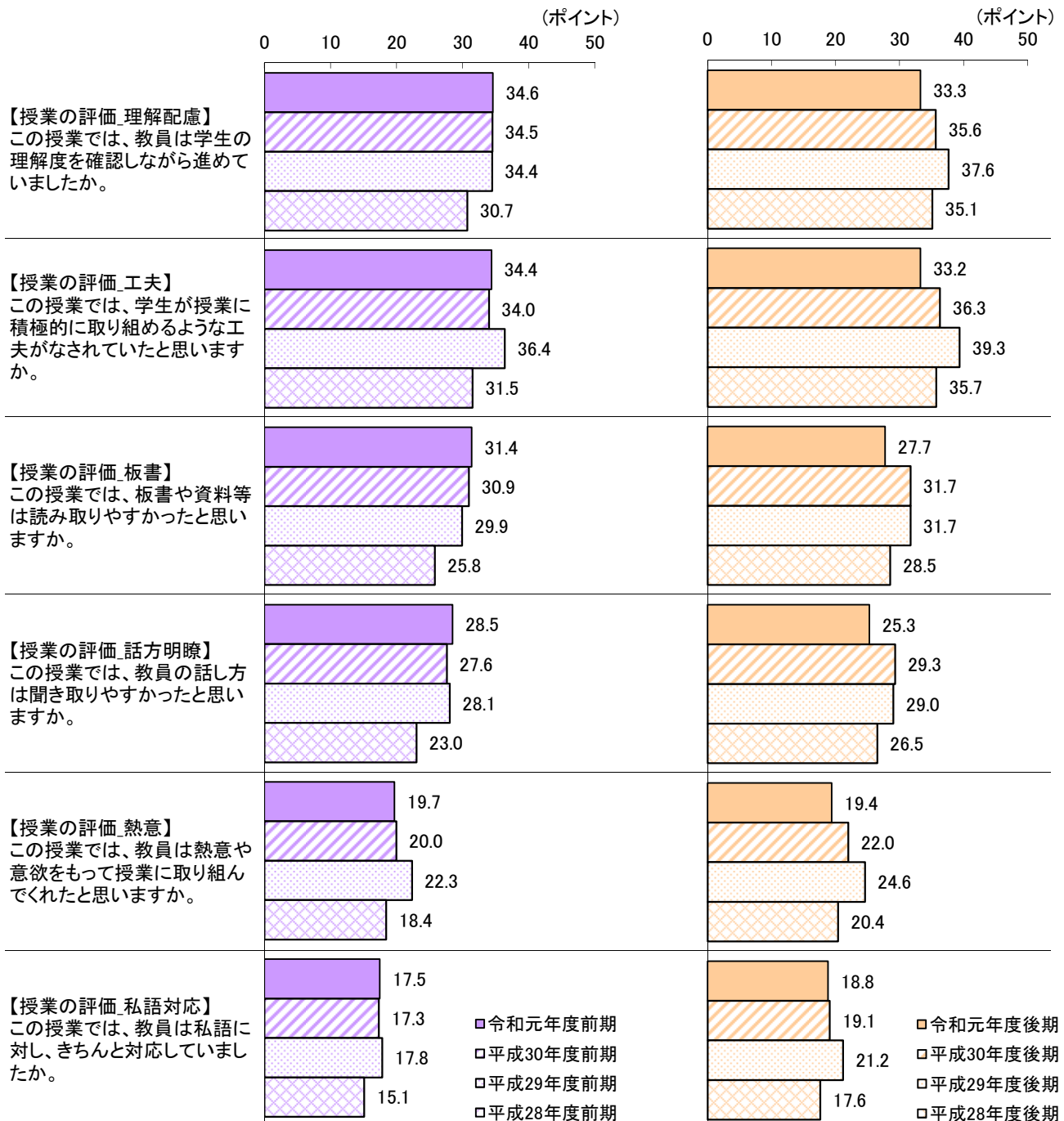
人間学部では、改善優先度は「理解配慮」「工夫」で高い。一方、「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。  
元年度後期も元年度前期と概ね同様の傾向を示している。

### <改善優先度>

#### 【人間学部】

令和元年度前期 (N=1164)  
平成30年度前期 (N=1292)  
平成29年度前期 (N=1765)  
平成28年度前期 (N=2171)

令和元年度後期 (N=894)  
平成30年度後期 (N=1089)  
平成29年度後期 (N=1267)  
平成28年度後期 (N=1485)



## 5 授業満足度を上げるための改善優先項目（外国語学部） [学生]

外国語学部では、改善優先度は「理解配慮」「工夫」で高い。一方、「熱意」「私語対応」への改善優先度は低い。平成30年度前期と比べると「板書」「話方明瞭」で改善優先度がやや低下している。元年度後期は、大半の項目で元年度前期を下回る。

### <改善優先度>

#### 【外国語学部】

令和元年度前期 (N=1067)

平成30年度前期 (N=1114)

平成29年度前期 (N=775)

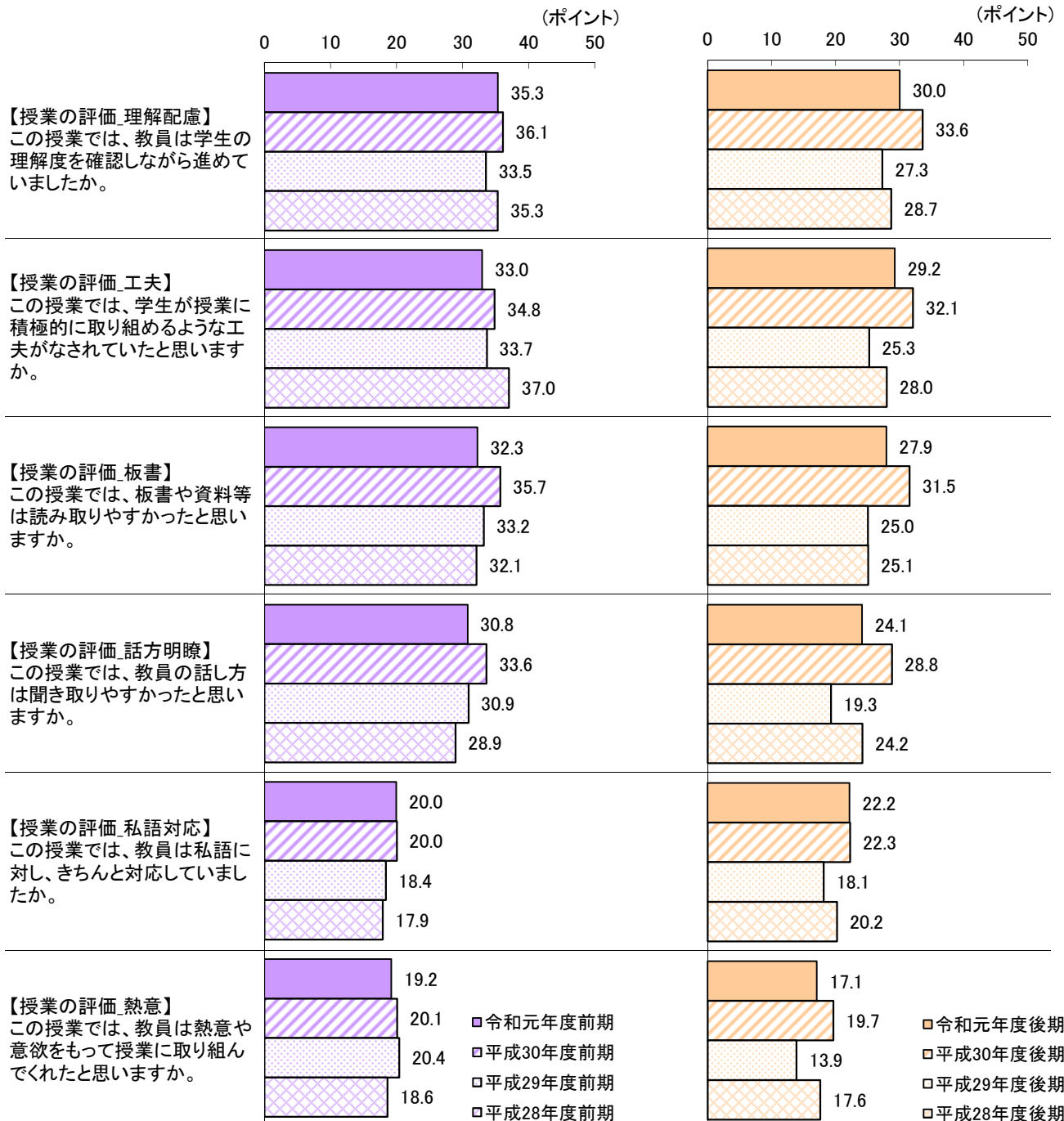
平成28年度前期 (N=730)

令和元年度後期 (N=691)

平成30年度後期 (N=767)

平成29年度後期 (N=535)

平成28年度後期 (N=270)



## 5 授業満足度を上げるための改善優先項目（教職課程・学芸員課程）[学生]

教職課程・学芸員課程では、改善優先度は「理解配慮」「工夫」で高い。一方、「熱意」「私語対応」への改善優先度は低い。平成30年度前期と比べると全般的にやや上昇している。元年度後期も元年度前期と概ね同様の傾向を示している。

### <改善優先度>

#### 【教職課程・学芸員課程】

令和元年度前期 (N=423)

平成30年度前期 (N=365)

平成29年度前期 (N=410)

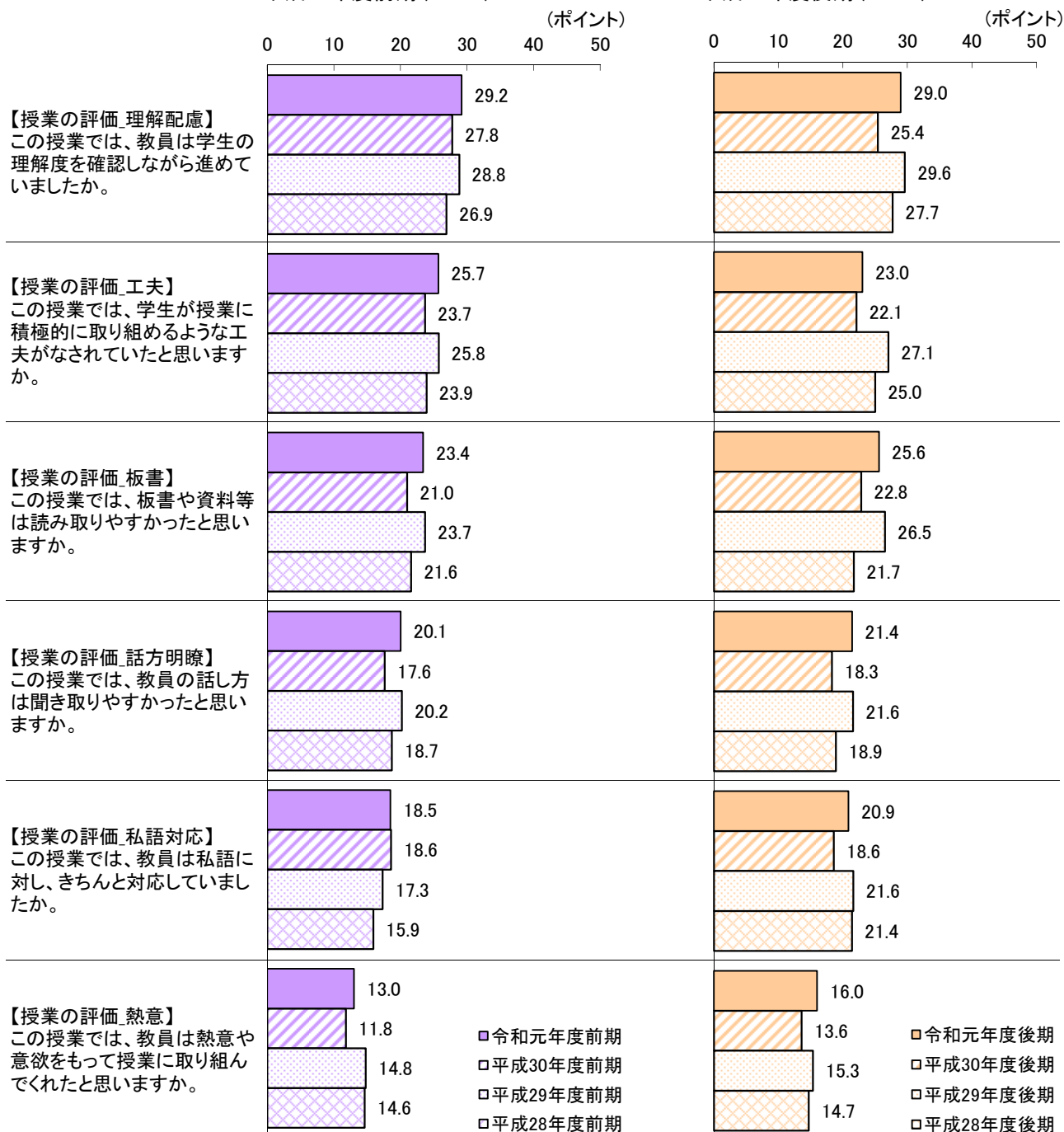
平成28年度前期 (N=964)

令和元年度後期 (N=422)

平成30年度後期 (N=265)

平成29年度後期 (N=462)

平成28年度後期 (N=410)



# 6 自学自習時間（1）学部別

[学生]

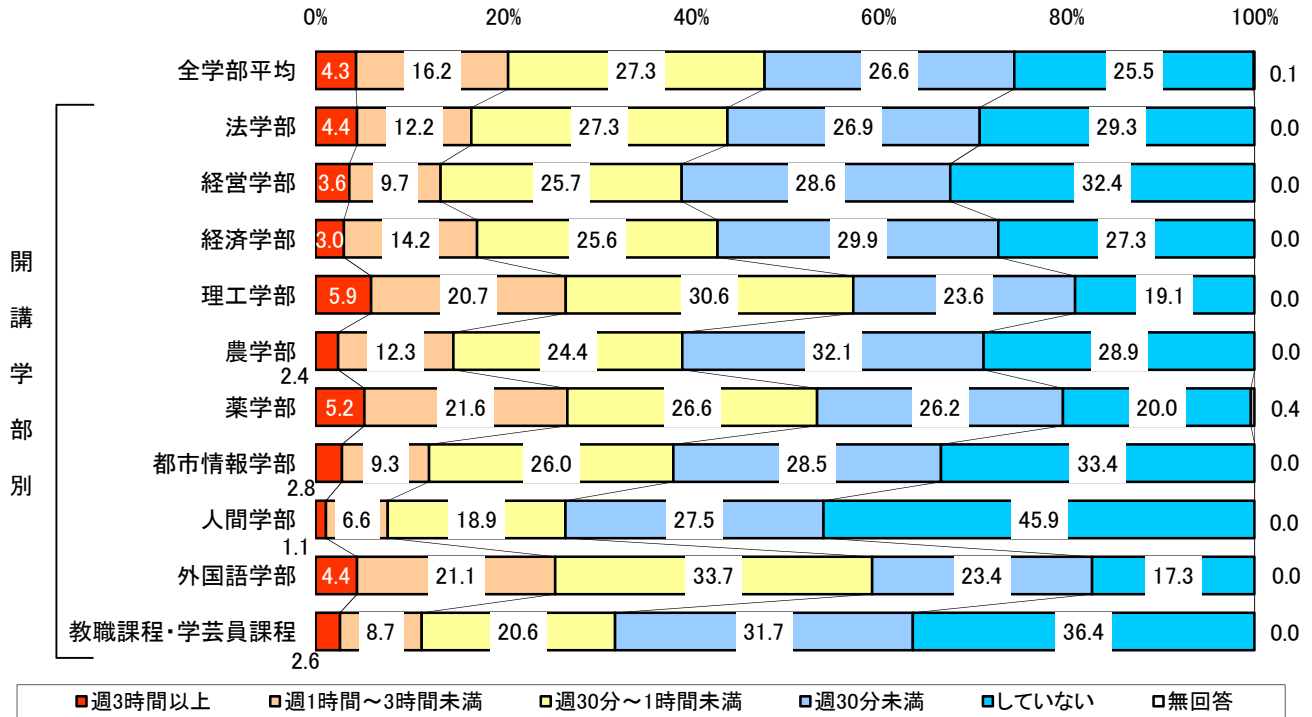
自学自習時間を各学部別で確認した。

元年度前期では、自学自習を「していない」と「週30分未満」で5割強を占め、特に人間学部で7割強と高い。一方、外国語学部や理工学部は低く、4割強にとどまる。元年度後期は「していない」と「週30分未満」の割合がやや上昇し、人間学部では8割を超える。

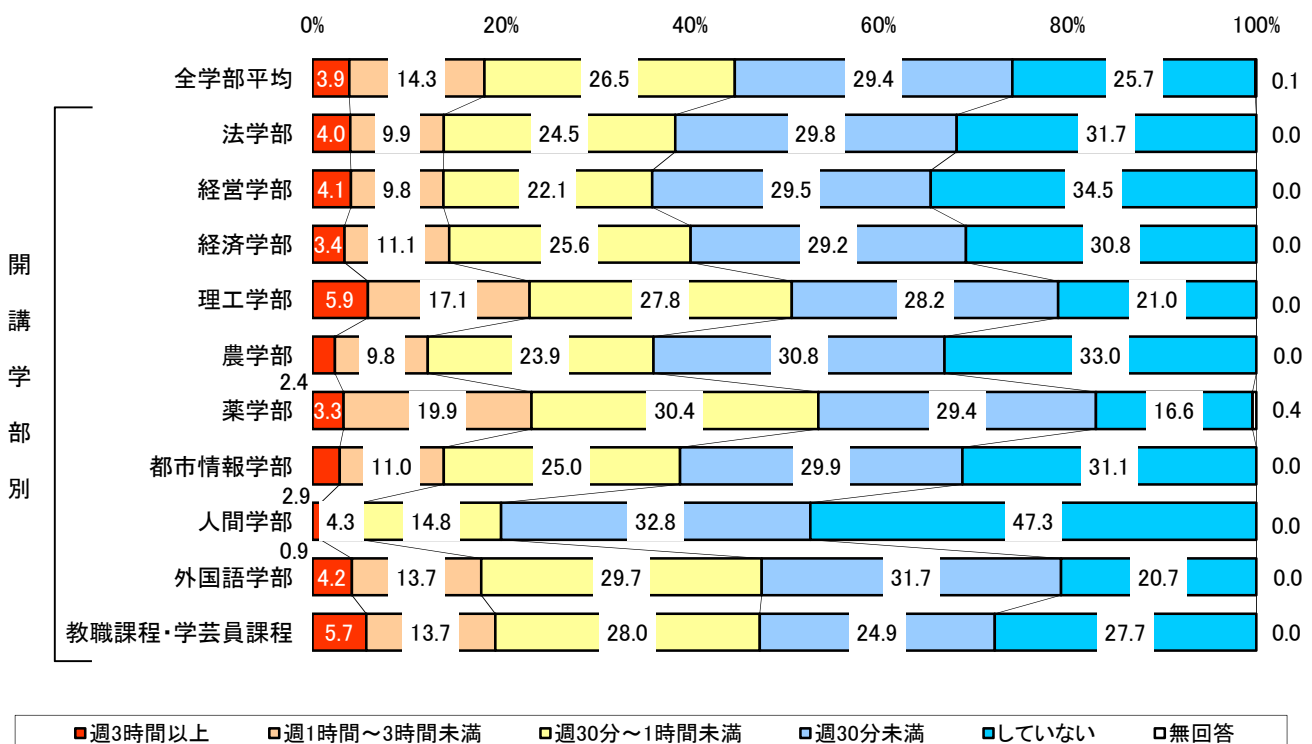
Q9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。

<開講学部別自学自習時間>

【元年度前期】



【元年度後期】



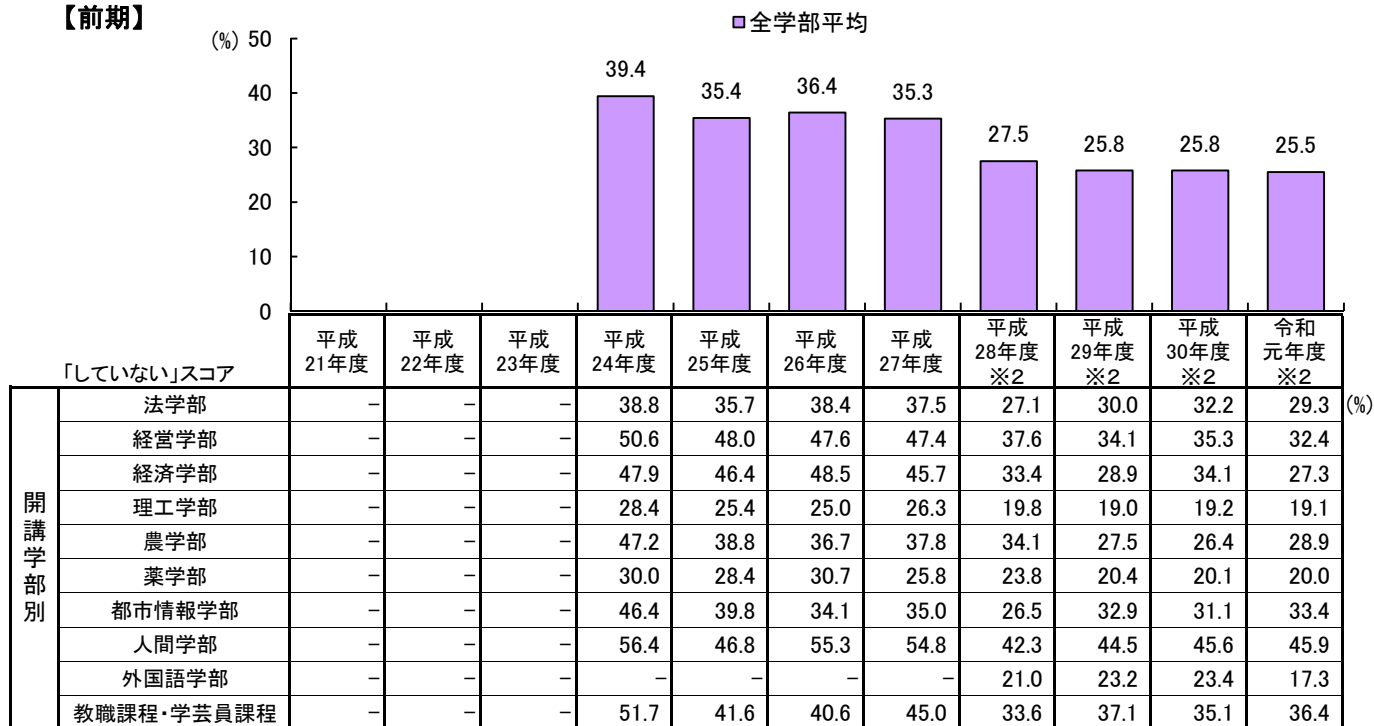
## 6 自学自習時間（2）時系列比較

自学自習時間の「していない」のスコアを各学部別に時系列で確認した。  
前期、後期ともに、「していない」のスコアはほぼ横ばい（但し、平成27年度以前は「この授業に対する1週間あたりの勉強時間（授業時間除く）は。」で測定）。

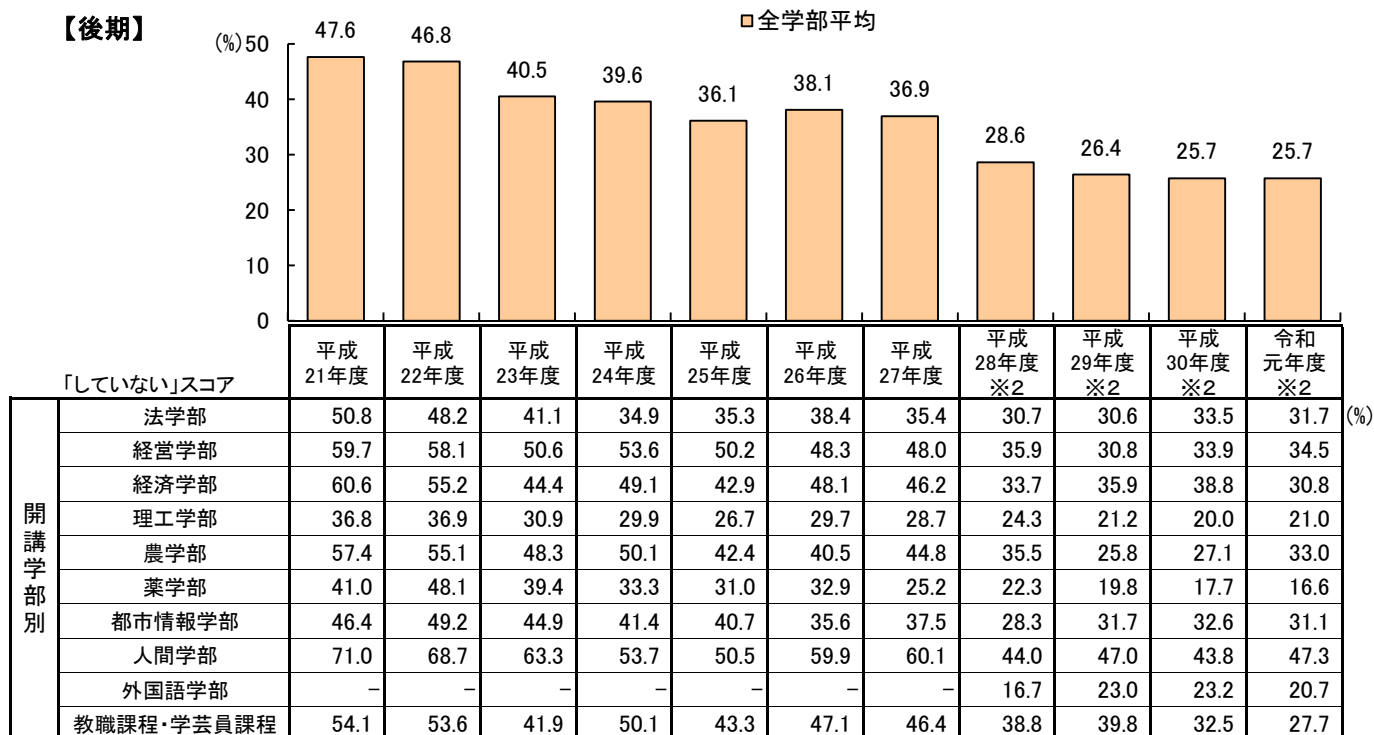
Q9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。※1

<開講学部別「していない」スコア>

【前期】



【後期】



(※1) 平成27年度以前は「この授業に対する1週間あたりの勉強時間（授業時間除く）は。」で測定

(※2) 平成28年度前期は常勤WEBアンケート、非常勤 紙アンケート、

平成28年度後期、平成29年度前期・後期、平成30年度前期・後期、令和元年度前期・後期は常勤・非常勤 WEBアンケートで実施

# 7 授業満足度と自学自習時間の関係（1）

【学生】

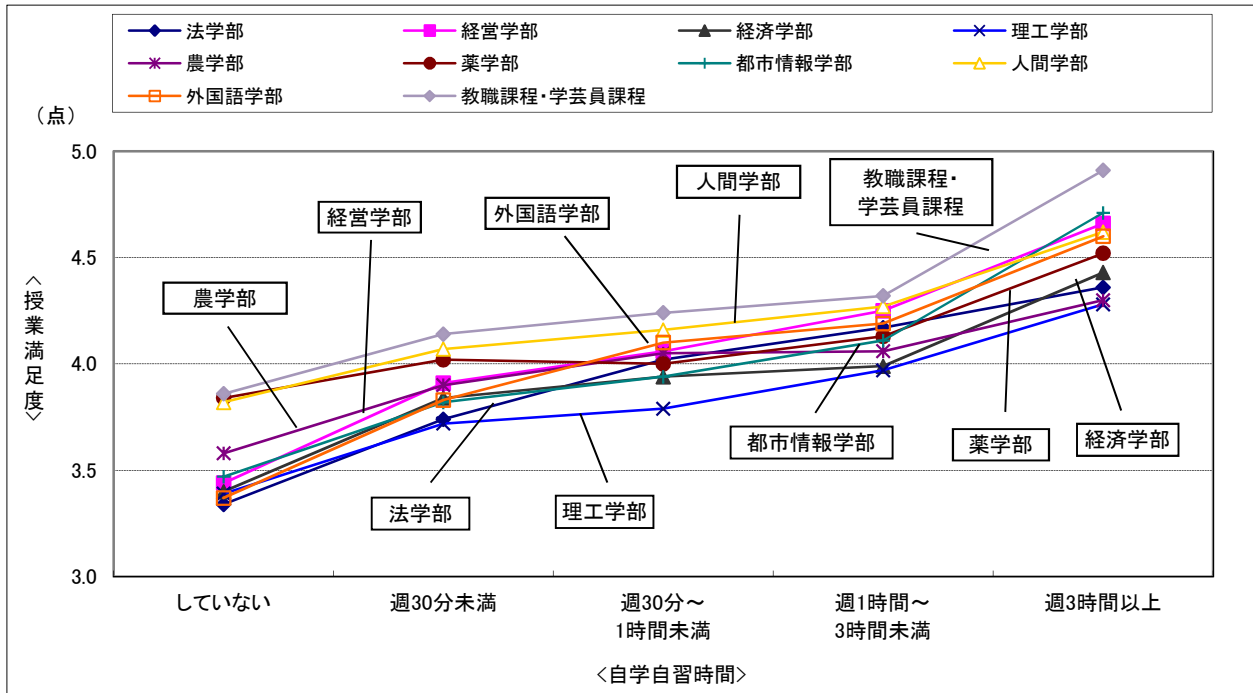
授業満足度と自学自習時間との関係を各学部別に確認した。  
 自学自習時間が長い学生ほど、授業に対する満足度が高い傾向がみられ、特に元年度後期でその傾向が顕著となっている。週3時間以上勉強する層では多くの学部で授業満足度が高いことがうかがえる。

Q9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。

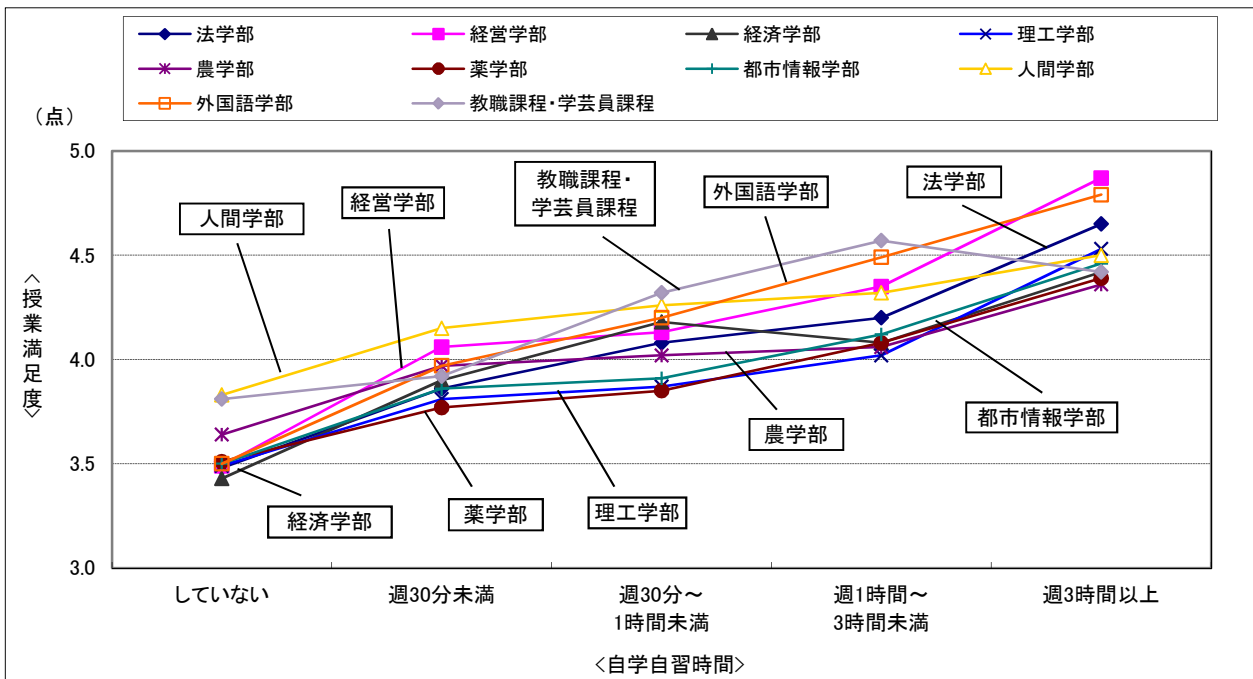
Q13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。

## <授業満足度との関係>

### 【元年度前期】



### 【元年度後期】



# 7 授業満足度と自学自習時間の関係 (2)

[学生]

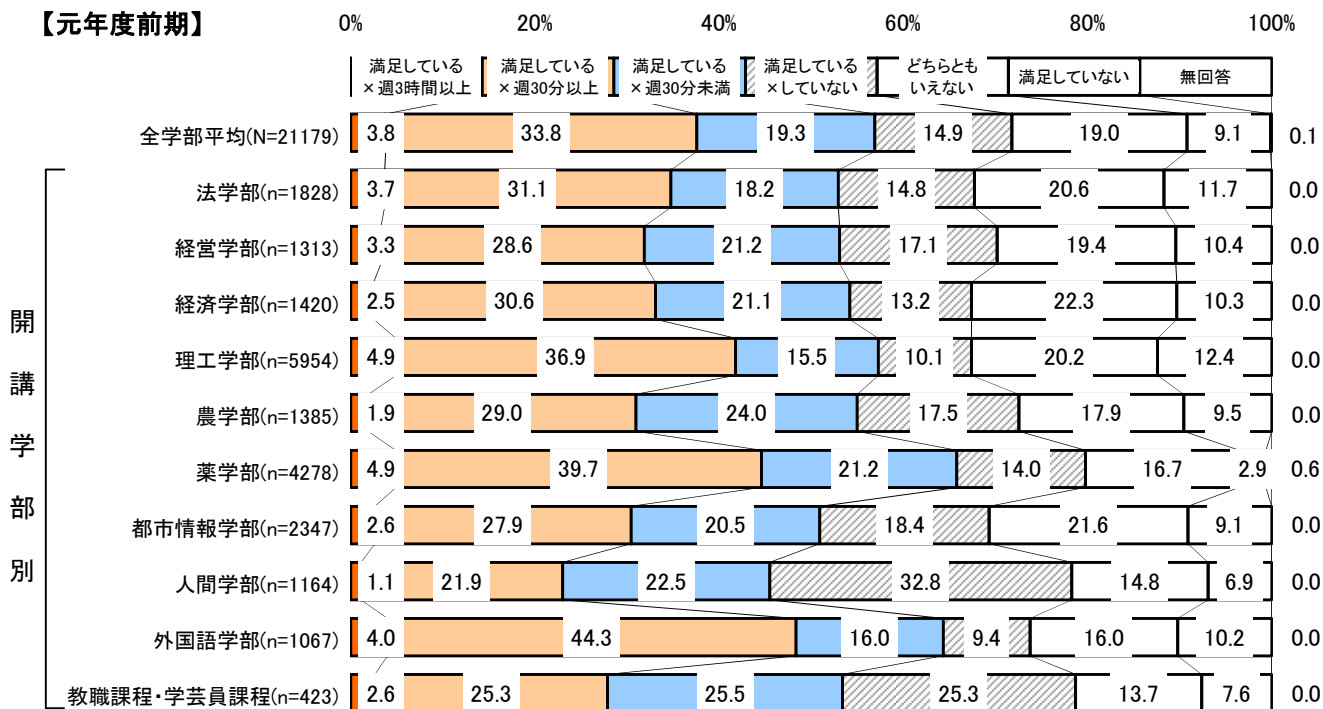
授業満足度と自学自習時間の関係を各学部別に確認した。  
 元年度前期では、授業に「満足している」学生のうち、自学自習時間が「週3時間以上」の学生は、全体では4%にとどまり、学部別でも大きな差はみられないが、「週30分以上」の学生は外国語学部や薬学部で4割前後と高い。元年度後期では教職課程・学芸員課程でも高い。

Q9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。

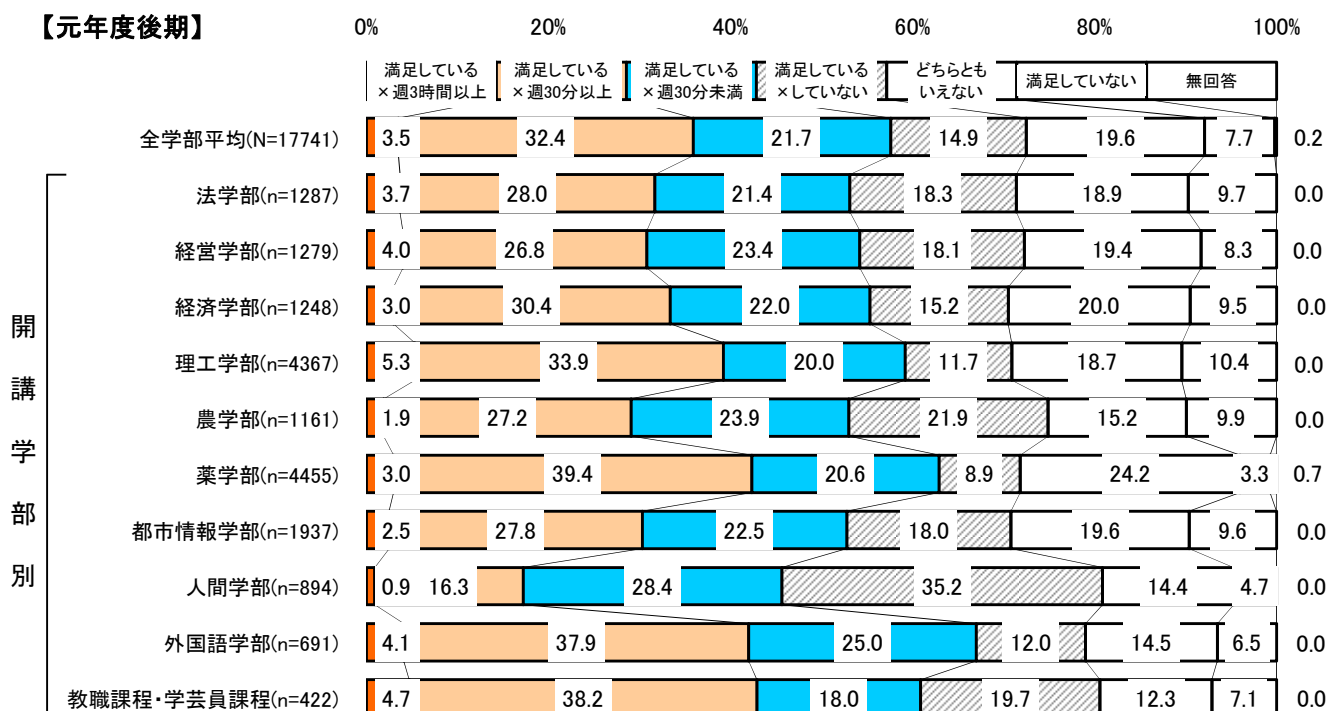
Q13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。

### <授業満足度×自学自習時間>

#### 【元年度前期】



#### 【元年度後期】



\*「満足している」は「強くそう思う」+「ややそう思う」、「満足していない」は「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」

# (参考) 成長実感と自学自習時間の関係 (1)

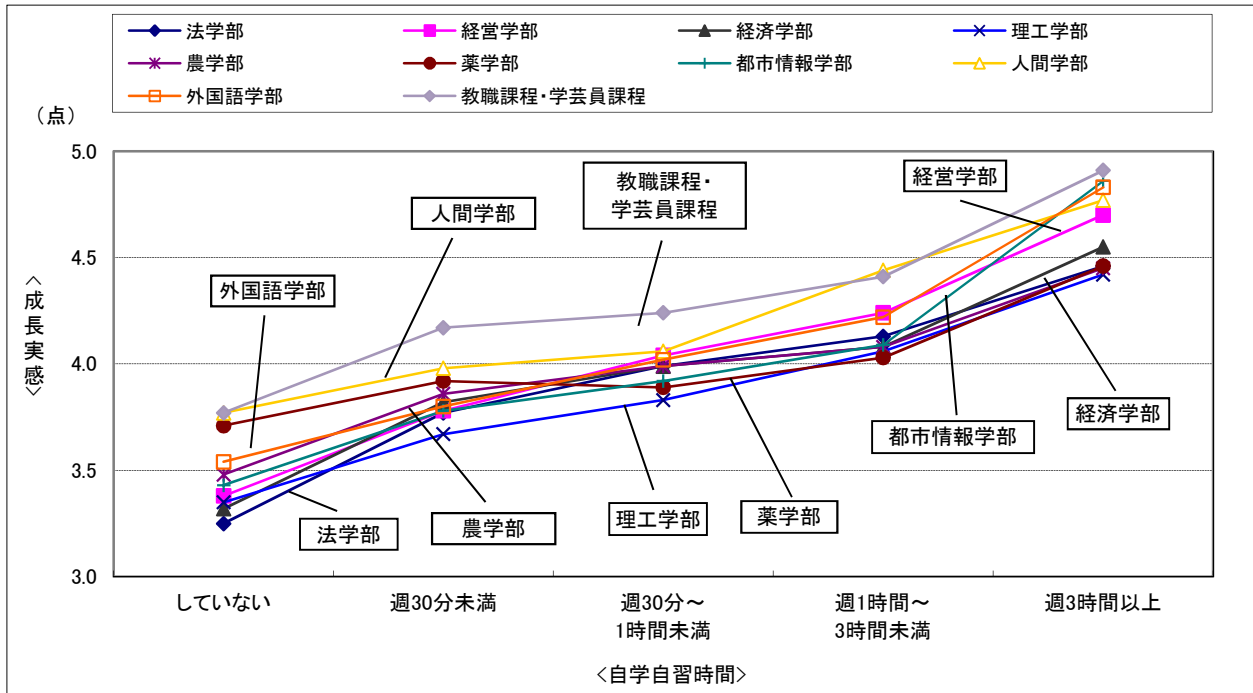
[学生]

成長実感と自学自習時間との関係を各学部別に確認した。  
 自学自習時間が長い学生ほど、成長実感が高くなる傾向がみられた。週3時間以上勉強する層では多くの学部で成長実感が高いことがうかがえる。

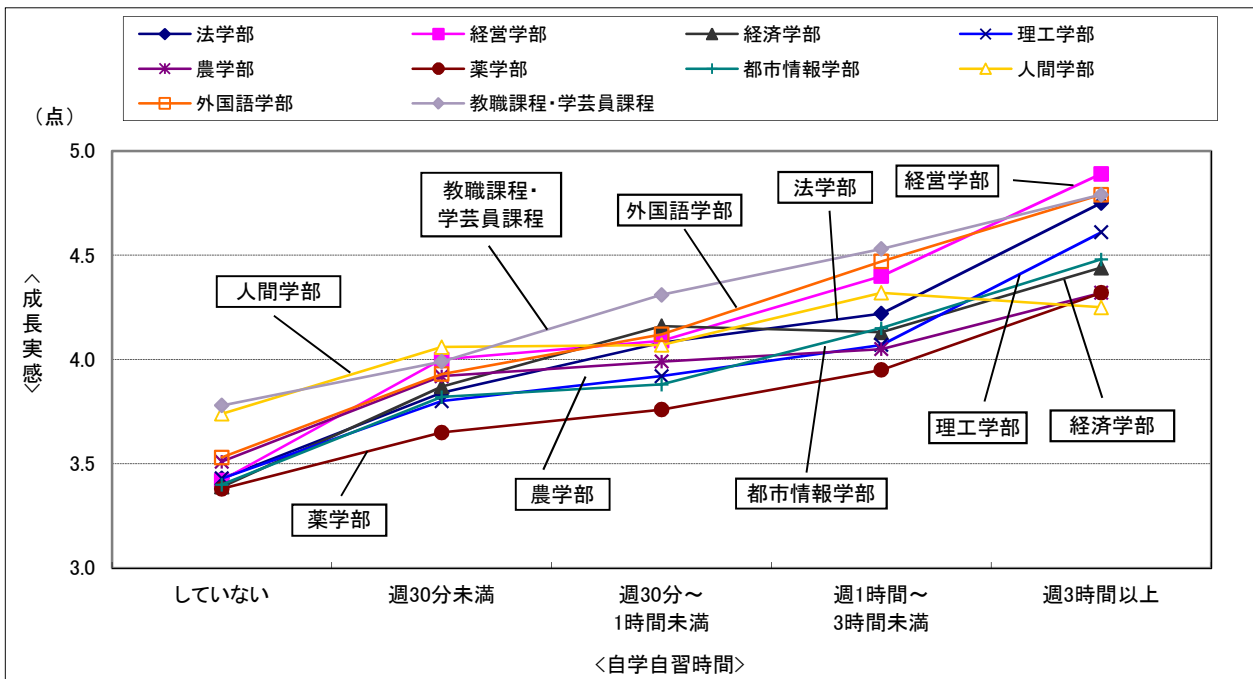
Q9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。  
 Q11. この授業を通じて、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか。

## <成長実感との関係>

### 【元年度前期】



### 【元年度後期】





# (参考) 成長実感と自学自習時間の関係 (2)

[学生]

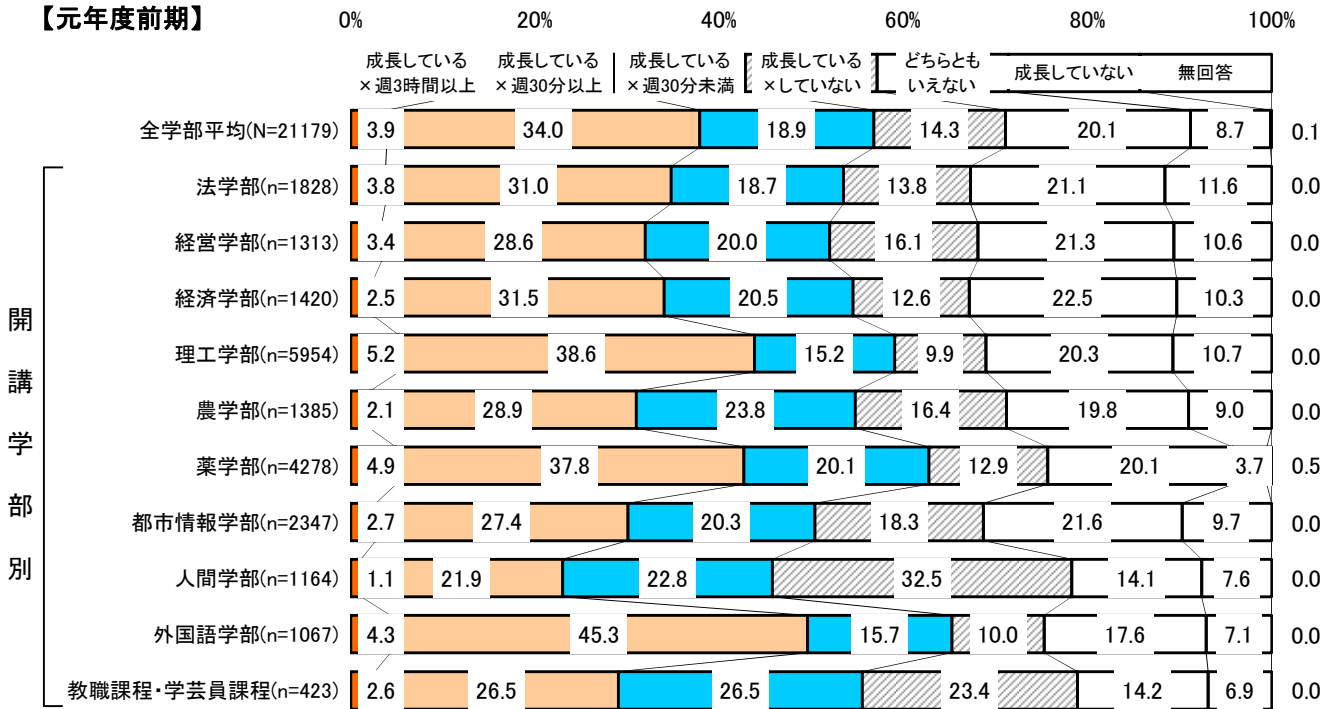
成長実感と自学自習時間の関係を各学部別に確認した。  
 元年度前期では、「成長している」学生のうち、自学自習時間が「週3時間以上」の学生は、全体では4%にとどまり、学部別でも大きな差はみられないが、「週30分以上」の学生は外国語学部、理工学部、薬学部で4割前後と高い。元年度後期では教職課程・学芸員課程でも高い。

Q9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。

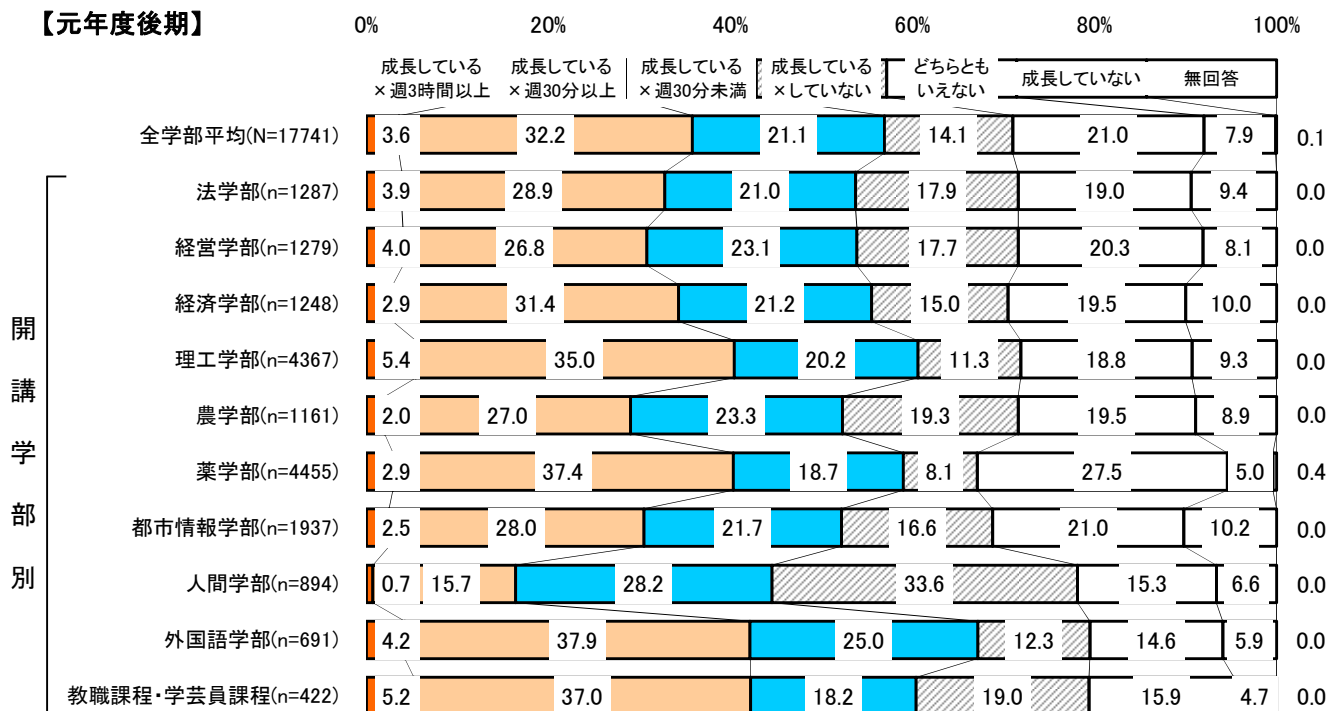
Q11. この授業を通じて、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか。

## <成長実感×自学自習時間>

### 【元年度前期】



### 【元年度後期】

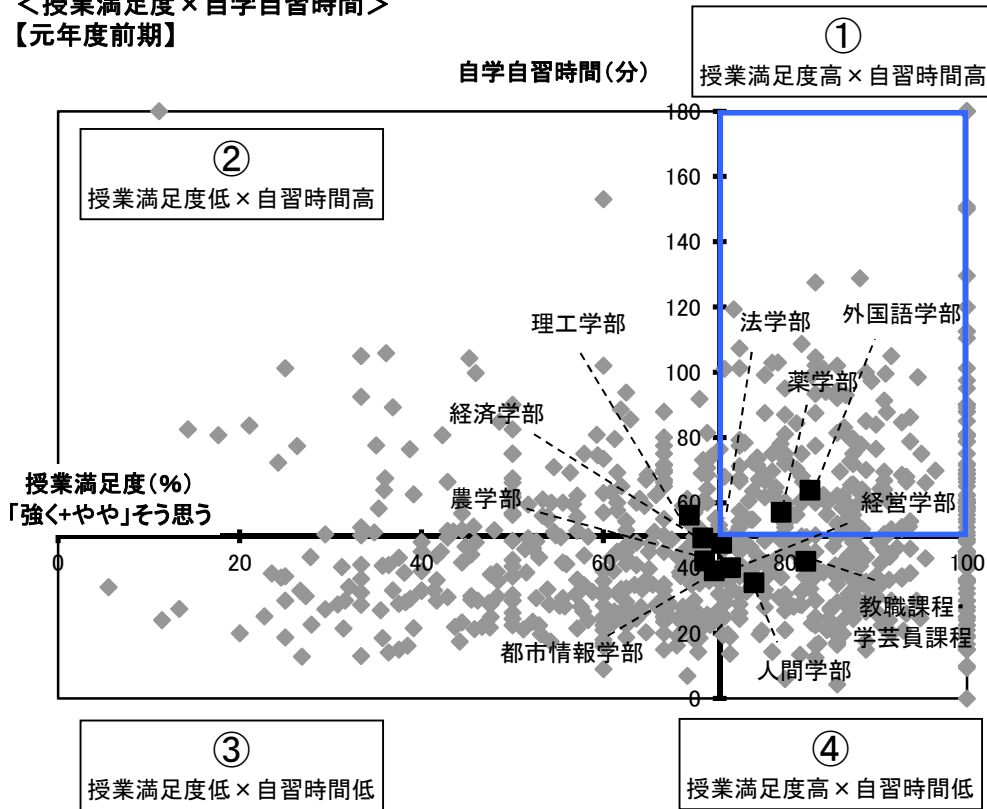


\*「成長している」は「強くそう思う」+「ややそう思う」、「成長していない」は「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」

# 7 授業満足度と自学自習時間の関係 (3) (授業プロット) [授業]

自学自習時間と授業満足度の関係を平面上に各授業をプロットした。  
 自学自習時間も長く、授業満足度の高い右上の①象限にある授業数の割合は、元年度前期と後期を比較しても大きな変化はみられない。平成30年度前期との比較では、やや上昇している。

＜授業満足度×自学自習時間＞  
 【元年度前期】



※軸は授業満足度(「強く+やや」)・自学自習時間の平均

令和元年度前期

象限	授業数(770授業)	
①	209	27.1
②	119	15.5
③	231	30.0
④	211	27.4

平成30年度前期

象限	授業数(769授業)	
①	186	24.2
②	128	16.6
③	215	28.0
④	240	31.2

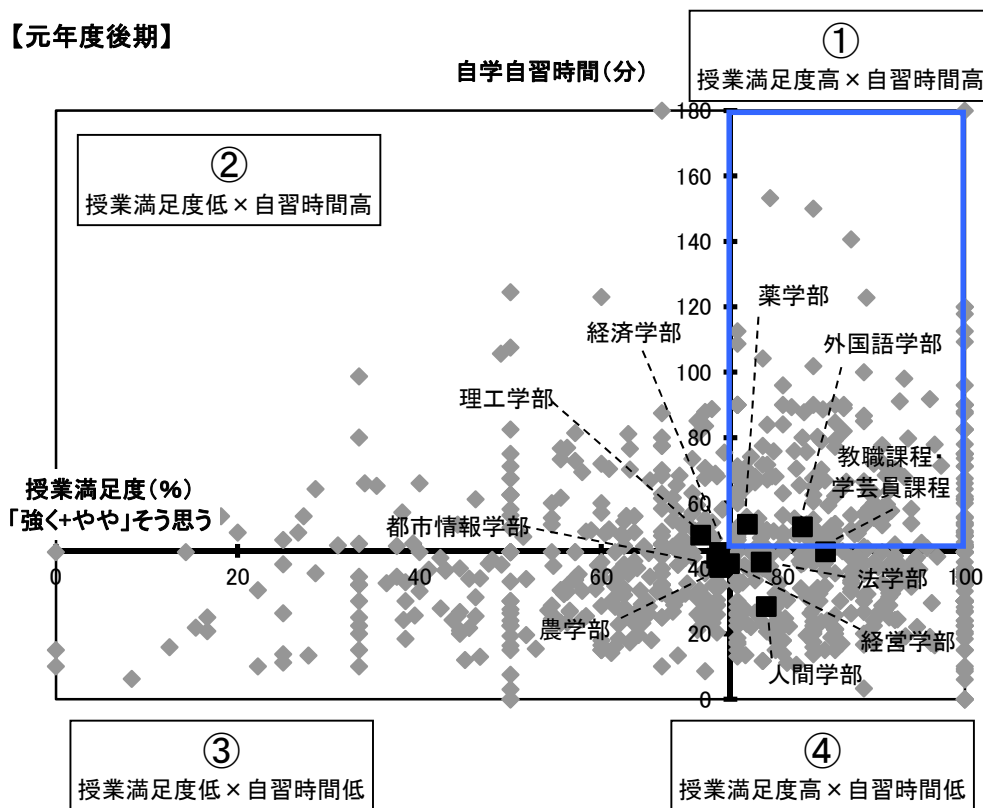
平成29年度前期

象限	授業数(757授業)	
①	194	25.6
②	125	16.5
③	223	29.5
④	215	28.4

平成28年度前期

象限	授業数(714授業)	
①	161	22.5
②	123	17.2
③	201	28.2
④	229	32.1

【元年度後期】



※軸は授業満足度(「強く+やや」)・自学自習時間の平均

令和元年度後期

象限	授業数(763授業)	
①	201	26.3
②	119	15.6
③	205	26.9
④	238	31.2

平成30年度後期

象限	授業数(754授業)	
①	199	26.4
②	120	15.9
③	226	30.0
④	209	27.7

平成29年度後期

象限	授業数(729授業)	
①	192	26.3
②	117	16.0
③	218	29.9
④	202	27.7

平成28年度後期

象限	授業数(713授業)	
①	163	22.9
②	130	18.2
③	221	31.0
④	199	27.9

## 7 授業満足度と自学自習時間の関係（3）（授業プロット） 元年度前期 [授業]

自学自習時間が長く、授業満足度も高い①象限に含まれる授業が多かった学部を各年度の前期でみると、元年度前期は外国語学部で5割強と高い。  
人間学部は元年度前期は①象限が1割にとどまり、平成30年度前期から7ポイントの低下。

### <授業満足度×自学自習時間> 【元年度前期】

#### 【全学部平均】

象限	令和元年度前期 (770授業)	平成30年度前期 (769授業)	平成29年度前期 (757授業)	平成28年度前期 (714授業)
①	27.1	24.2	25.6	22.5
②	15.5	16.6	16.5	17.2
③	30.0	28.0	29.5	28.2
④	27.4	31.2	28.4	32.1

#### 【法学部】

象限	令和元年度前期 (90授業)	平成30年度前期 (81授業)	平成29年度前期 (89授業)	平成28年度前期 (82授業)
①	33.3	13.6	21.3	25.6
②	14.4	18.5	16.9	8.5
③	27.8	33.3	30.3	32.9
④	24.4	34.6	31.5	32.9

#### 【薬学部】

象限	令和元年度前期 (34授業)	平成30年度前期 (37授業)	平成29年度前期 (36授業)	平成28年度前期 (26授業)
①	47.1	32.4	36.1	23.1
②	11.8	16.2	16.7	11.5
③	8.8	10.8	11.1	30.8
④	32.4	40.5	36.1	34.6

#### 【経営学部】

象限	令和元年度前期 (64授業)	平成30年度前期 (63授業)	平成29年度前期 (62授業)	平成28年度前期 (64授業)
①	23.4	15.9	22.6	17.2
②	4.7	4.8	12.9	7.8
③	39.1	36.5	27.4	31.3
④	32.8	42.9	37.1	43.8

#### 【都市情報学部】

象限	令和元年度前期 (71授業)	平成30年度前期 (70授業)	平成29年度前期 (73授業)	平成28年度前期 (72授業)
①	22.5	11.4	24.7	23.6
②	5.6	17.1	6.8	4.2
③	42.3	27.1	27.4	22.2
④	29.6	44.3	41.1	50.0

#### 【経済学部】

象限	令和元年度前期 (51授業)	平成30年度前期 (51授業)	平成29年度前期 (53授業)	平成28年度前期 (52授業)
①	15.7	23.5	26.4	13.5
②	13.7	5.9	13.2	15.4
③	43.1	37.3	37.7	38.5
④	27.5	33.3	22.6	32.7

#### 【人間学部】

象限	令和元年度前期 (40授業)	平成30年度前期 (47授業)	平成29年度前期 (50授業)	平成28年度前期 (45授業)
①	10.0	17.0	20.0	13.3
②	10.0	8.5	2.0	6.7
③	30.0	19.1	32.0	24.4
④	50.0	55.3	46.0	55.6

#### 【理工学部】

象限	令和元年度前期 (289授業)	平成30年度前期 (300授業)	平成29年度前期 (284授業)	平成28年度前期 (273授業)
①	27.7	29.0	25.7	26.4
②	25.3	25.0	25.4	28.6
③	28.4	26.3	30.6	27.1
④	18.7	19.7	18.3	17.9

#### 【外国語学部】

象限	令和元年度前期 (48授業)	平成30年度前期 (43授業)	平成29年度前期 (30授業)	平成28年度前期 (21授業)
①	52.1	53.5	60.0	47.6
②	12.5	7.0	13.3	19.0
③	14.6	23.3	23.3	4.8
④	20.8	16.3	3.3	28.6

#### 【農学部】

象限	令和元年度前期 (58授業)	平成30年度前期 (57授業)	平成29年度前期 (60授業)	平成28年度前期 (59授業)
①	17.2	17.5	18.3	11.9
②	6.9	8.8	8.3	15.3
③	36.2	36.8	36.7	35.6
④	39.7	36.8	36.7	37.3

#### 【教職課程・学芸員課程】

象限	令和元年度前期 (25授業)	平成30年度前期 (20授業)	平成29年度前期 (20授業)	平成28年度前期 (20授業)
①	20.0	25.0	20.0	20.0
②	4.0	10.0	10.0	15.0
③	16.0	20.0	15.0	15.0
④	60.0	45.0	55.0	50.0

\* 全体より10ポイント以上高いものに網掛け

## 7 授業満足度と自学自習時間の関係（3）（授業プロット） 元年度後期 [授業]

自学自習時間が長く、授業満足度も高い①象限に含まれる授業が多かった学部を各年度の後期でみると、元年度後期は外国語学部、教職課程・学芸員課程でともに約4割と高い。

### <授業満足度×自学自習時間> 【元年度後期】

#### 【全学部平均】

象限	令和元年度後期 (763授業)	平成30年度後期 (754授業)	平成29年度後期 (729授業)	平成28年度後期 (713授業)
①	26.3	26.4	26.3	22.9
②	15.6	15.9	16.0	18.2
③	26.9	30.0	29.9	31.0
④	31.2	27.7	27.7	27.9

#### 【法学部】

象限	令和元年度後期 (83授業)	平成30年度後期 (84授業)	平成29年度後期 (80授業)	平成28年度後期 (83授業)
①	21.7	21.4	27.5	24.1
②	9.6	17.9	15.0	20.5
③	31.3	34.5	31.3	38.6
④	37.3	26.2	26.3	16.9

#### 【薬学部】

象限	令和元年度後期 (33授業)	平成30年度後期 (35授業)	平成29年度後期 (36授業)	平成28年度後期 (36授業)
①	36.4	42.9	36.1	33.3
②	24.2	22.9	19.4	16.7
③	12.1	14.3	16.7	33.3
④	27.3	20.0	27.8	16.7

#### 【経営学部】

象限	令和元年度後期 (75授業)	平成30年度後期 (65授業)	平成29年度後期 (66授業)	平成28年度後期 (69授業)
①	29.3	24.6	30.3	23.2
②	6.7	9.2	4.5	8.7
③	32.0	32.3	30.3	27.5
④	32.0	33.8	34.8	40.6

#### 【都市情報学部】

象限	令和元年度後期 (68授業)	平成30年度後期 (71授業)	平成29年度後期 (72授業)	平成28年度後期 (57授業)
①	25.0	29.6	16.7	24.6
②	11.8	9.9	13.9	3.5
③	36.8	29.6	37.5	29.8
④	26.5	31.0	31.9	42.1

#### 【経済学部】

象限	令和元年度後期 (55授業)	平成30年度後期 (53授業)	平成29年度後期 (46授業)	平成28年度後期 (55授業)
①	23.6	20.8	26.1	14.5
②	21.8	7.5	13.0	14.5
③	23.6	39.6	30.4	36.4
④	30.9	32.1	30.4	34.5

#### 【人間学部】

象限	令和元年度後期 (42授業)	平成30年度後期 (48授業)	平成29年度後期 (50授業)	平成28年度後期 (45授業)
①	7.1	12.5	12.0	17.8
②	2.4	6.3	8.0	11.1
③	28.6	31.3	38.0	17.8
④	61.9	50.0	42.0	53.3

#### 【理工学部】

象限	令和元年度後期 (271授業)	平成30年度後期 (269授業)	平成29年度後期 (260授業)	平成28年度後期 (263授業)
①	29.2	23.8	23.8	20.2
②	21.8	25.3	25.0	29.7
③	25.1	29.7	30.8	32.3
④	24.0	21.2	20.4	17.9

#### 【外国語学部】

象限	令和元年度後期 (38授業)	平成30年度後期 (41授業)	平成29年度後期 (33授業)	平成28年度後期 (21授業)
①	39.5	61.0	57.6	66.7
②	10.5	4.9	6.1	0.0
③	21.1	19.5	6.1	9.5
④	28.9	14.6	30.3	23.8

#### 【農学部】

象限	令和元年度後期 (70授業)	平成30年度後期 (69授業)	平成29年度後期 (66授業)	平成28年度後期 (66授業)
①	15.7	26.1	27.3	18.2
②	15.7	8.7	9.1	10.6
③	32.9	36.2	31.8	34.8
④	35.7	29.0	31.8	36.4

#### 【教職課程・学芸員課程】

象限	令和元年度後期 (28授業)	平成30年度後期 (19授業)	平成29年度後期 (20授業)	平成28年度後期 (18授業)
①	39.3	26.3	40.0	33.3
②	10.7	5.3	10.0	5.6
③	7.1	5.3	20.0	16.7
④	42.9	63.2	30.0	44.4

\* 全体より10ポイント以上高いものに網掛け

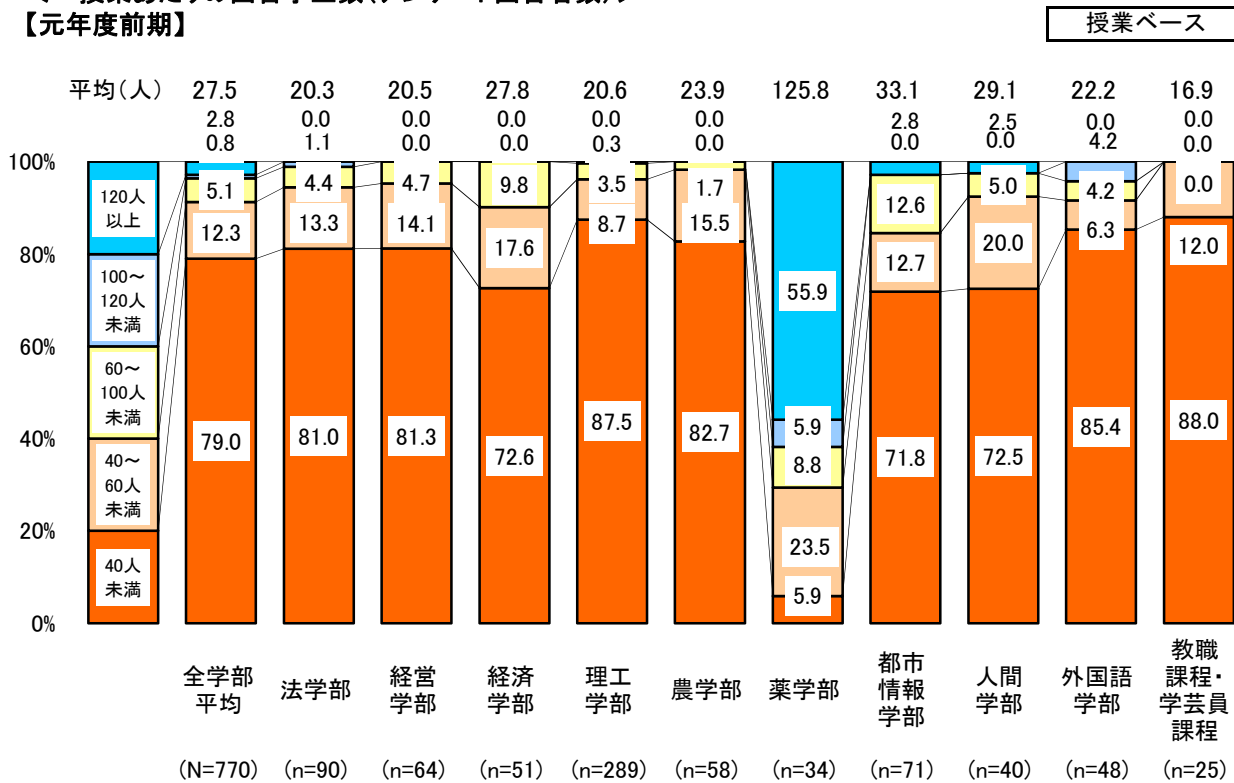
# 8 一授業あたりの回答学生数

[授業]

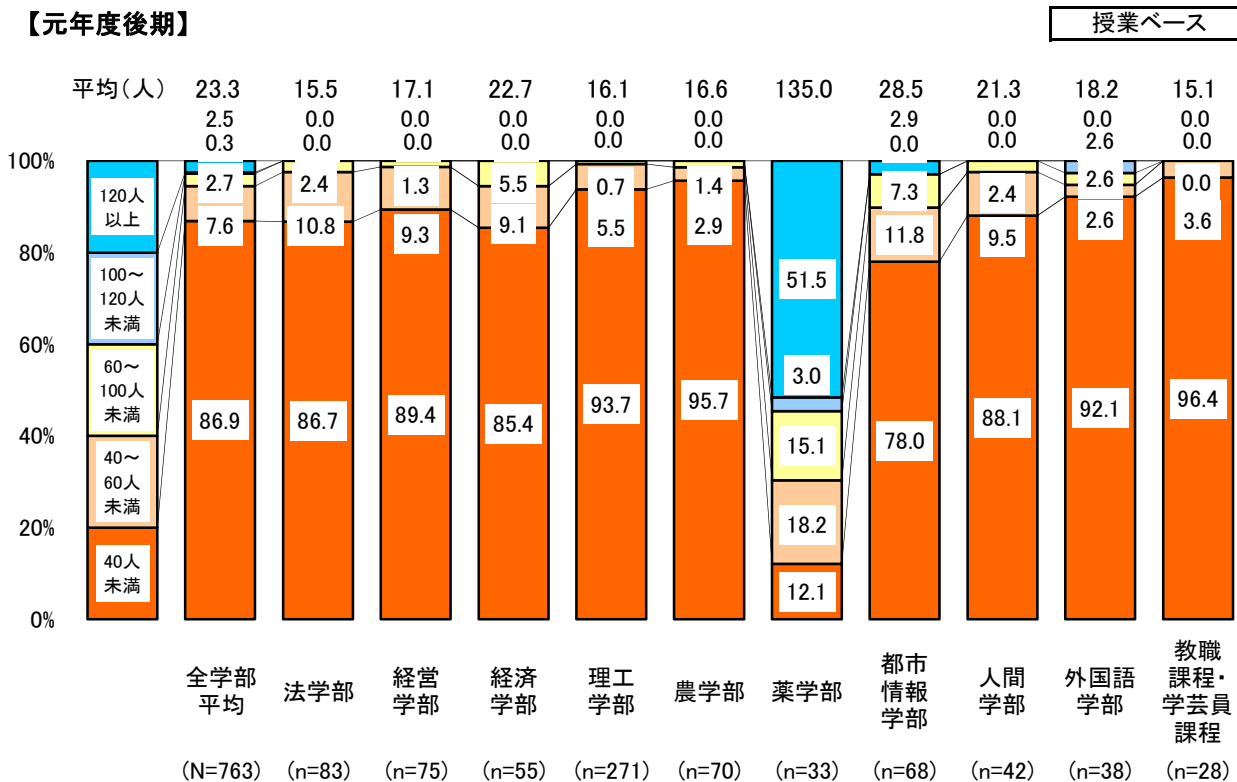
一授業あたりの回答学生数を学部別に確認した。  
 元年度後期では、一授業あたりの回答学生数が40人未満の割合が概ね9割前後にのぼる。  
 元年度前期と比較すると、全学部平均の40人未満の割合は8ポイント上昇している。

<一授業あたりの回答学生数(アンケート回答者数)>

【元年度前期】



【元年度後期】



# 9 履修者数の規模別授業満足度

[授業]

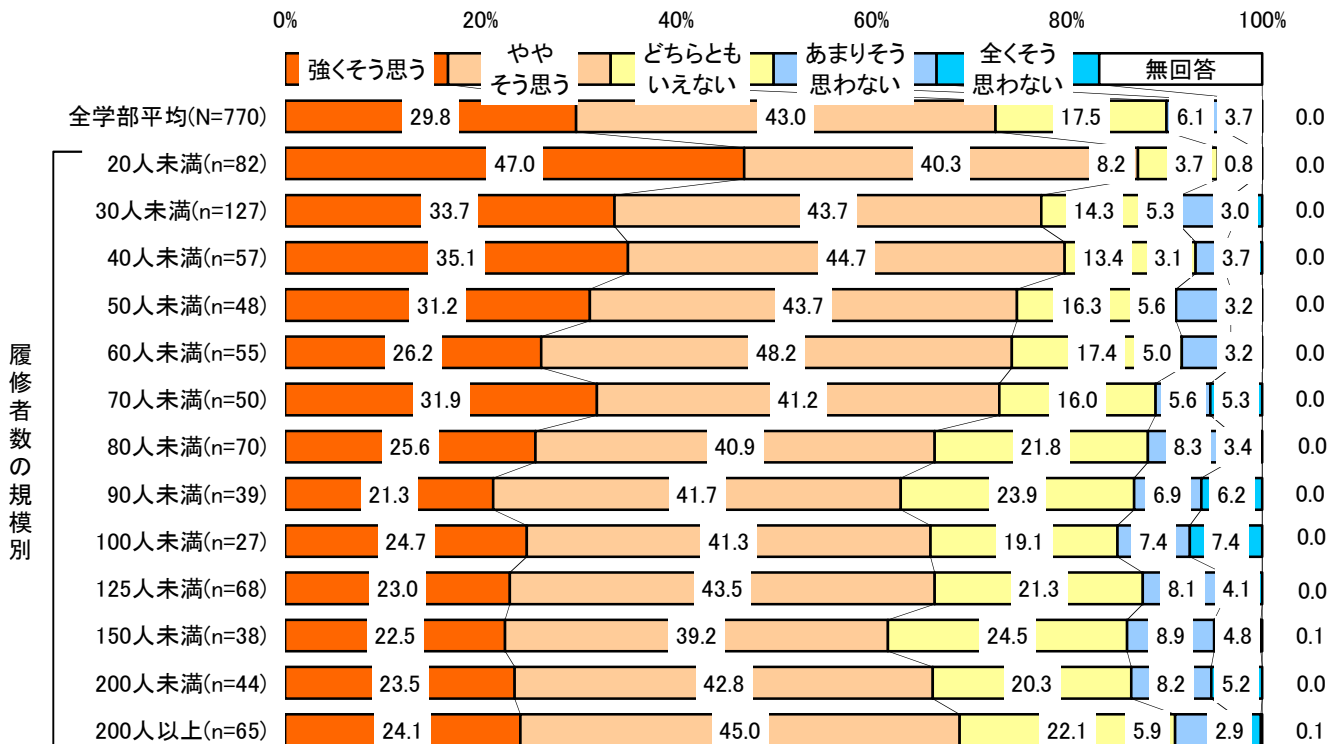
各授業の履修者数の規模別に授業満足度を確認した。  
1授業あたりの履修者数規模が小さいほど授業満足度が高い傾向がうかがえる。

Q13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。

<履修者数の規模別授業満足度>

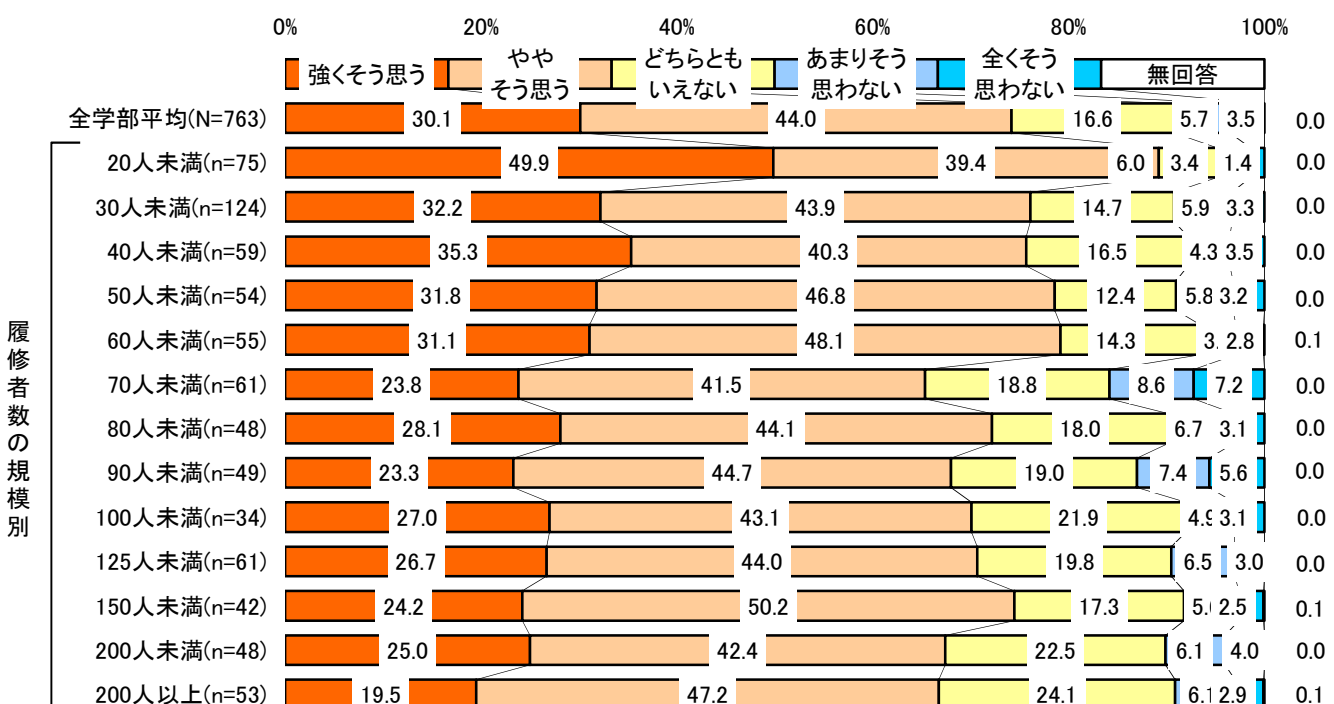
授業ベース

【元年度前期】



【元年度後期】

授業ベース



# 基礎データ(前期)

※実施方法が異なりますので、結果の比較にご留意ください  
平成28年度前期:常勤 WEBアンケート、非常勤 紙アンケート  
平成29年度前期:WEBアンケート  
平成30年度前期:WEBアンケート  
令和元年度前期:WEBアンケート

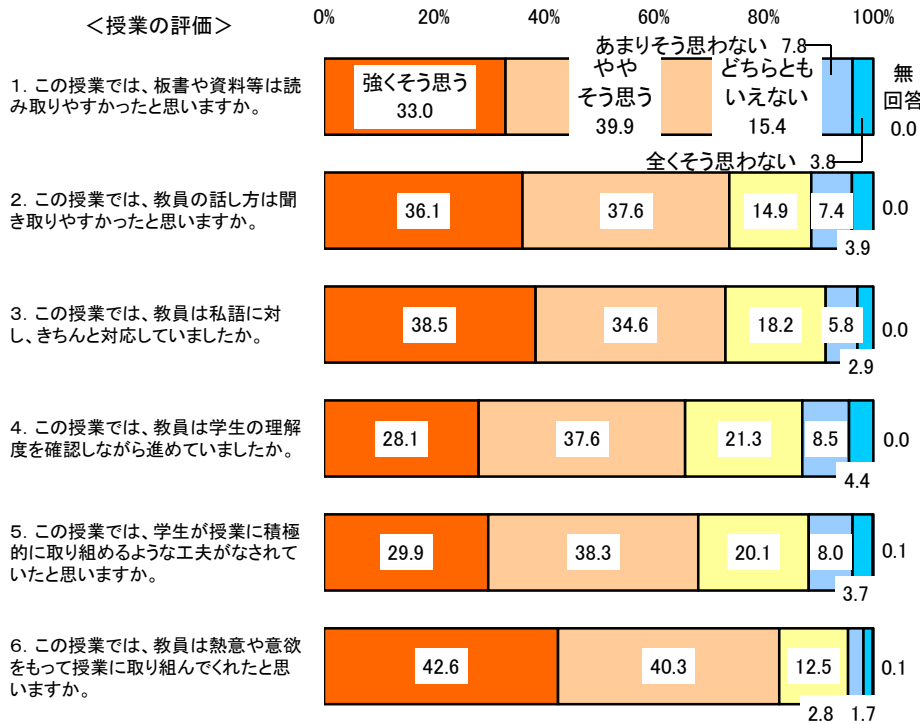




元年度前期の授業の評価を時系列でみると、いずれも平成30年度前期を1～3ポイント上回る。学生の評価は、平成30年度前期と比較して全般的に横ばい。

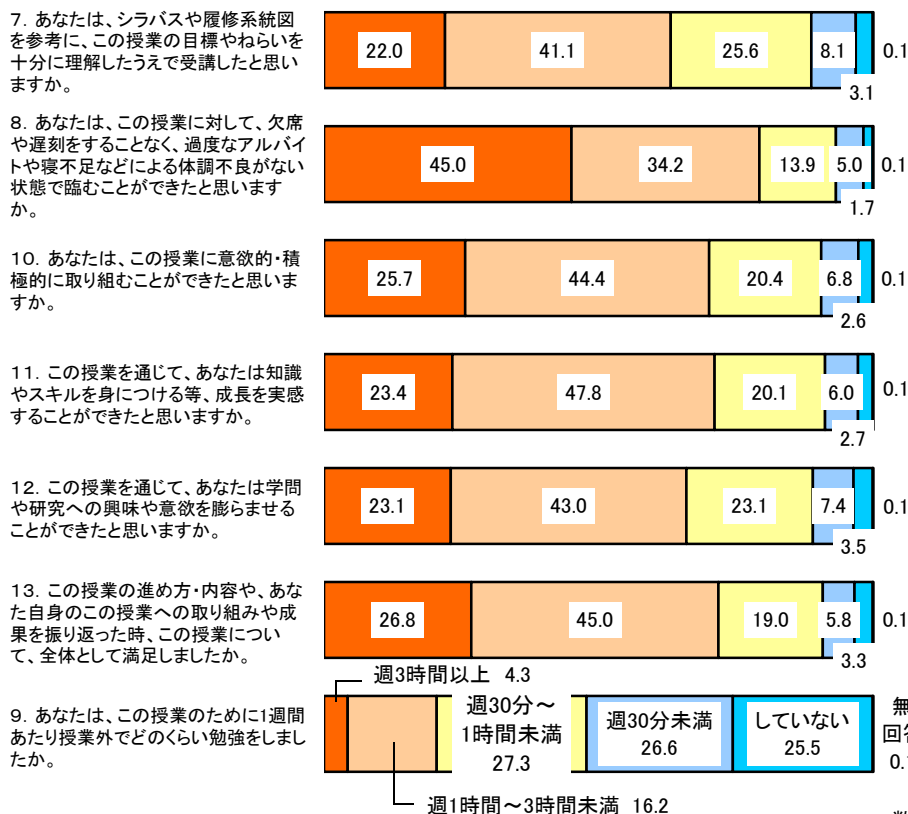
### 【元年度前期 全学部平均】

(N=21179)



令和元年度前期常勤	令和元年度前期非常勤	令和元年度前期全体	平成30年度前期全体	平成29年度前期全体	平成28年度前期全体
73.0	72.7	72.9	71.2	68.6	69.3
73.4	74.6	73.8	72.2	69.3	71.0
74.9	69.5	73.1	71.4	69.3	69.3
64.8	67.6	65.7	63.8	61.8	61.6
67.5	69.7	68.2	65.4	63.9	63.1
82.9	82.9	82.9	82.2	78.6	79.0

### <学生の評価>



63.6	62.2	63.1	61.7	57.8	54.5
79.0	79.7	79.2	79.4	76.4	73.3
69.5	71.3	70.1	68.5	65.4	62.5
71.0	71.6	71.2	68.7	65.5	63.2
67.1	63.9	66.0	64.8	61.7	59.4
71.4	72.7	71.8	71.3	67.9	67.2
21.8	18.1	20.6	19.3	19.5	18.4

\* 数表は各設問上位2選択肢の合計(%)

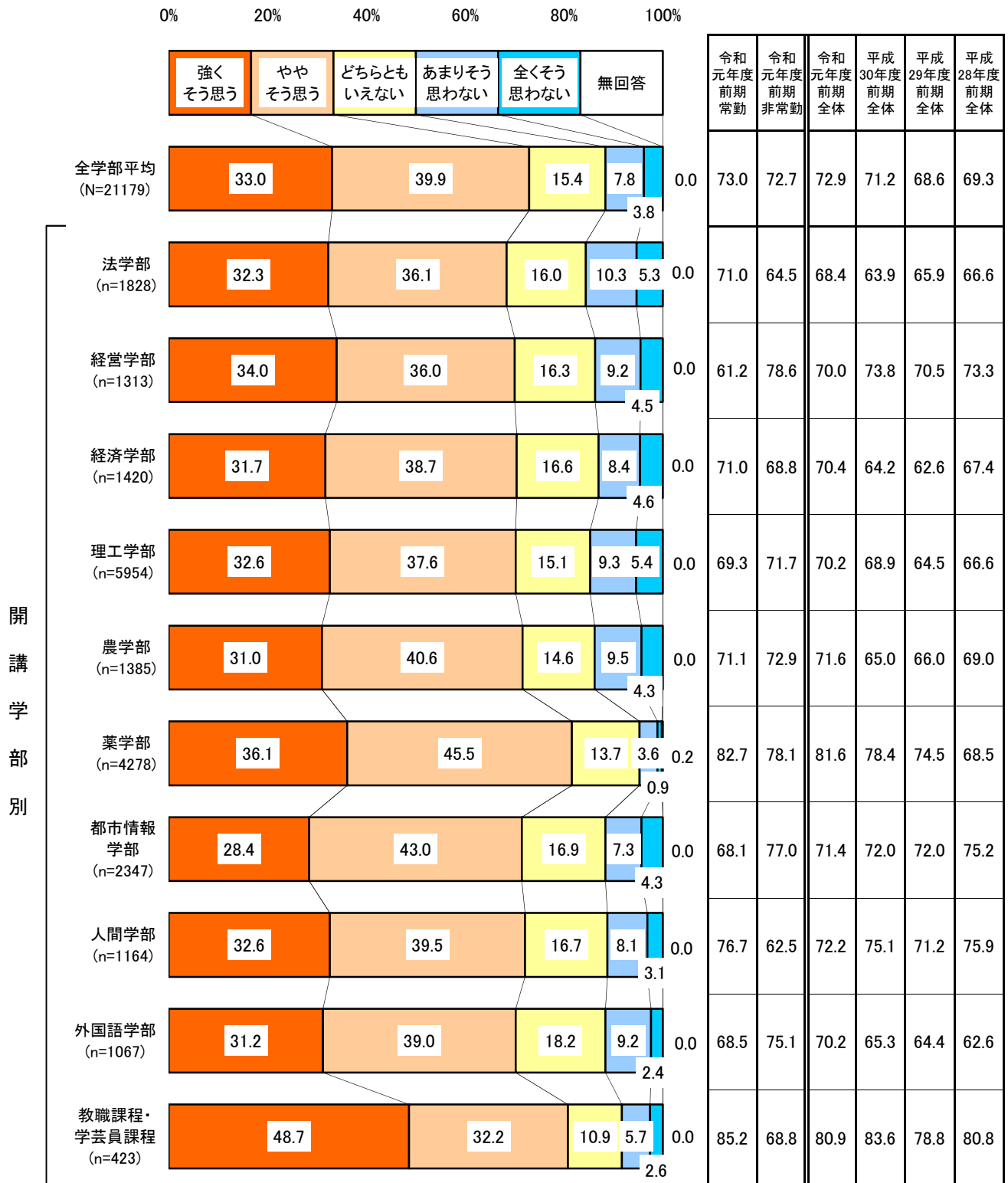
# 11 授業評価の基礎データ 板書

[前期 学生]

板書に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割強。薬学部、教職課程・学芸員課程では8割強にのぼる。平成30年度前期と比べると、経済学部、農学部などで評価が上昇している。

【元年度前期】

Q1. この授業では、板書や資料等は読み取りやすかったですか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

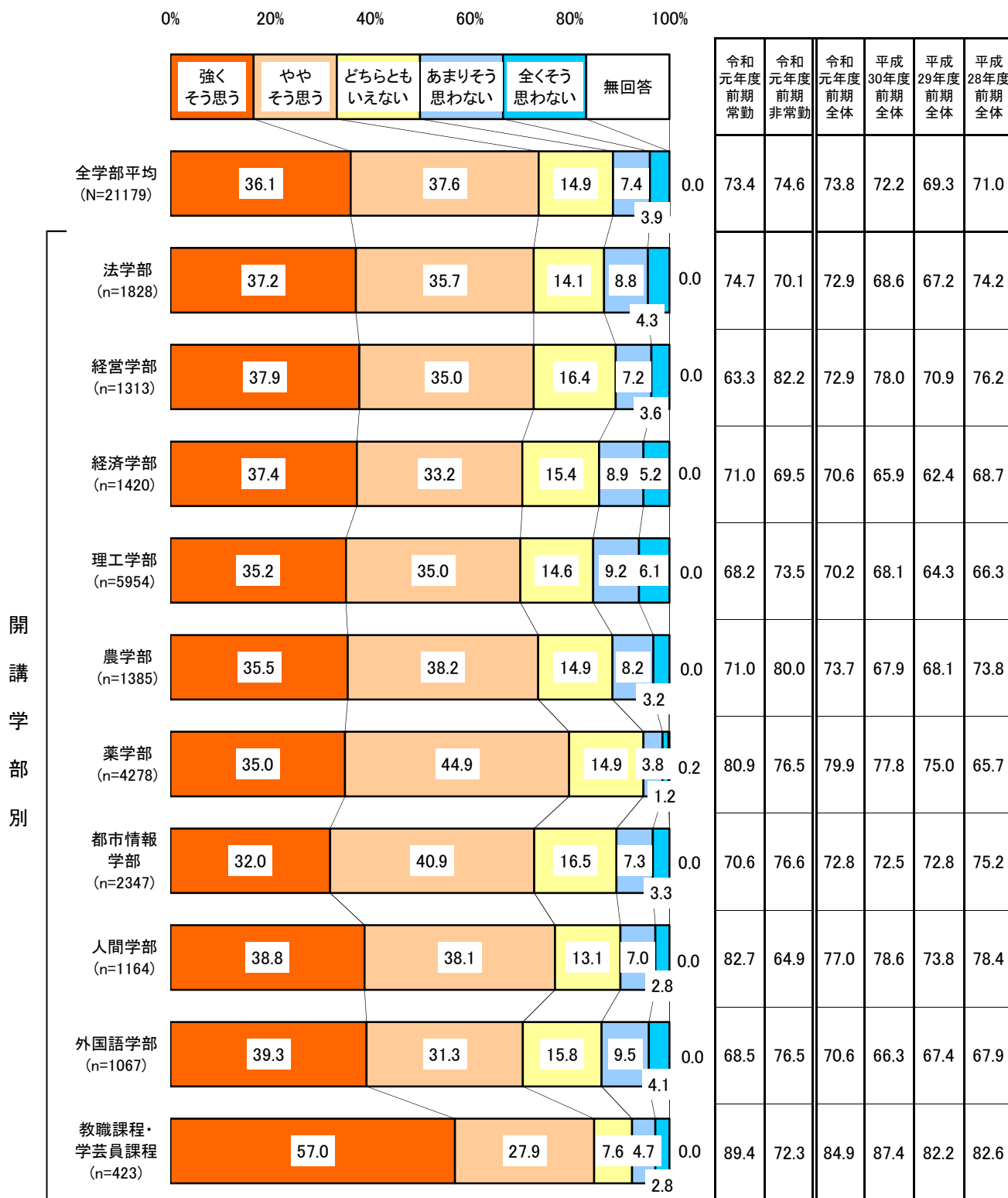
# 11 授業評価の基礎データ 話方明瞭

[前期 学生]

話方明瞭に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割強。教職課程・学芸員課程では8割半ばにのぼり、「強くそう思う」の割合が6割弱を占める。平成30年度前期と比べると、経済学部、農学部で上昇しているが、経営学部では低下傾向。

【元年度前期】

Q2. この授業では、教員の話方は聞き取りやすかったですか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

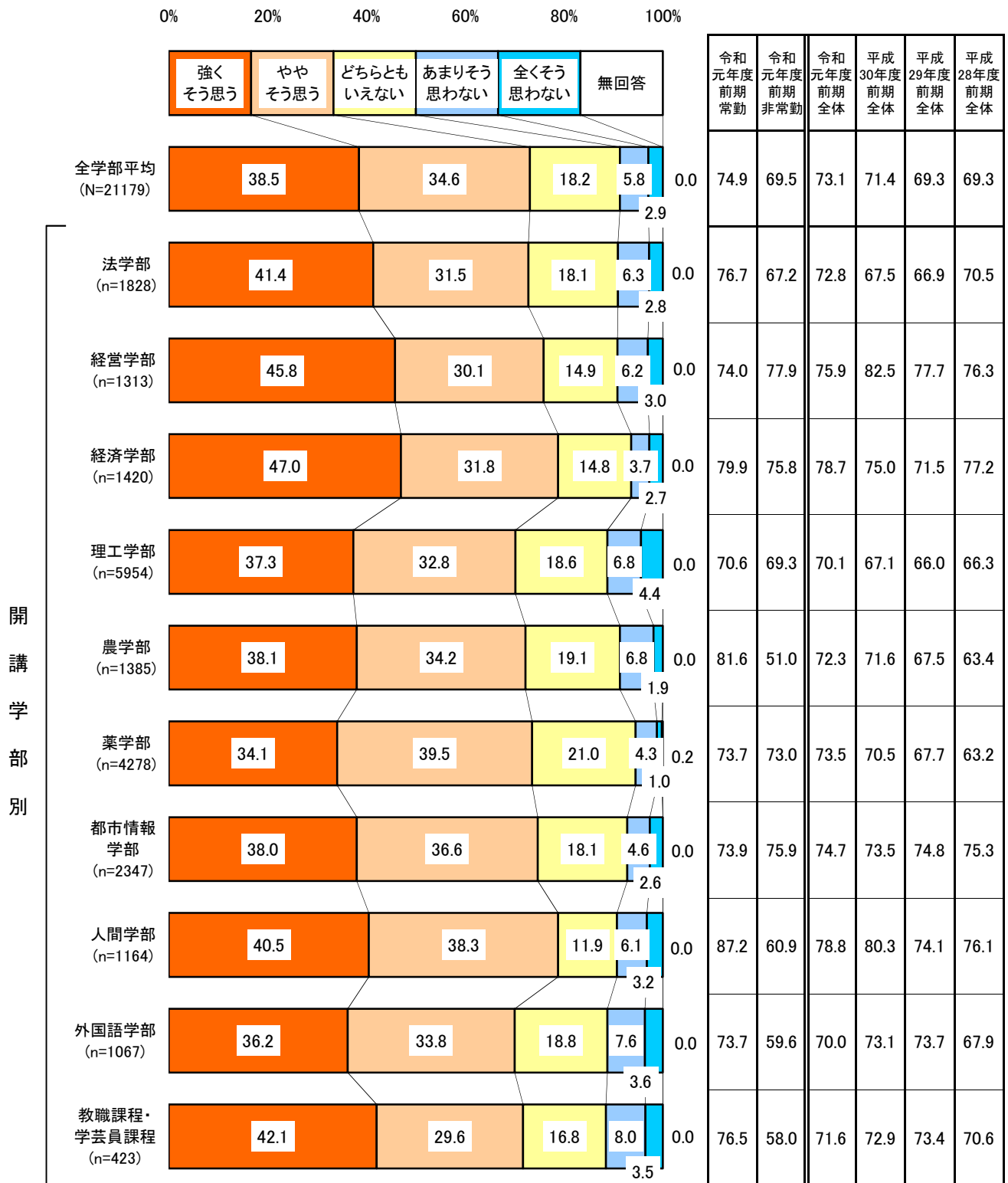
# 11 授業評価の基礎データ 私語対応

[前期 学生]

私語対応に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割強。平成30年度前期と比べると、法学部で評価が上昇したが、経営学部では低下傾向。

【元年度前期】

Q3. この授業では、教員は私語に対し、きちんと対応していましたか。



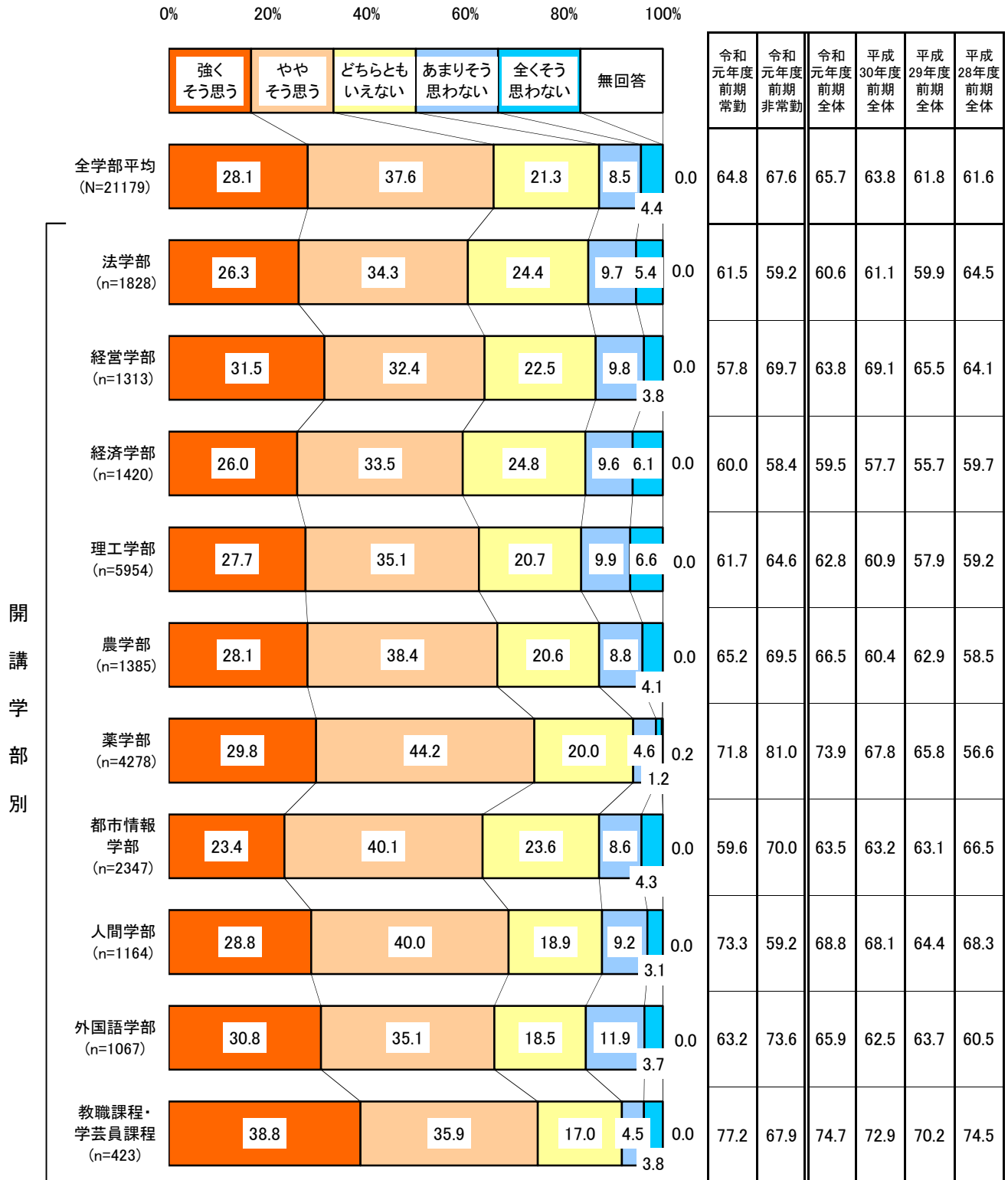
\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

# 11 授業評価の基礎データ 理解配慮

[前期 学生]

理解配慮に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は6割台半ば。教職課程・学芸員課程、薬学部で7割台と評価が高い。平成30年度前期と比べると、農学部、薬学部で評価が上昇したが、経営学部では低下傾向。

【元年度前期】 Q4. この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

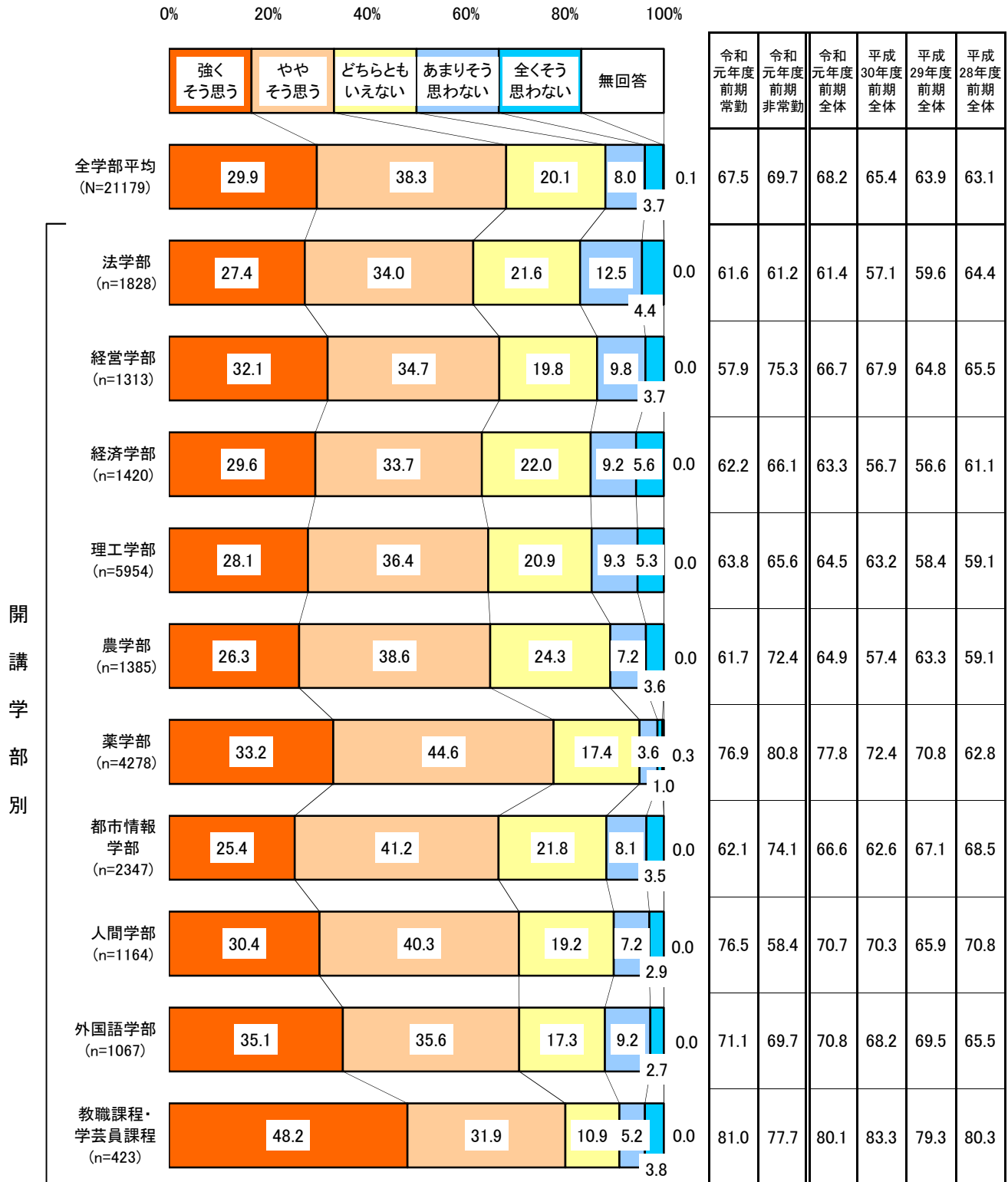
# 11 授業評価の基礎データ 工夫

[前期 学生]

工夫に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割弱。教職課程・学芸員課程で8割を超えるほか、薬学部でも8割弱と高い。平成30年度前期と比べると、経済学部、農学部、薬学部で評価が上昇した。

【元年度前期】

Q5. この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか。



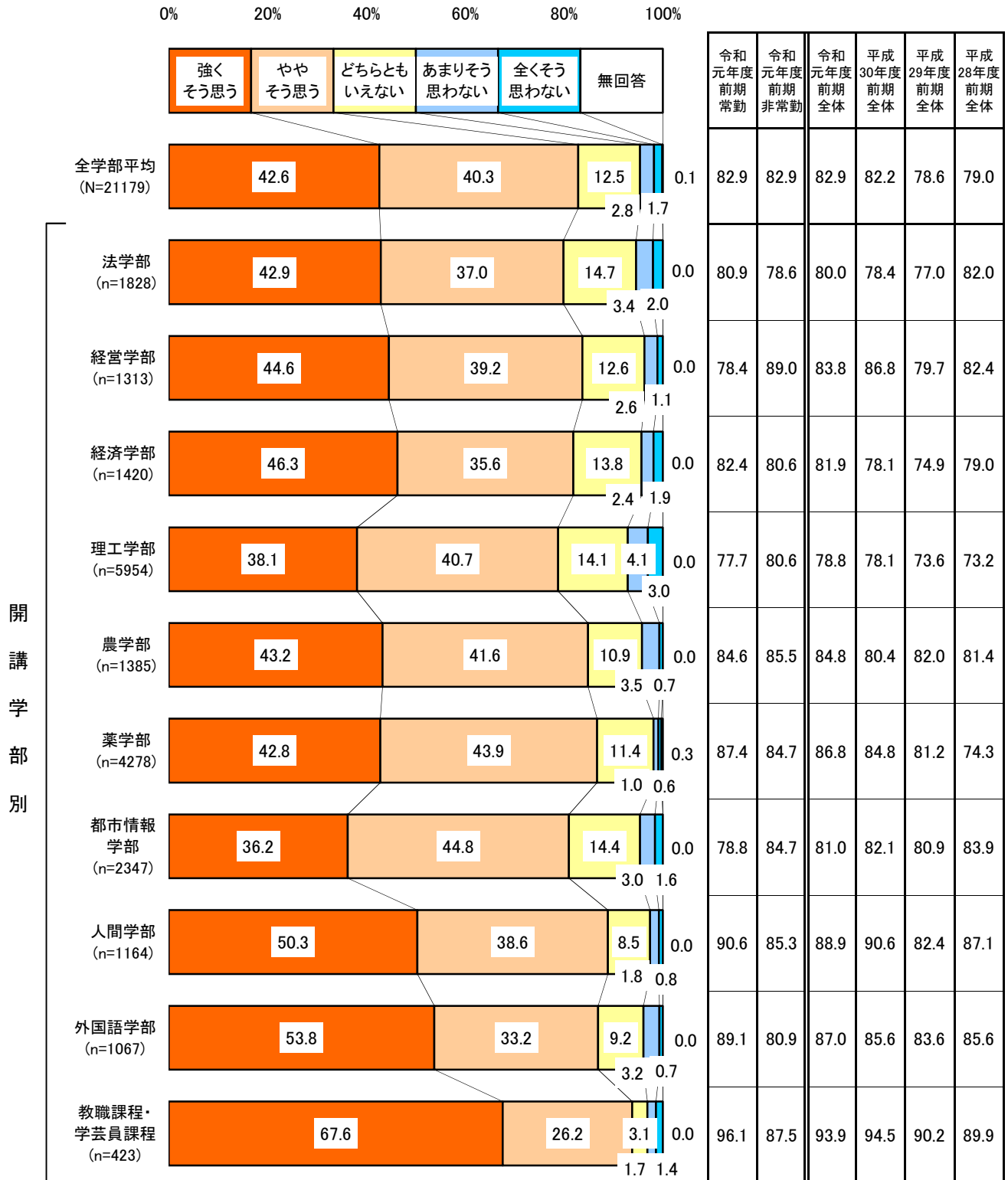
\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

# 11 授業評価の基礎データ 熱意

[前期 学生]

熱意に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は8割強。教職課程・学芸員課程では9割台に達し、「強くそう思う」が7割弱を占める。その他の学部も8～9割弱と全般的に評価が高い。

【元年度前期】 Q6. この授業では、教員は熱意や意欲をもって授業に取り組んでくれたと思いますか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

# 12 学生評価の基礎データ 目標理解

[前期 学生]

目標理解に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は6割強。人間学部で7割と評価が高い。平成30年度前期と比べると、薬学部で評価が上昇したが、経営学部では低下傾向。

【元年度前期】

Q7. あなたは、シラバスや履修系統図を参考に、この授業の目標やねらいを十分に理解したうえで受講したと思いますか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)



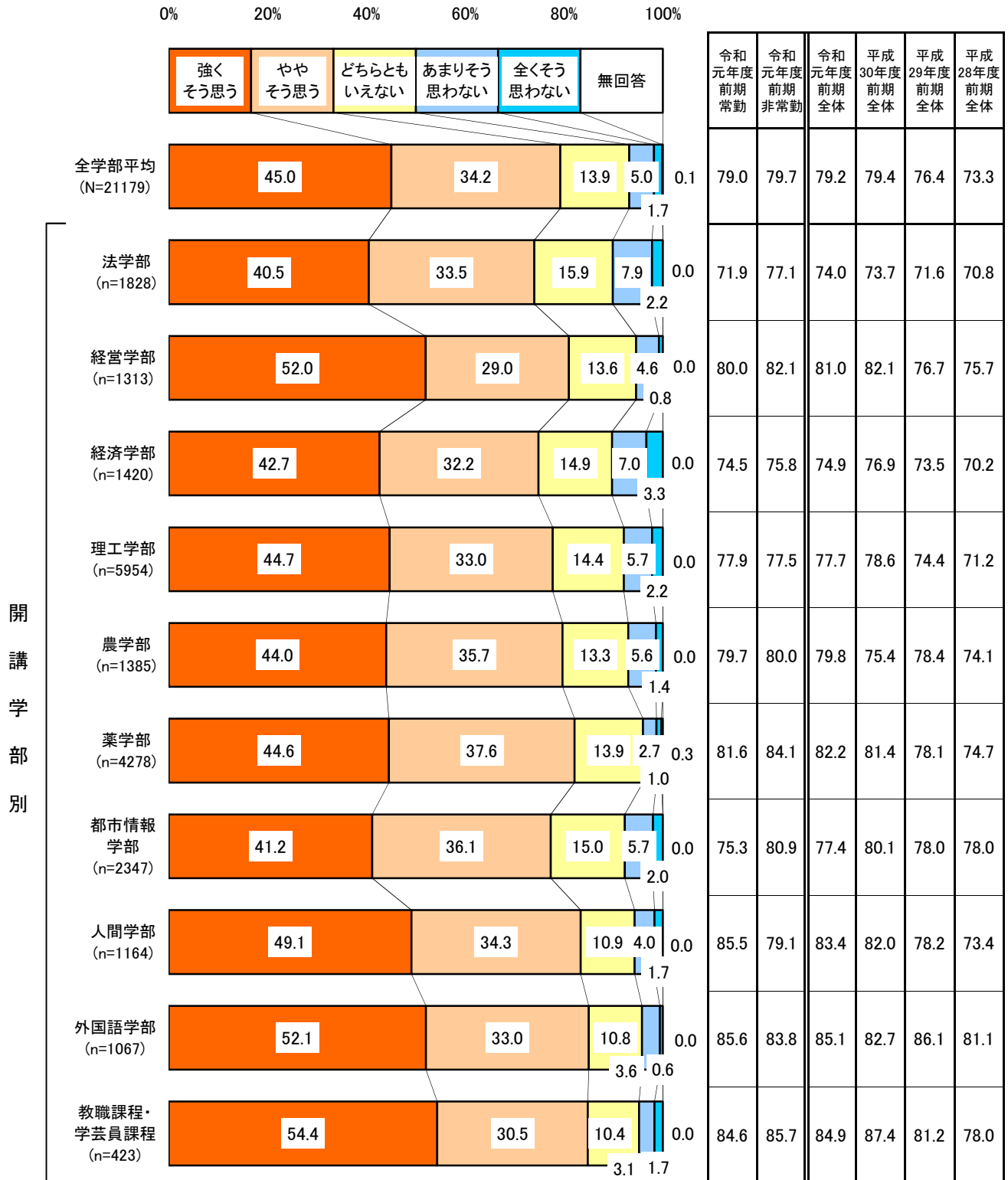
# 12 学生評価の基礎データ 欠席遅刻

[前期 学生]

欠席遅刻に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は約8割。外国語学部、教職課程・学芸員課程で8割台半ばと評価が高い。平成30年度前期と比べると、農学部でやや評価が上昇している。

【元年度前期】

Q8. あなたは、この授業に対して、欠席や遅刻をすることなく、過度なアルバイトや寝不足などによる体調不良がない状態で臨むことができましたか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

# 12 学生評価の基礎データ 自学自習時間

[前期 学生]

自学自習時間に関する学生の自己評価をみると、「週3時間以上」+「週1時間～3時間未満」と回答した学生は約2割。理工学部、薬学部、外国語学部で「週1時間以上」の割合が高めとなっている。

【元年度前期】

Q9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。



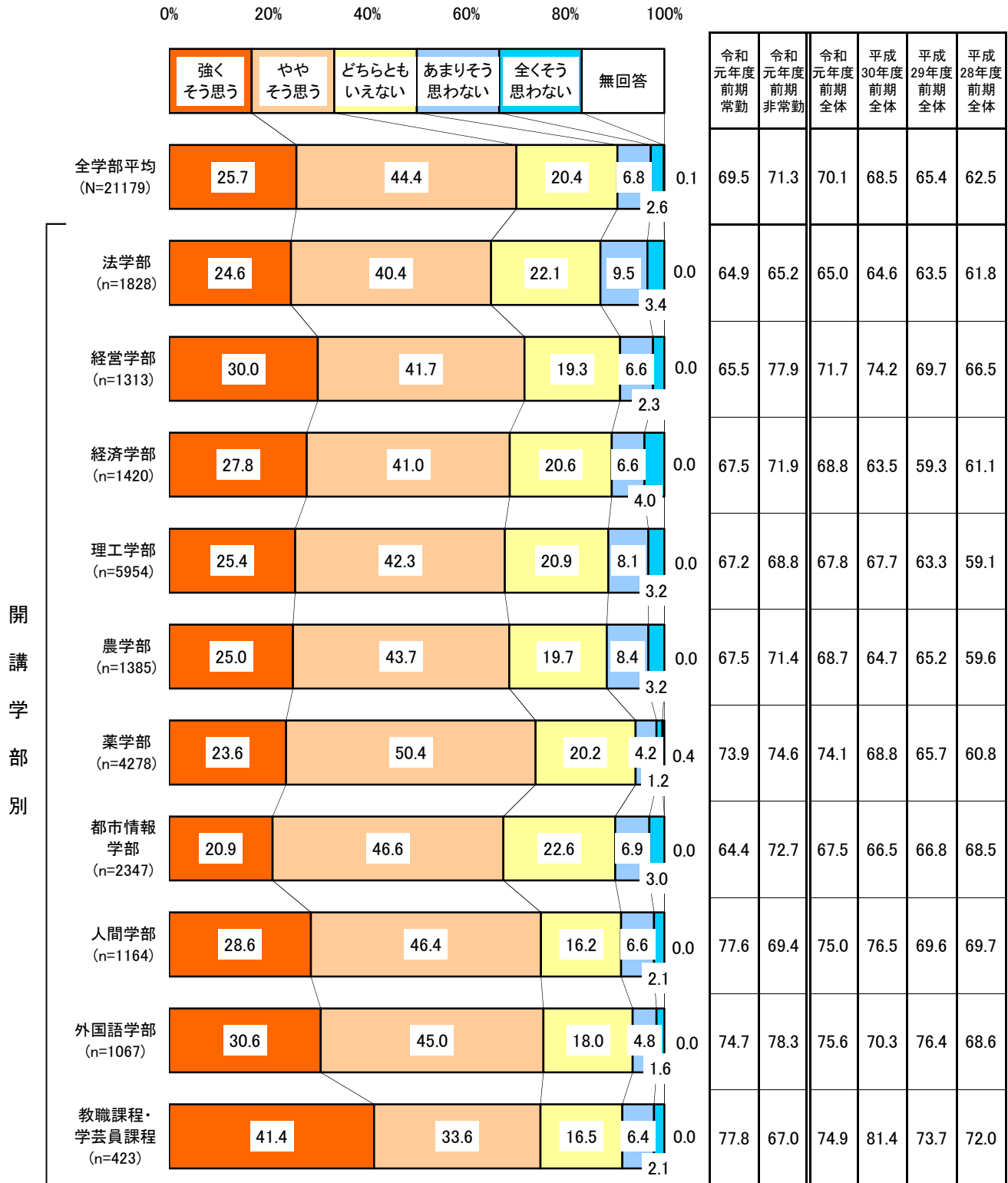
\* 数表は「週3時間以上」+「週1時間～3時間未満」(%)

# 12 学生評価の基礎データ 意欲

[前期 学生]

意欲に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割。外国語学部、人間学部などで7割台半ばと評価が高い。平成30年度前期と比べると、経済学部、薬学部、外国語学部で評価が上昇したが、教職課程・学芸員課程では低下傾向。

【元年度前期】 Q10. あなたは、この授業に意欲的・積極的に取り組むことができましたか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

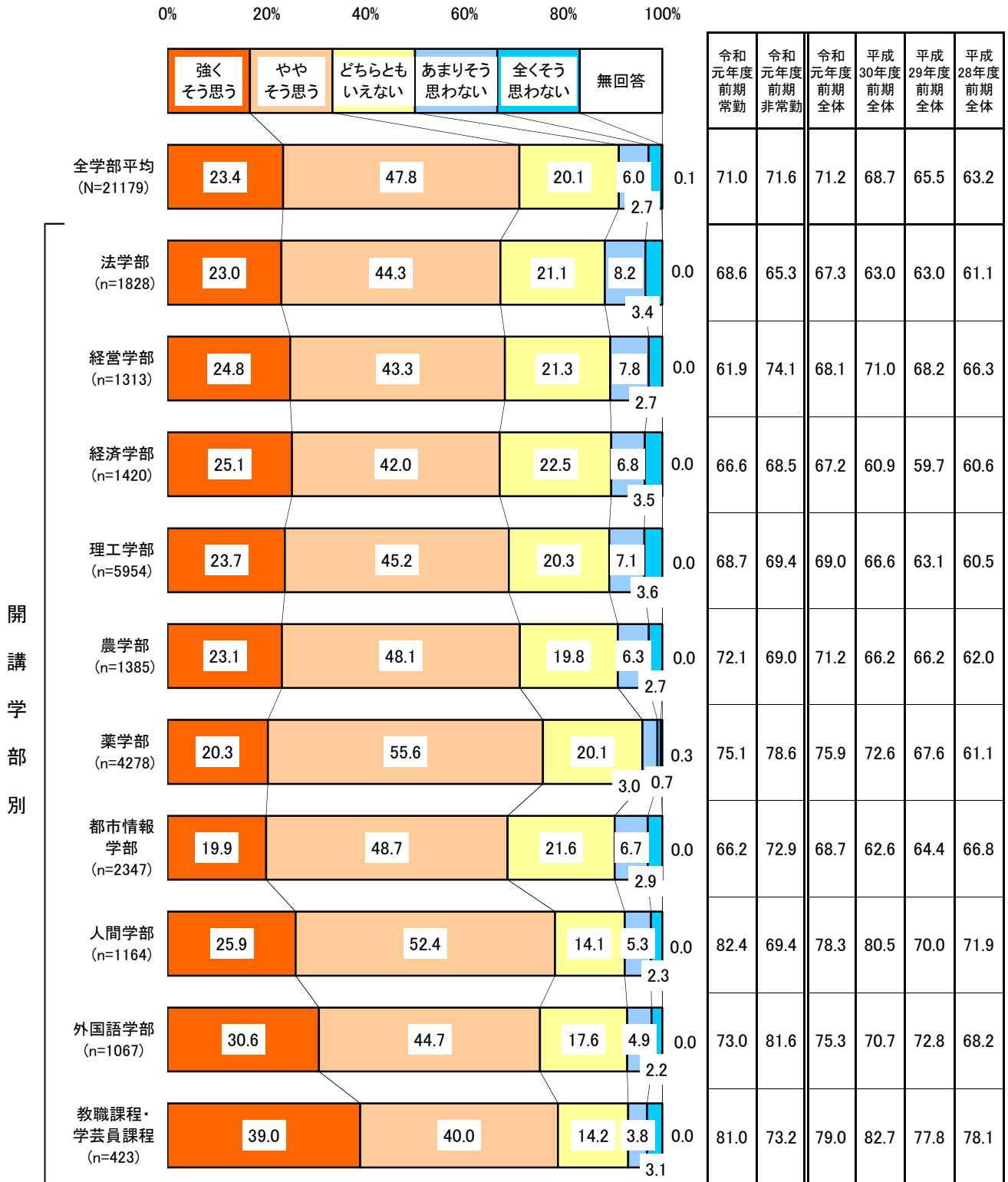
# 12 学生評価の基礎データ 成長実感

[前期 学生]

成長実感に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割強。教職課程・学芸員課程、人間学部で8割弱と評価が高い。平成30年度前期と比べると、経済学部、都市情報学部、農学部で評価が上昇した。

【元年度前期】

Q11. この授業を通じて、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

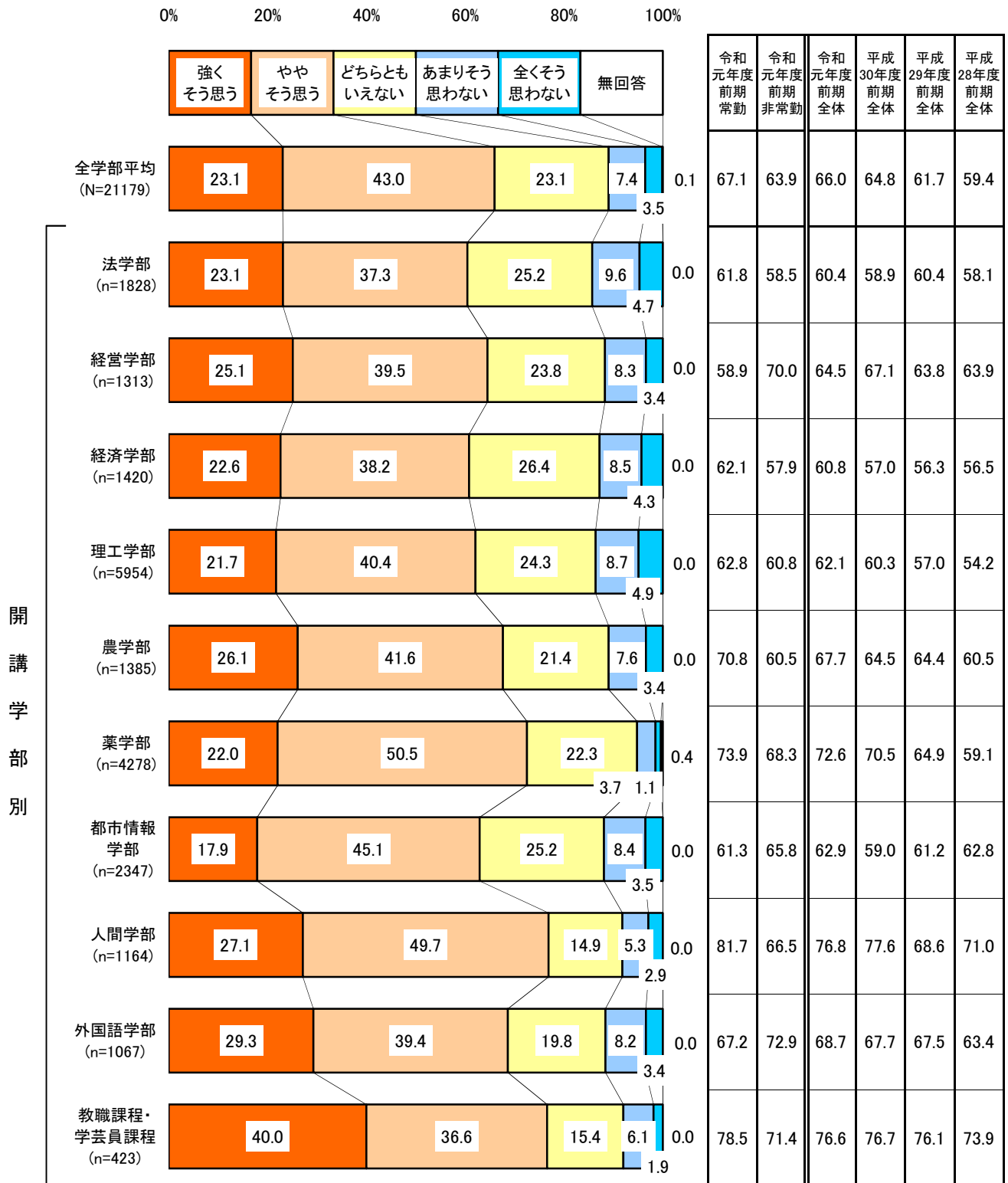
# 12 学生評価の基礎データ 興味喚起

[前期 学生]

興味喚起に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割弱。人間学部、教職課程・学芸員課程で8割弱と評価が高い。平成30年度前期と比べると、都市情報学部、経済学部、農学部で評価がやや上昇している。

【元年度前期】

Q12. この授業を通じて、あなたは学問や研究への興味や意欲を膨らませることができたと思いますか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

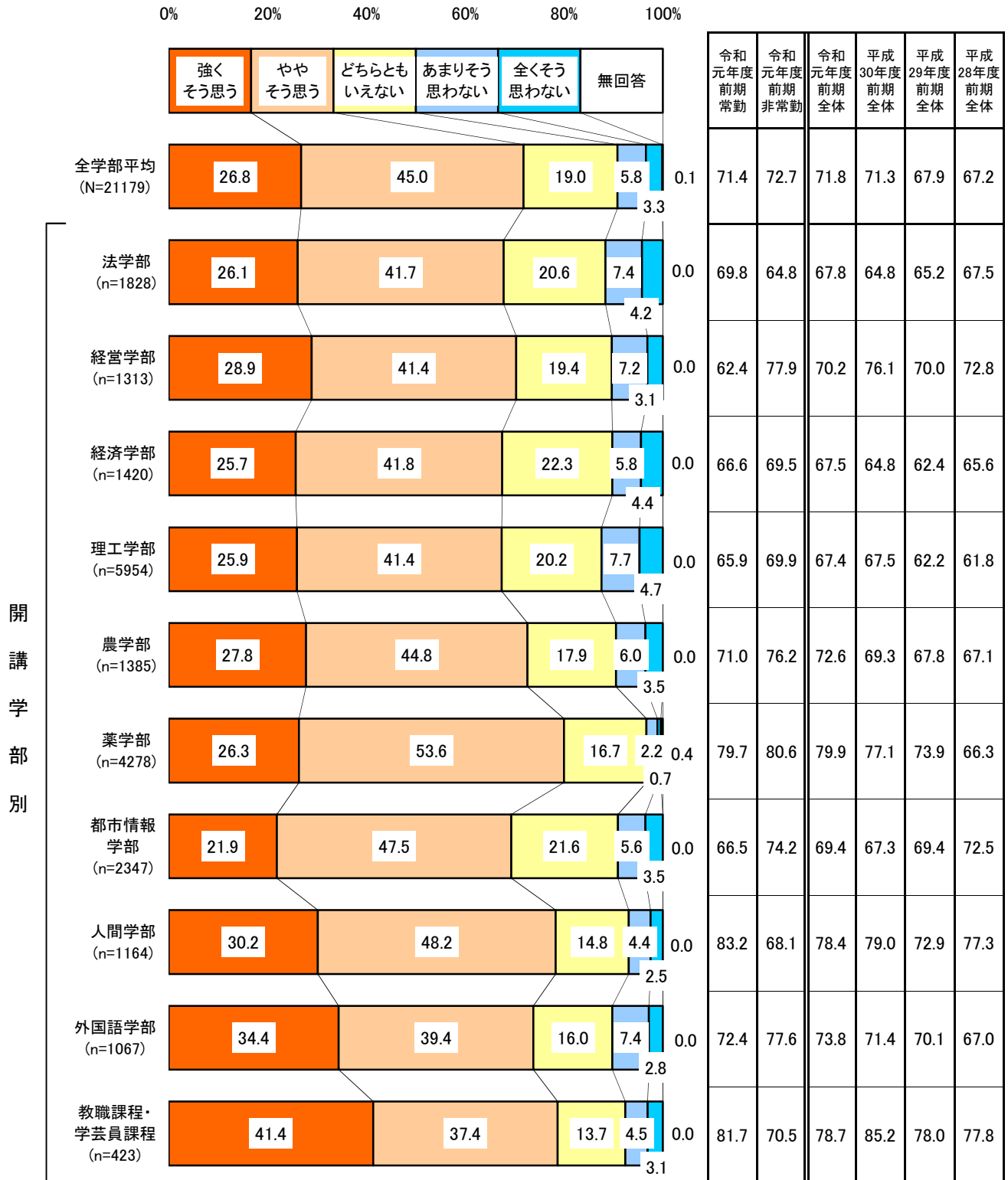
# 12 学生評価の基礎データ 授業満足

[前期 学生]

授業満足に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割強。薬学部で約8割と評価が高い。平成30年度前期と比べると、経営学部、教職課程・学芸員課程で評価が低下している。

【元年度前期】

Q13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

# 基礎データ(後期)



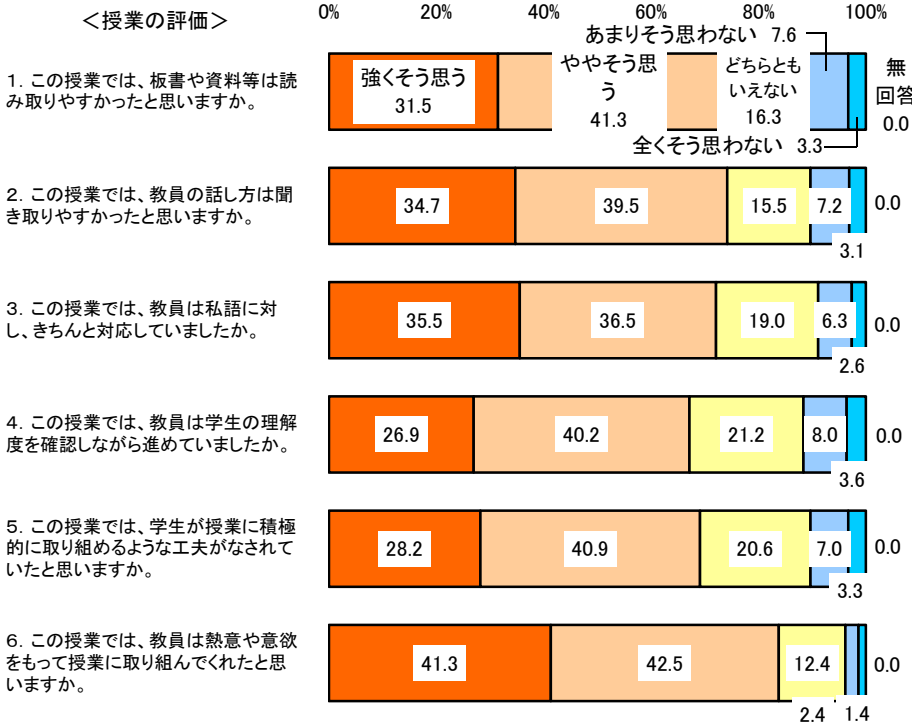


元年度後期の授業の評価を時系列でみると、緩やかな上昇傾向が続き、いずれの項目でも平成30年度後期を上回る。学生の評価では、横ばいまたは、わずかながら上昇傾向がみられる。

### 【元年度後期 全学部平均】

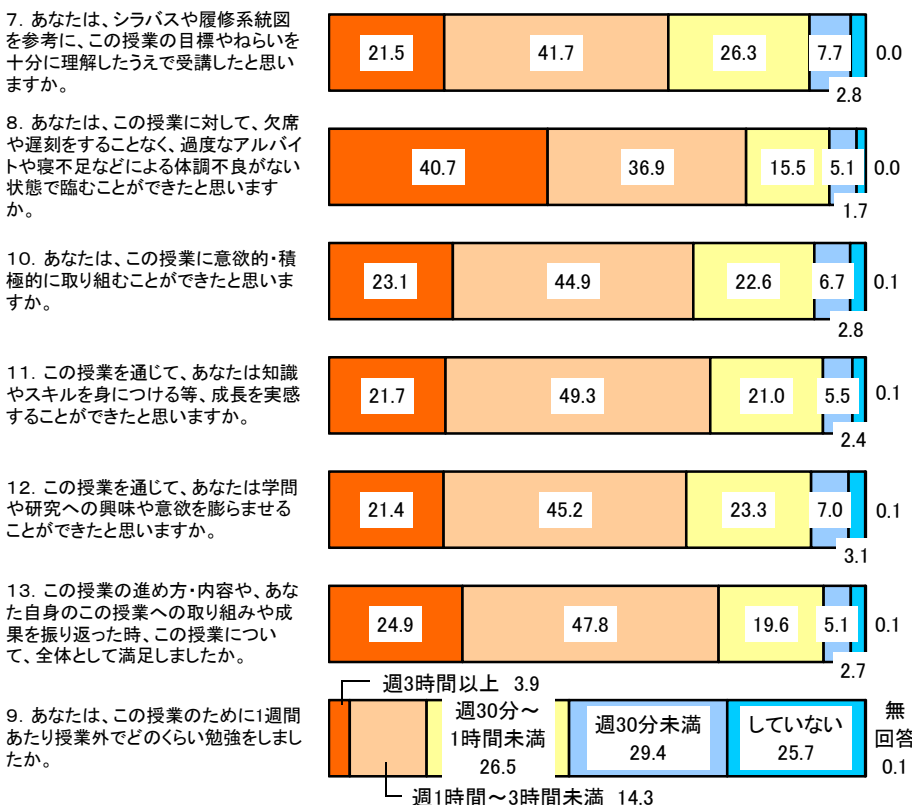
(N=17741)

#### <授業の評価>



令和元年度後期常勤	令和元年度後期非常勤	令和元年度後期全体	平成30年度後期全体	平成29年度後期全体	平成28年度後期全体
71.2	76.4	72.8	71.0	70.1	68.6
72.5	77.7	74.2	72.9	71.4	69.2
73.2	69.4	72.0	71.6	70.4	68.9
65.8	69.9	67.1	64.5	63.6	60.8
68.0	71.3	69.1	66.6	66.0	62.5
83.3	84.7	83.8	82.9	79.9	78.2

#### <学生の評価>



令和元年度後期常勤	令和元年度後期非常勤	令和元年度後期全体	平成30年度後期全体	平成29年度後期全体	平成28年度後期全体
62.4	64.8	63.2	63.1	59.6	55.1
77.1	78.7	77.6	78.7	77.0	73.4
66.5	71.2	67.9	67.4	65.7	62.6
69.8	73.7	71.0	69.1	66.9	63.1
66.2	67.2	66.5	65.6	63.7	60.5
71.4	75.2	72.6	71.7	70.1	66.3
19.4	15.9	18.3	17.4	17.3	16.3

\* 数表は各設問上位2選択肢の合計(%)

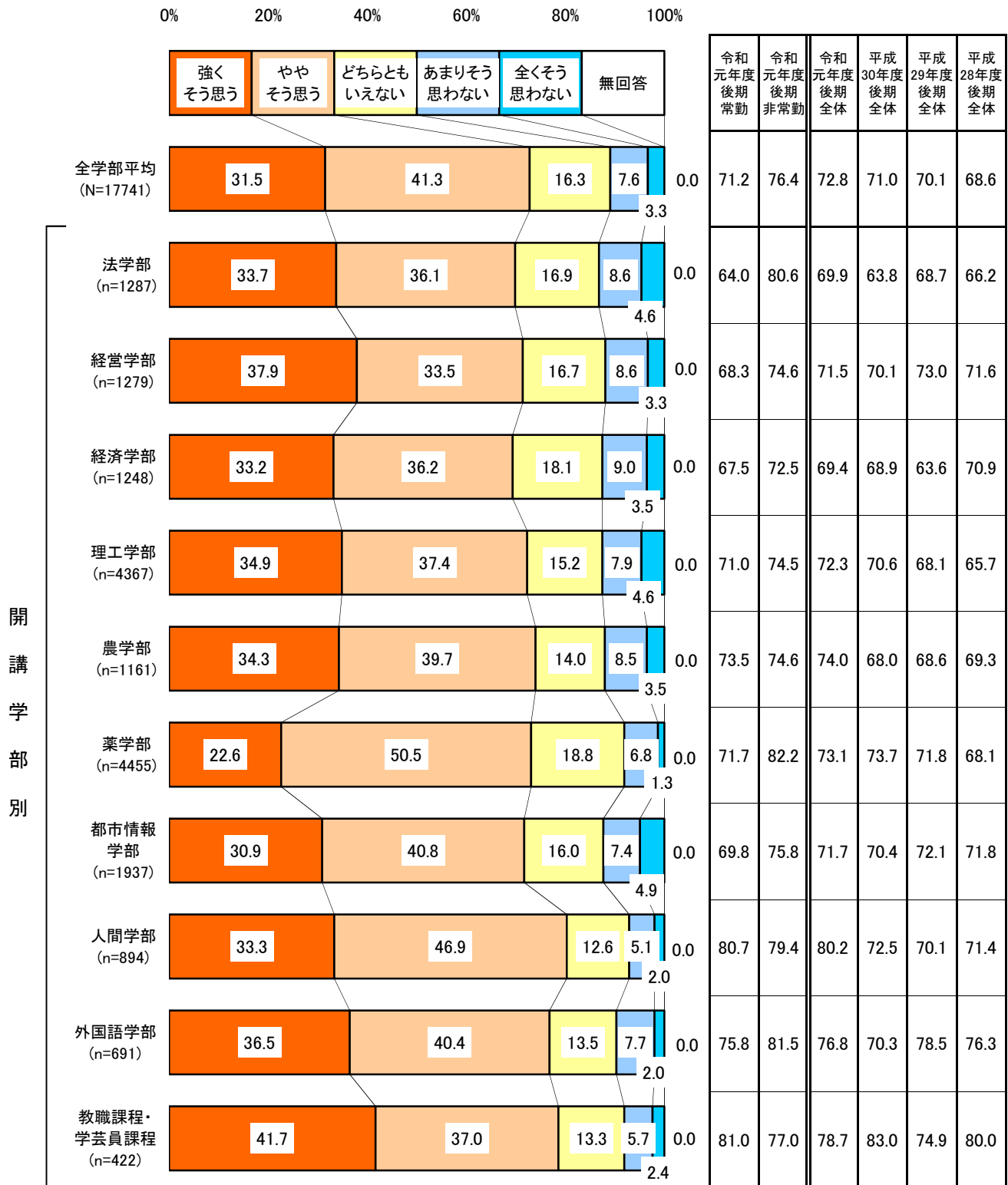
# 14 授業評価の基礎データ 板書

[後期 学生]

板書に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割強。人間学部で評価が高く、8割を超える。平成30年度後期と比べて、人間学部、法学部、農学部、外国語学部で評価が上昇している。

【元年度後期】

Q1. この授業では、板書や資料等は読み取りやすかったですか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

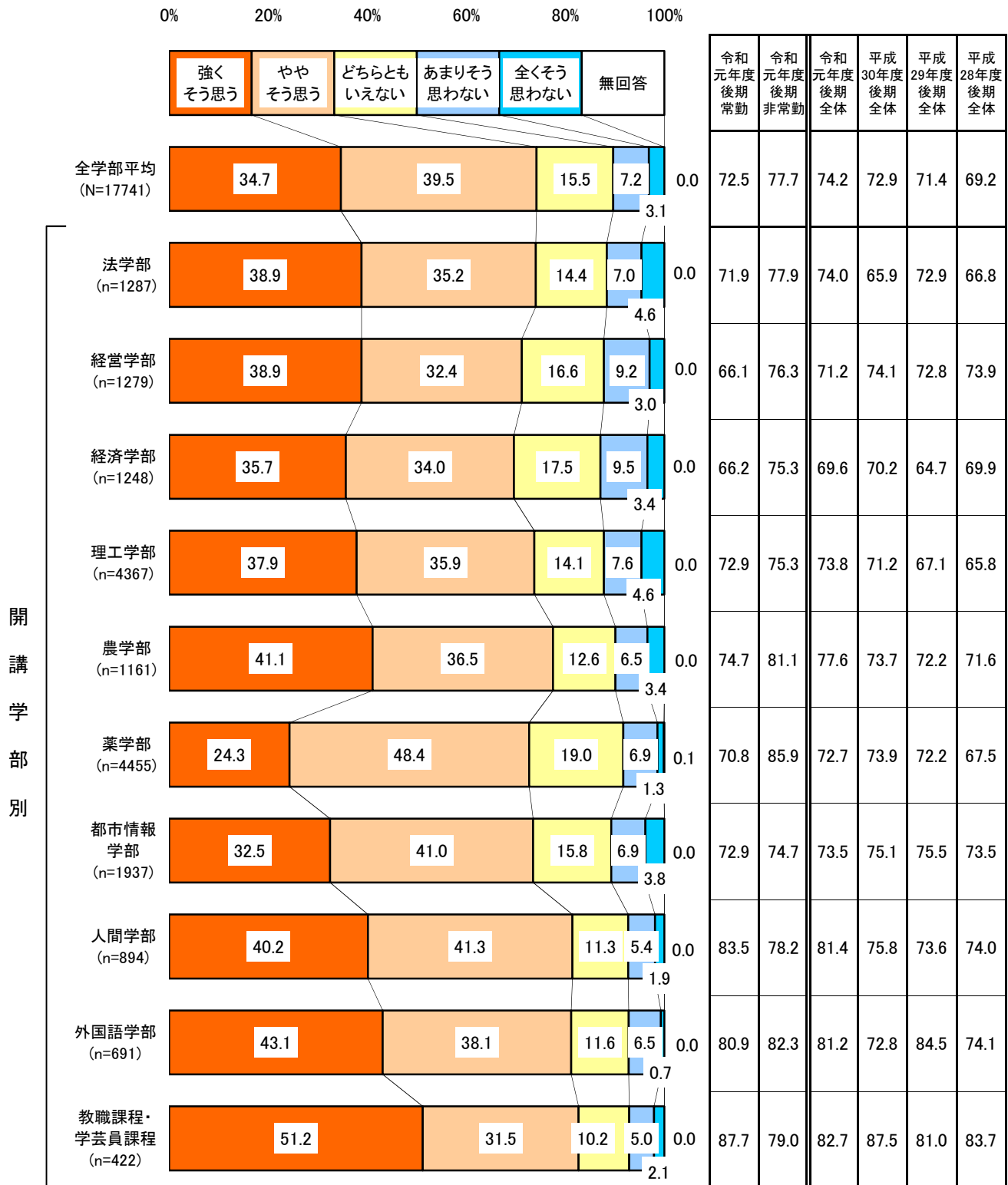
# 14 授業評価の基礎データ 話方明瞭

[後期 学生]

話方明瞭に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割台半ば。教職課程・学芸員課程、人間学部、外国語学部で8割強と評価が高い。平成30年度後期と比べて、法学部、外国語学部、人間学部で評価が上昇している。

【元年度後期】

Q2. この授業では、教員の話方は聞き取りやすかったですか。



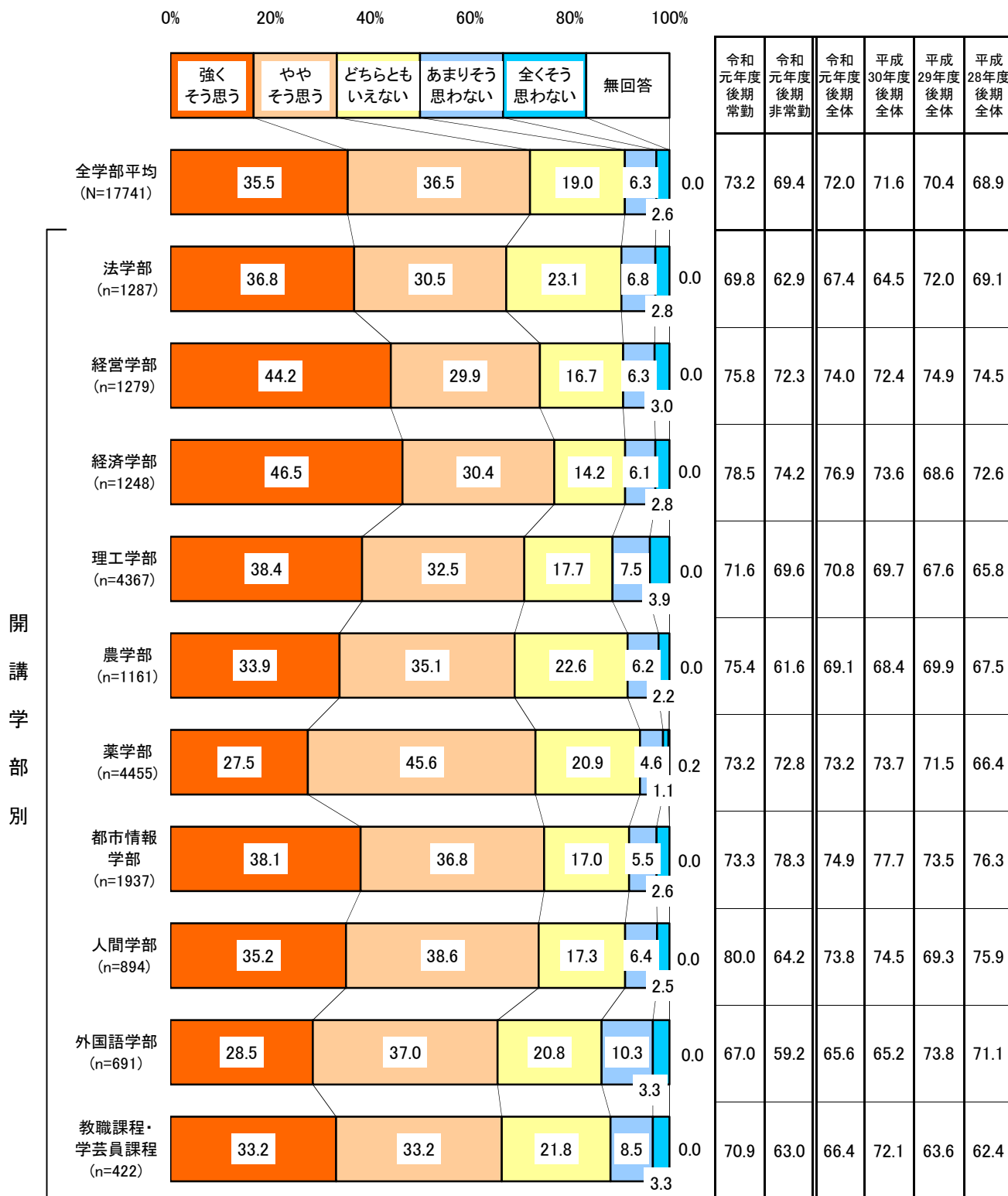
\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

# 14 授業評価の基礎データ 私語対応

[後期 学生]

私語対応に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割強。外国語学部で評価がやや低い。平成30年度後期と比べて、教職課程・学芸員課程で評価が低下している。

【元年度後期】 Q3. この授業では、教員は私語に対し、きちんと対応していましたか。



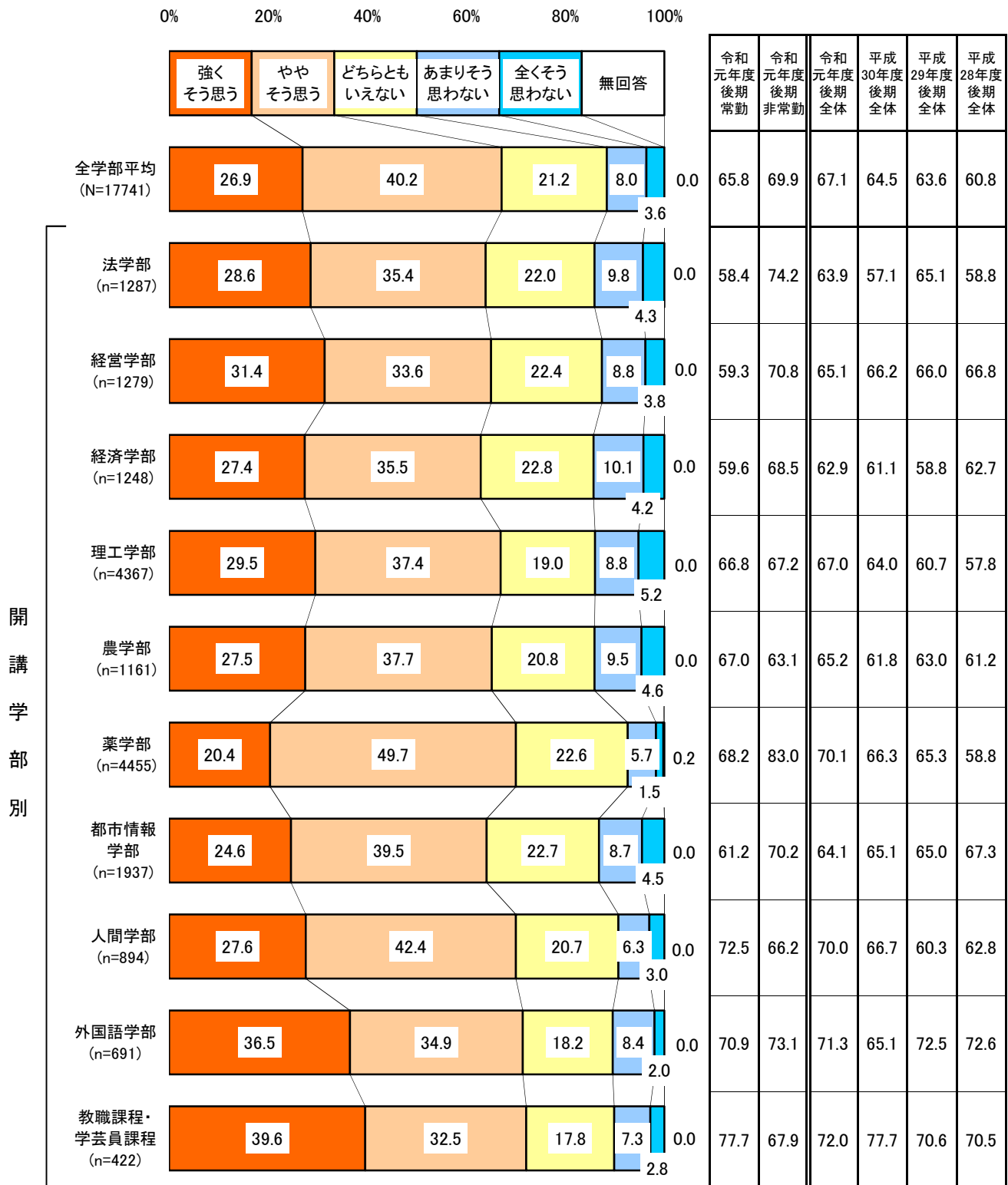
\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

# 14 授業評価の基礎データ 理解配慮

[後期 学生]

理解配慮に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割弱。教職課程・学芸員課程で7割強と比較的評価が高い。平成30年度後期と比べて、法学部、外国語学部で評価が上昇したが、教職課程・学芸員課程では低下傾向。

【元年度後期】 Q4. この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

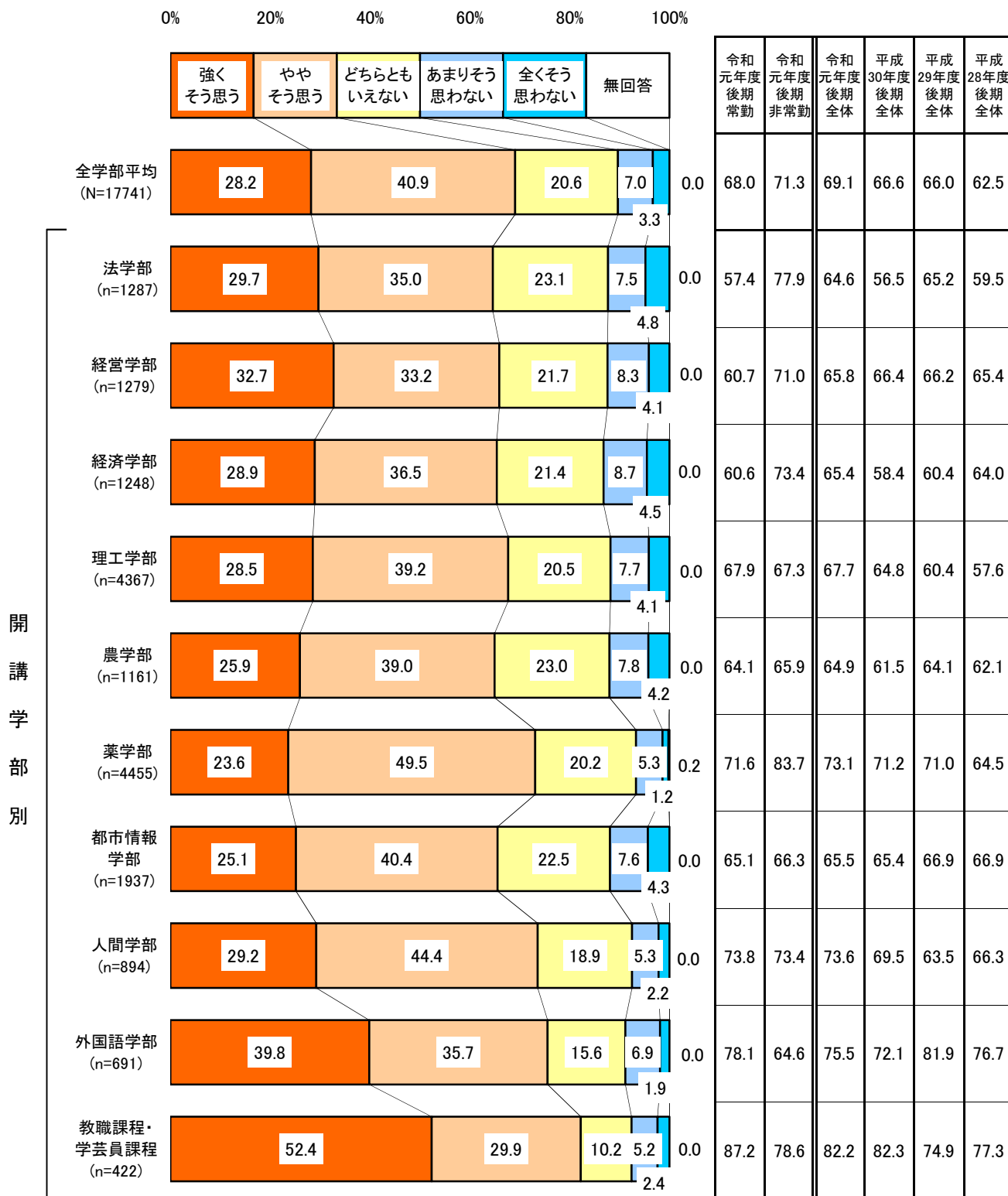
# 14 授業評価の基礎データ 工夫

[後期 学生]

工夫に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は約7割。教職課程・学芸員課程で特に評価が高く、8割強にのぼる。平成30年度後期と比べて、法学部、経済学部で評価が上昇している。

【元年度後期】

Q5. この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

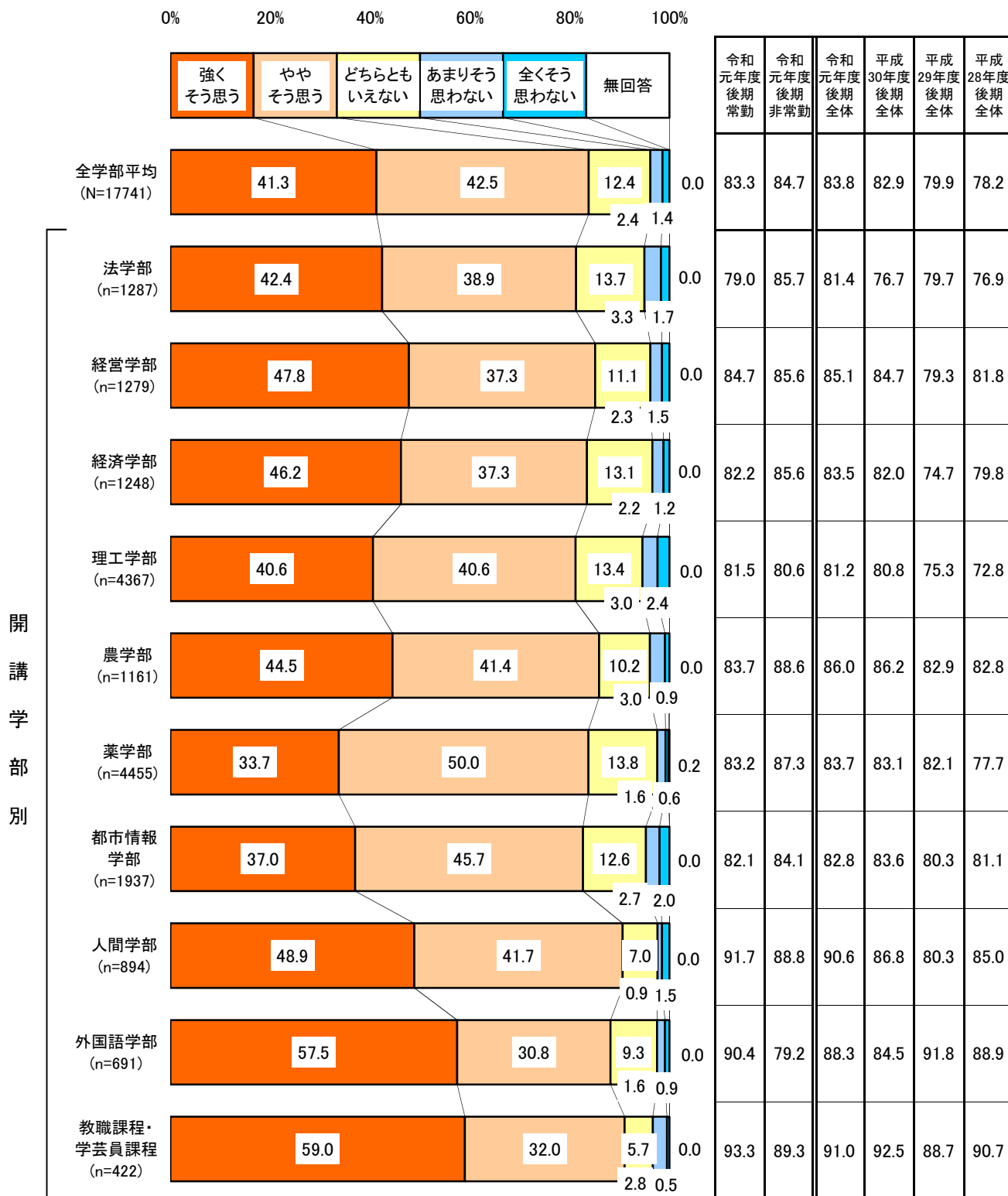
# 14 授業評価の基礎データ 熱意

[後期 学生]

熱意に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は8割強。教職課程・学芸員課程、人間学部で評価が高く、9割を超える。特に教職課程・学芸員課程では「強くそう思う」が約6割を占める。

【元年度後期】

Q6. この授業では、教員は熱意や意欲をもって授業に取り組んでくれたと思いますか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

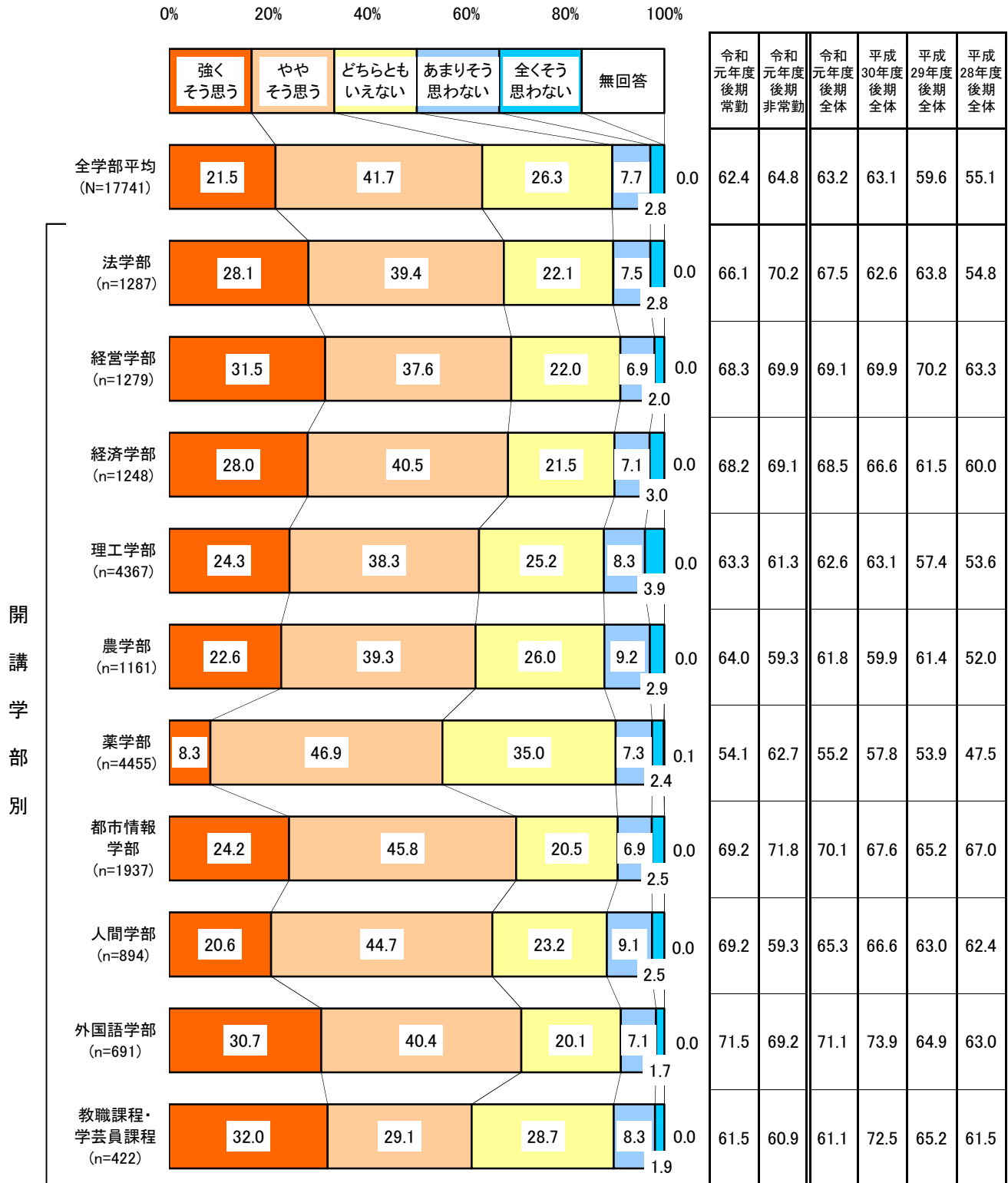
# 15 学生評価の基礎データ 目標理解

[後期 学生]

目標理解に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は6割強。外国語学部、都市情報学部で評価が高く、7割を超える。平成30年度後期と比べて、教職課程・学芸員課程で評価が大きく低下した。

【元年度後期】

Q7. あなたは、シラバスや履修系統図を参考に、この授業の目標やねらいを十分に理解したうえで受講したと思いますか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)



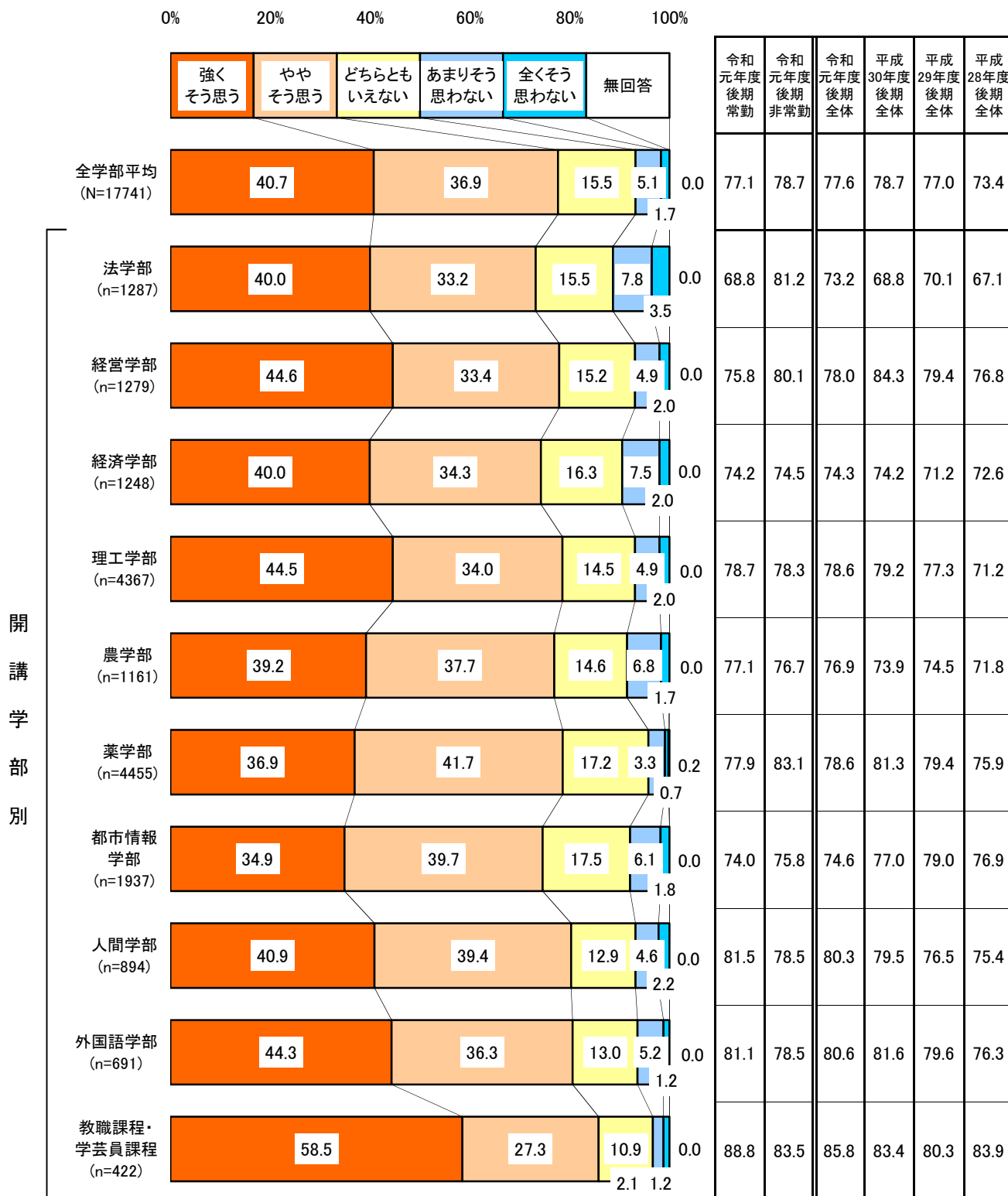
# 15 学生評価の基礎データ 欠席遅刻

[後期 学生]

欠席遅刻に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は8割弱。教職課程・学芸員課程では8割台半ばと評価が高い。平成30年後期と比べて、経営学部で評価が低下している。

### 【元年度後期】

Q8. あなたは、この授業に対して、欠席や遅刻をすることなく、過度なアルバイトや寝不足などによる体調不良がない状態で臨むことができましたか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

# 15 学生評価の基礎データ 自学自習時間

[後期 学生]

自学自習時間に関する学生の自己評価をみると、「週3時間以上」+「週1時間～3時間未満」と回答した学生は2割弱。薬学部、理工学部で「週1時間以上」の割合が高めとなっている。

【元年度後期】

Q9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。



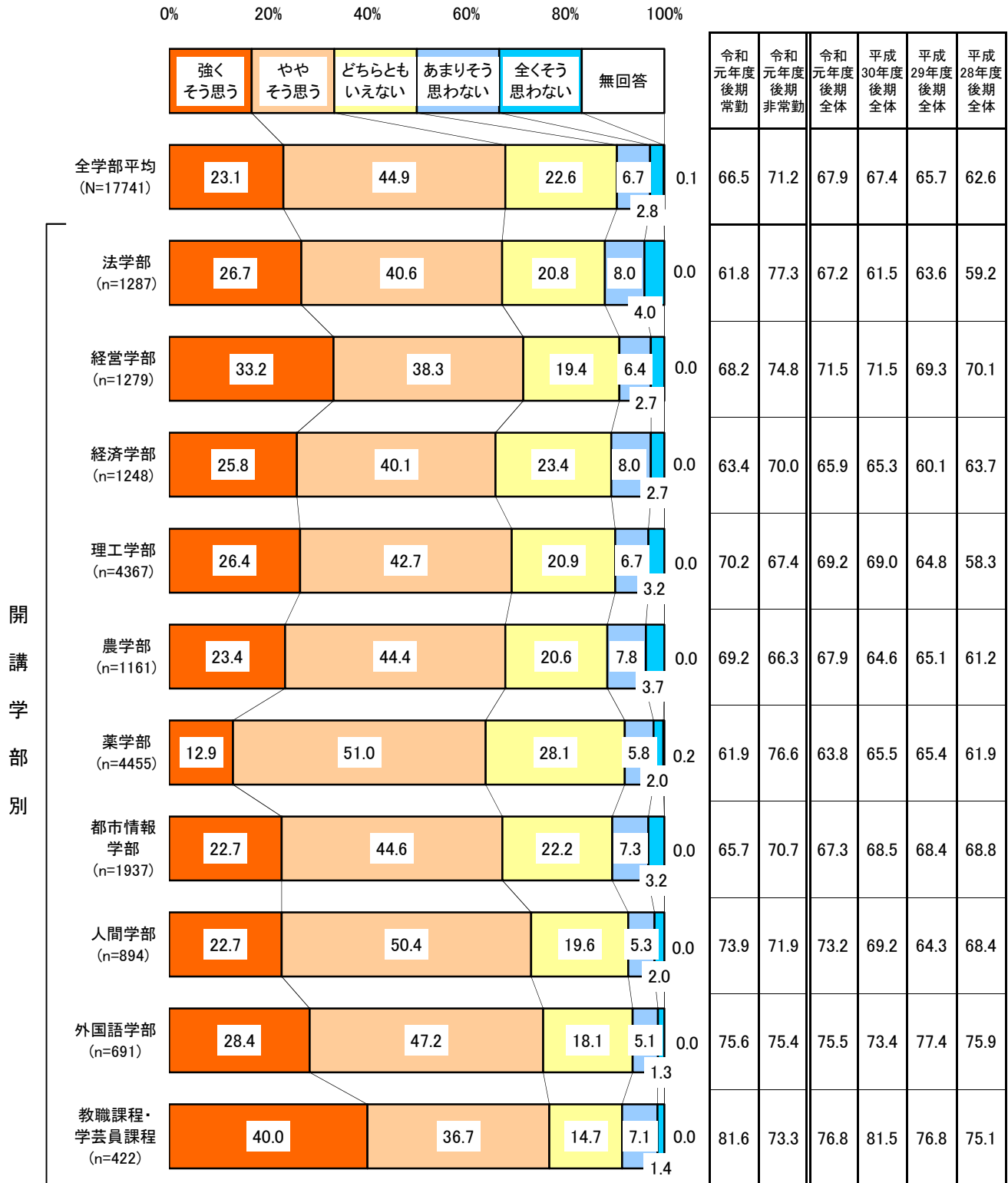
\* 数表は「週3時間以上」+「週1時間～3時間未満」(%)

# 15 学生評価の基礎データ 意欲

[後期 学生]

意欲に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割弱。教職課程・学芸員課程で8割弱と評価が高い。平成30年度後期と比べて、法学部で評価が上昇したが、教職課程・学芸員課程では低下傾向。

【元年度後期】 Q10. あなたは、この授業に意欲的・積極的に取り組むことができましたか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

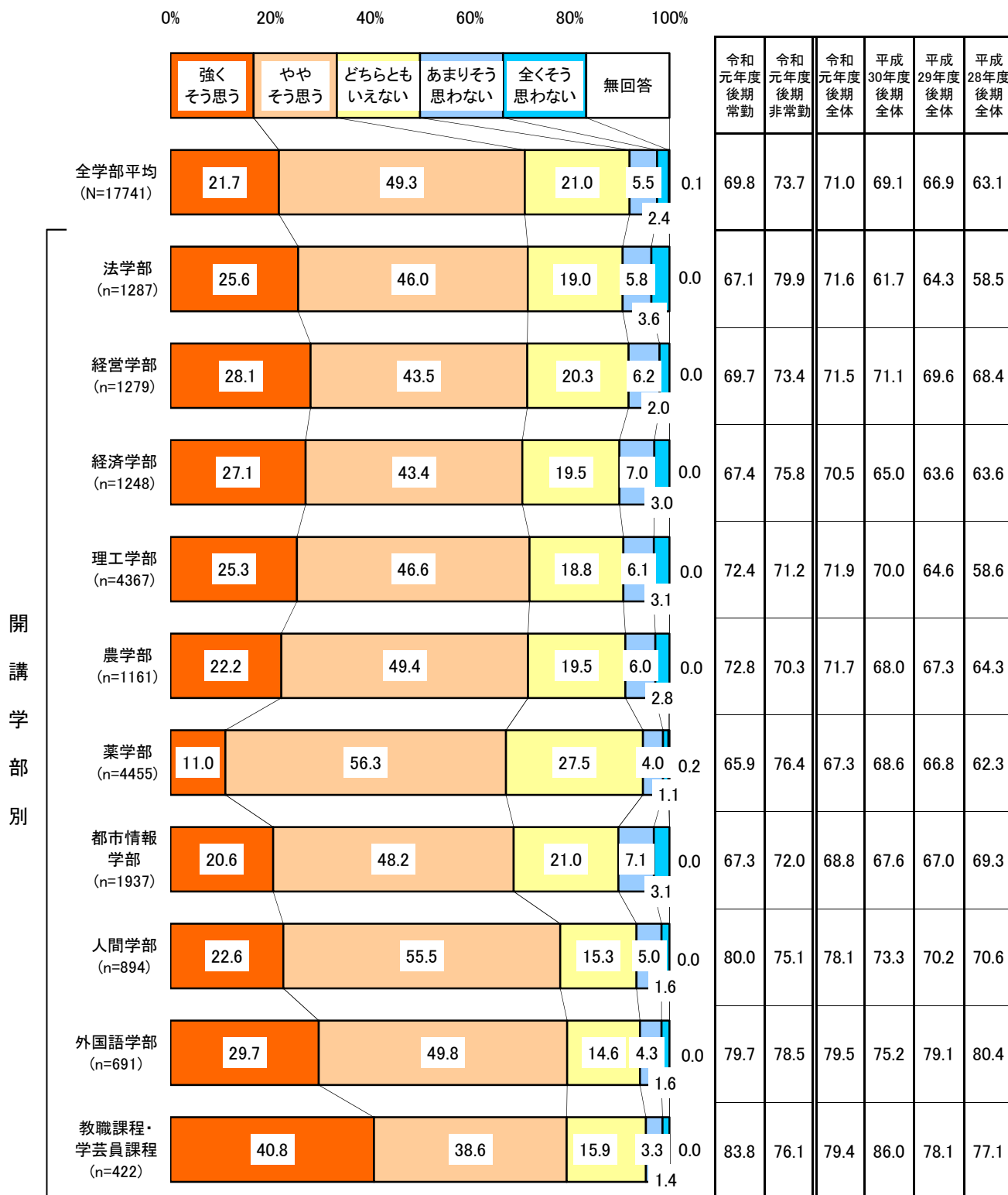
# 15 学生評価の基礎データ 成長実感

[後期 学生]

成長実感に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割強。外国語学部、教職課程・学芸員課程で約8割と評価が高い。平成30年度後期と比べて、法学部で評価が大きく上昇したが、教職課程・学芸員課程では低下傾向。

【元年度後期】

Q11. この授業を通じて、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

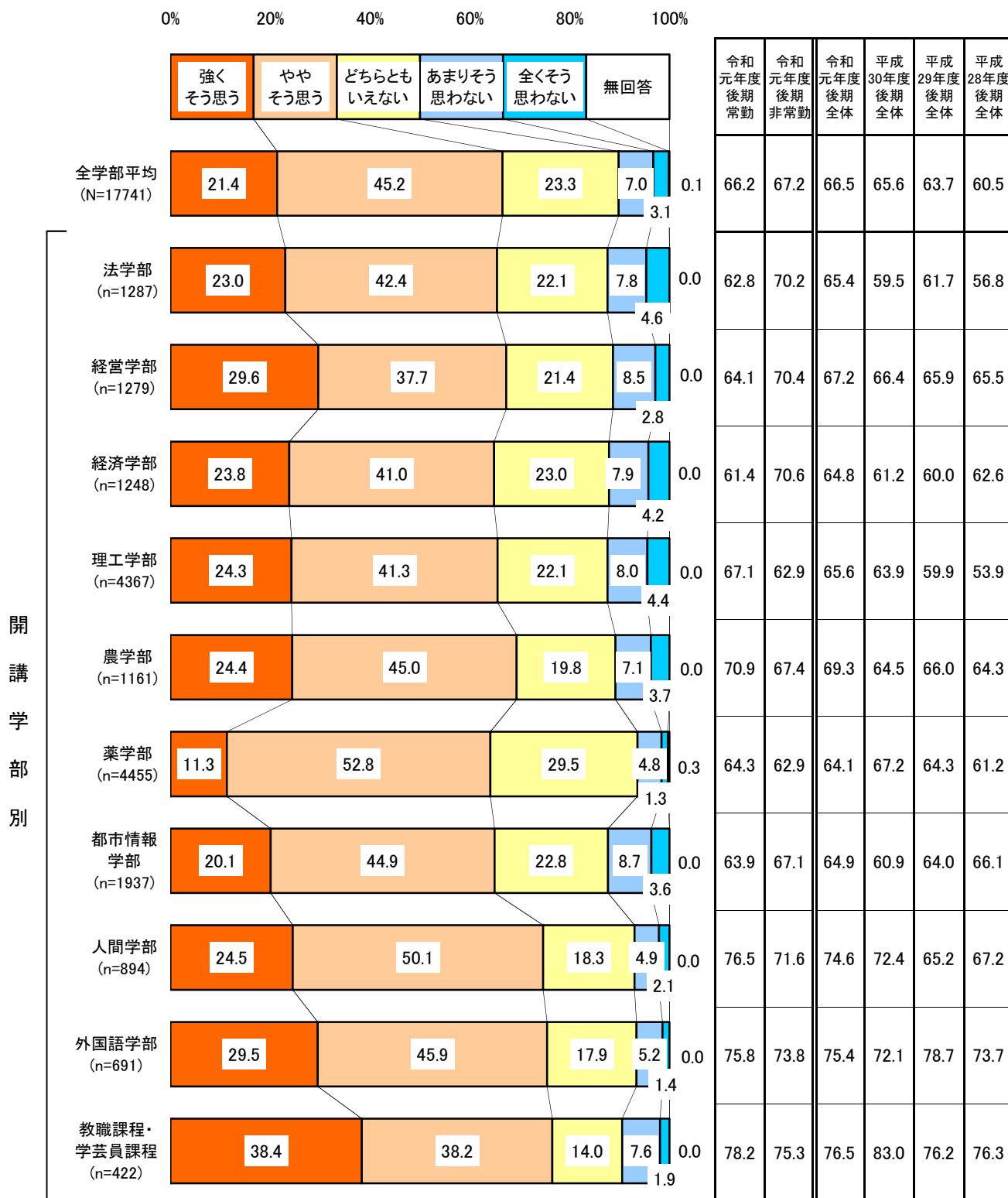
# 15 学生評価の基礎データ 興味喚起

[後期 学生]

興味喚起に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割弱。教職課程・学芸員課程は8割弱と評価が高い。平成30年度後期と比べて、教職課程・学芸員課程は評価が低下している。

【元年度後期】

Q12. この授業を通じて、あなたは学問や研究への興味や意欲を膨らませることができたと思いますか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

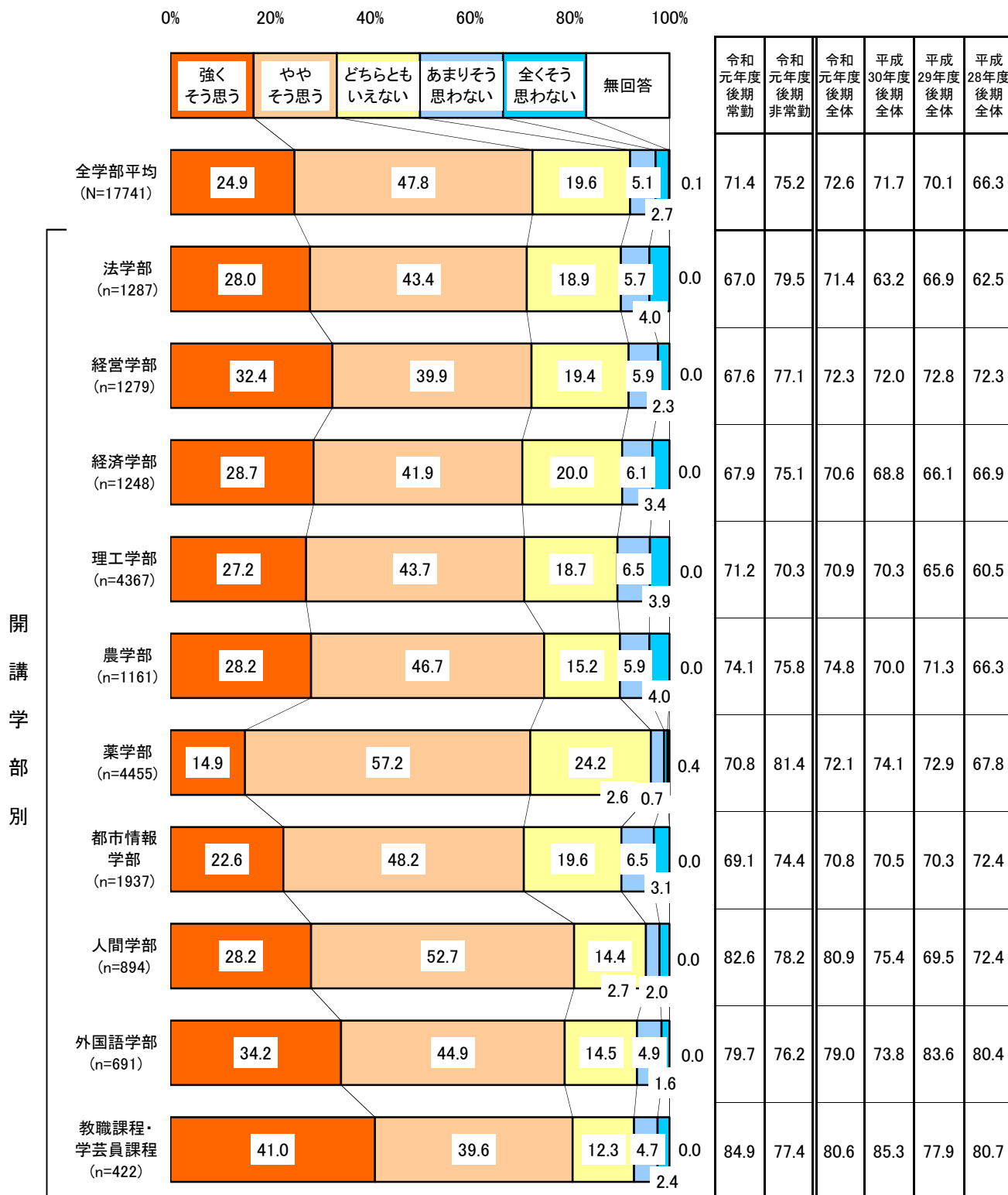
# 15 学生評価の基礎データ 授業満足

[後期 学生]

授業満足に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割強。人間学部、教職課程・学芸員課程で評価が高く、8割を超える。平成30年度後期と比べて、法学部、人間学部、外国語学部で評価が上昇している。

【元年度後期】

Q13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時この授業について、全体として満足しましたか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

令和元年度授業改善アンケート  
結果報告書

発行日：令和2年3月

編集：大学教育開発センター委員会  
名城大学大学教育開発センター

発行：大学教育開発センター委員会